

令和7年度(2025年度)

北海道環境基本計画[第3次計画]に基づく  
関連指標群の状況

中間報告(案)

令和7年(2025年)11月

北 海 道



# 目 次

I	施策の方向性等（一覧）	1
II	関連指標群の状況	
1	地域から取り組む地球環境の保全	4
2	北海道らしい循環型社会の形成	12
3	自然との共生を基本とした環境の保全と創造	25
4	安全・安心な地域環境の確保	39
5	共通的・基盤的な施策	49
III	【参考】指標群一覧	57

## I 施策の方向性等(一覧)

### ■分野1 地域から取り組む地球環境の保全

#### 【施策の基本的な方向性】

- a 省エネルギーの徹底やエネルギーの効率的利用により、二酸化炭素など温室効果ガスの排出を抑制する
- b バイオマスや風力などの利活用による再生可能エネルギーの導入を推進する
- c 化石燃料への依存の少ないライフスタイルや事業活動への転換を推進する
- d 森林等における二酸化炭素吸収源対策を推進する
- e フロン類の管理の適正化などを推進する
- f 自然や社会のあり方を調整し、気候変動の影響に適應する

#### 【施策の方向】

- ア 温室効果ガス排出抑制対策等の推進
  - (ア) 多様な主体の協働による社会システムの脱炭素化
  - (イ) 地域の特性を活かした自立・分散型エネルギーの導入等
  - (ウ) 森林等における吸収源対策
- イ 気候変動への適応策の推進
- ウ その他の地球環境保全対策の推進

### ■分野2 北海道らしい循環型社会の形成

#### 【施策の基本的な方向性】

- a 廃棄物等の発生・排出を抑制し、循環資源の循環的利用を推進する
- b 廃棄物の適正処理を推進する
- c 廃棄物系及び未利用バイオマスの利活用を推進する
- d リサイクル関連産業を振興し、循環型社会ビジネス市場の拡大を図る

#### 【施策の方向】

- ア 3Rの推進
- イ 廃棄物の適正処理の推進
- ウ バイオマスの利活用の推進
- エ リサイクル関連産業を中心とした循環型社会ビジネスの振興

## ■分野3 自然との共生を基本とした環境の保全と創造

### 【施策の基本的な方向性】

- a 自然公園や自然環境保全地域等のすぐれた自然を保全する
- b 森林、農地、水辺等が有する環境保全機能の維持増進を図る
- c みどりや水辺とのふれあいづくりを推進する
- d 北海道らしい広域的な景観づくりを推進する
- e 自然環境の保全と適正な利用により、自然とのふれあいを推進する
- f 動物愛護精神の普及を図る
- g 希少野生動植物種の保護管理や、外来種による生態系等への影響提言などにより、生物多様性の保全を図る
- h 鳥獣の生息環境の保全や、鳥獣による農林水産業等被害の防止など、野生鳥獣の適正な保護管理を推進する

### 【施策の方向】

- ア 自然環境等の保全及び快適な環境の創造
  - (ア) すぐれた自然環境の保全
  - (イ) 公益的な機能の高い森林の保全
  - (ウ) 快適な環境の保全と創造
  - (エ) 北海道らしい景観の形成
- イ 知床世界自然遺産の厳格な保全と適正な利用
- ウ 自然とのふれあいの推進
  - (ア) 自然とのふれあいの場と機会の確保
  - (イ) 自然の適正な利用
  - (ウ) 飼養動物の愛護と管理
- エ 野生生物の保護管理
  - (ア) 希少野生動植物種の保護
  - (イ) 外来種の防除の推進
  - (ウ) 野生鳥獣の適正な保護管理

## ■分野4 安全・安心な地域環境の確保

### 【施策の基本的な方向性】

- a きれいな空気や水を守る
- b 健全な水循環を確保する
- c 静穏な生活環境を確保する
- d 課爆物質等による環境リスクの低減を図る
- e 自然環境の保全と適正な利用により、自然とのふれあいを推進する

### 【施策の方向】

- ア 大気、水などの生活環境の保全
  - (ア) 大気環境の保全
  - (イ) 水環境の保全
  - (ウ) 騒音・振動・悪臭防止・道場汚染・地盤沈下対策
- イ 化学物質等による環境汚染の未然防止
- ウ その他の生活環境保全対策

## ■分野5 共通的・基盤的な施策

### 【施策の基本的な方向性】

- a 環境保全意識を持ち主体的に行動できる人づくりを推進する
- b 環境に配慮したライフスタイルの定着を図る
- c 事業者の環境に配慮した行動を促進する
- d 道が行う事務・事業における環境配慮を徹底する
- e 環境影響評価の適切な運用を通じて、開発事業における環境配慮を推進する
- f 環境への配慮を織り込んだまちづくりや地域づくりを推進する
- g 地域特性等を踏まえた環境関連ビジネスの振興を図る
- h 関係機関等と連携した調査研究・環境保全技術開発を推進する
- i 環境保全に資する国際的な取組を推進する

### 【施策の方向】

- ア 環境に配慮する人づくりの推進
  - (ア) 環境教育の推進・環境負荷の少ないライフスタイルの定着
  - (イ) 民間団体等の自発的な環境保全活動の促進・協働取組の推進
- イ 環境と経済の好循環の創出
  - (ア) 環境に配慮した事業活動の推進
  - (イ) 環境と調和した産業の展開
  - (ウ) 環境ビジネスの振興
- ウ 環境と調和したまちづくり
- エ 基盤的な施策（調査研究・情報提供・国際的な取組）

## ●達成状況等の表記

令和6年度の点検・評価結果をとりまとめるにあたって、指標や個別指標の達成状況等をわかりやすく表記するため、次のとおり記号を追記する。

### <表記方法>

記号	内 容
◎	目標値を達成している場合
○	基準値より改善傾向にあり、かつ、前年度よりも改善している場合
△	基準値より改善傾向にあるものの、前年度よりも後退している場合
▲	基準値よりも後退している場合
—	補足データ（目標を設定していない）、基準年以降のデータがない指標

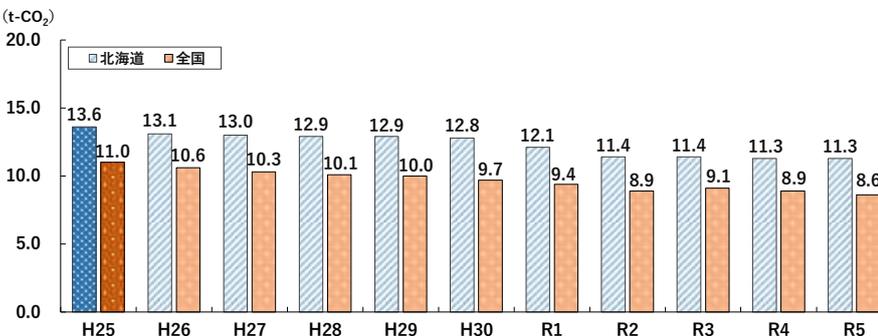
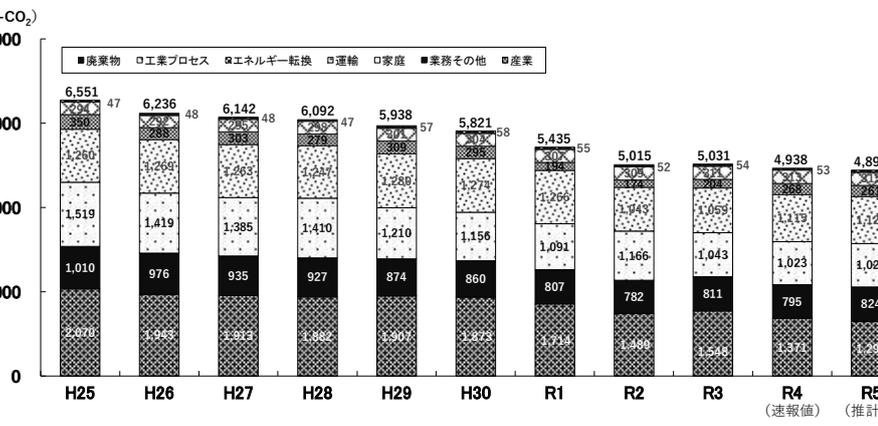
## II 関連指標群の状況

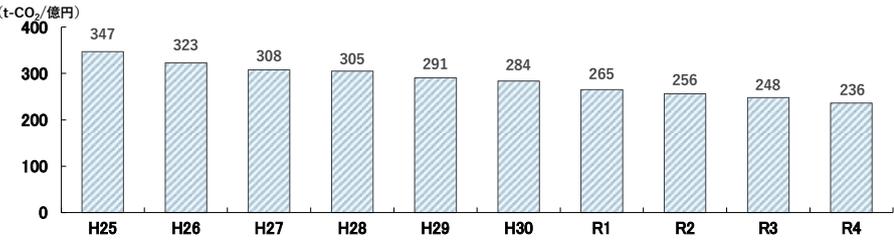
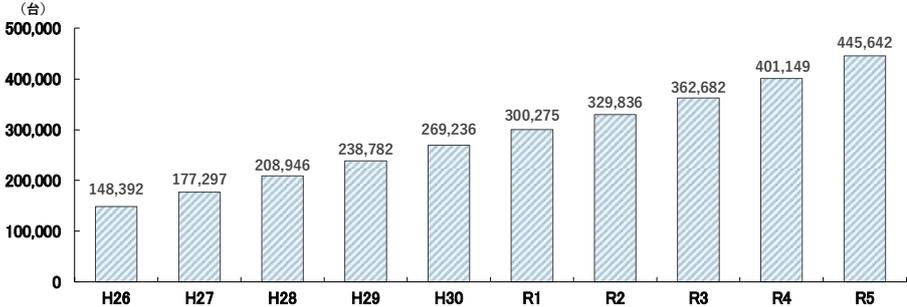
### 分野1 地域から取り組む地球環境の保全

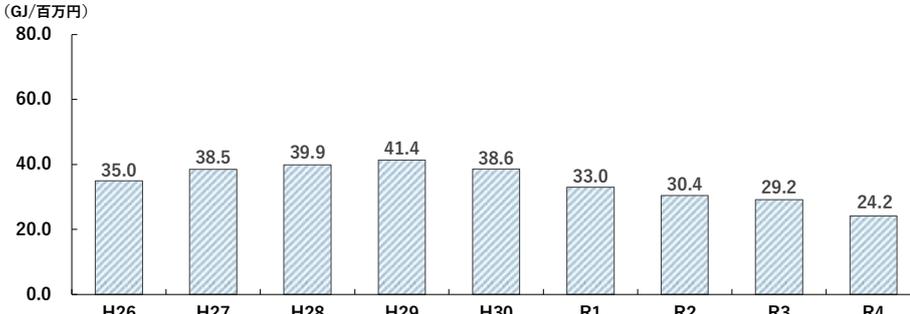
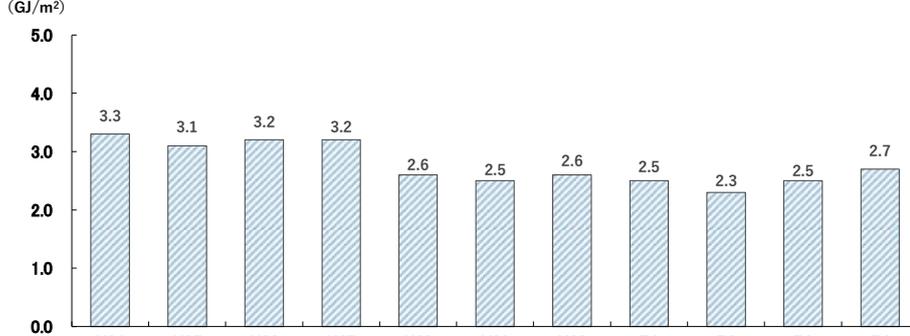
指標群名称 【指標群No.】	内 容																																								
<b>指標</b>  <b>温室効果ガス 実質排出量</b>  【1-指-①】	計画策定時の現状(基準年)	7,369万 t-CO <sub>2</sub> (平成 25 年度)																																							
	実績	4,783 万 t-CO <sub>2</sub> (令和 5 年度 (推計値))																																							
	目標数値等	3,788 万 t-CO <sub>2</sub> (令和 12 年度)																																							
	進捗状況	○ ※減少させることを目標																																							
	<b>【施策の基本的な方向性】 a</b> <b>【施策の方向】 ア(ア)</b>																																								
<b>【指標群設定の考え方】</b> ・ 二酸化炭素など温室効果ガスの排出抑制状況の把握  <b>【関連計画】</b> ・ ゼロカーボン北海道推進計画 (経済部)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ・ 環境・経済・社会の統合的向上による脱炭素社会の実現に向け、様々な主体と「2050年までのゼロカーボン北海道の実現」という目標を共有しながら協働し、社会システムの脱炭素化に向けた取組を総合的に推進します。         </div>																																								
	<b>【指標群の進捗状況等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度の道内の温室効果ガス実質排出量(推計値)は、4,783万t-CO<sub>2</sub>であり、基準年(2013年度(平成25年度))と比べて35.1%減少(2,586万t-CO<sub>2</sub>減)、前年度(令和4年度(速報値))と比べ1.6%減少(76万t-CO<sub>2</sub>減)となっている。温室効果ガス実質排出量が減少した理由としては、産業部門の8割を占める製造業において、鉄鋼・非鉄金属工業等の生産量減少により、エネルギー消費量が減少したことが考えられる。</li> <li>削減目標の達成に向けては、さらなる排出削減や吸収源確保の取組を推進することが必要。</li> </ul>																																								
	<p>(万t-CO<sub>2</sub>)</p> <table border="1"> <caption>温室効果ガス実質排出量 (万t-CO<sub>2</sub>)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>排出量</th> <th>変化率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25 (基準)</td> <td>7,369</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>5,940</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>6,024</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>6,001</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>5,905</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>5,865</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>5,491</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>5,043</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>4,689</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>4,859</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R5 (速報値)</td> <td>4,783</td> <td>▲ 35.1%</td> </tr> <tr> <td>R12 (目標)</td> <td>3,788</td> <td>▲ 46%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	排出量	変化率	H25 (基準)	7,369	-	H26	5,940	-	H27	6,024	-	H28	6,001	-	H29	5,905	-	H30	5,865	-	R1	5,491	-	R2	5,043	-	R3	4,689	-	R4	4,859	-	R5 (速報値)	4,783	▲ 35.1%	R12 (目標)	3,788	▲ 46%
年度	排出量	変化率																																							
H25 (基準)	7,369	-																																							
H26	5,940	-																																							
H27	6,024	-																																							
H28	6,001	-																																							
H29	5,905	-																																							
H30	5,865	-																																							
R1	5,491	-																																							
R2	5,043	-																																							
R3	4,689	-																																							
R4	4,859	-																																							
R5 (速報値)	4,783	▲ 35.1%																																							
R12 (目標)	3,788	▲ 46%																																							
	<small>※速報値：2025(R7)年7月末時点で入手可能な統計等から必要なデータを推計し、2022(R4)年度の温室効果ガスの予測値を算出            ※推計値：2025(R7)年7月末時点で入手可能な統計等に加え、未入手の統計データを他の統計実績値から推計し、2023(R5)年度の排出量の概算値を算出</small>																																								

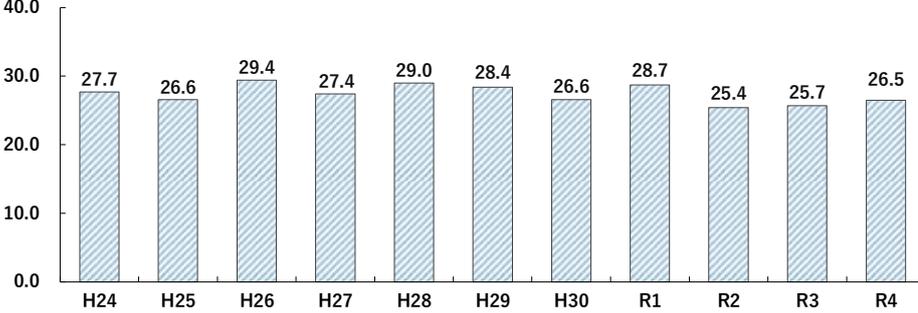
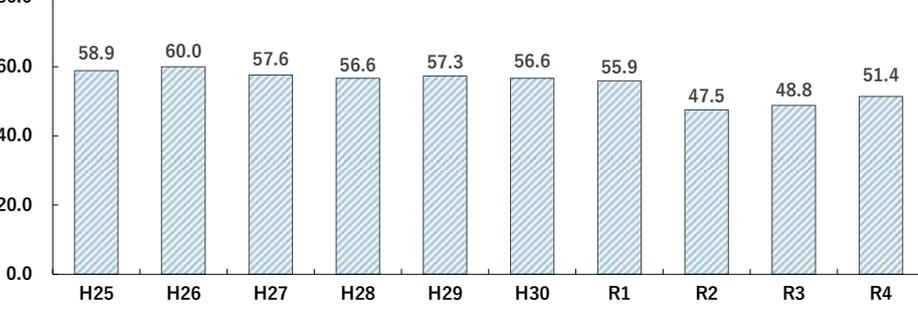
指標群名称 【指標群No.】	内 容	
<b>指標</b> <b>新エネルギー導入量 発電分野 (発電電力量)</b> 【1-指-②】 <b>【指標群設定の考え方】</b> ・再生可能エネルギー (発電分野)の導入 推進状況の把握 <b>【関連計画】</b> ・北海道省エネ ー・新エネルギー促 進行動計画 (経済部)	計画策定時の現状(基準年)	8,611 百万 kWh (平成 30 年度)
	実績	12,598 百万 kWh (令和 5 年度)
	目標数値等	16,490 百万 kWh (令和 12 年度)
	進捗状況	○
	<b>【施策の基本的な方向性】 d</b> <b>【施策の方向】 ア(ウ)</b>	
	・太陽光、風力、地熱、中小水力、バイオマス、雪氷など全国トップクラスの豊富なエネルギー資源を有効に活用した自立・分散型エネルギーの導入等を進めます。	
	<b>【指標群の進捗状況等】</b>	
	・令和5年度の実績は、前年度(令和4年度)から約700万kWh増加し、令和12年度の達成に向けて順調に推移している。 ・地域における再生可能エネルギーの導入促進のため補助事業や普及啓発事業に取り組み、陸上及び洋上風力発電所、バイオマス発電所などの新規稼働により実績値が伸びた。 ・省エネ・新エネ促進行動計画に基づき、地域毎に特色を有する資源を活用したエネルギー地産地消への支援など、新エネルギー導入を促進する。	
	<b>指標</b> <b>新エネルギー導入量 (熱利用分野)</b> 【1-指-③】 <b>【指標群設定の考え方】</b> ・再生可能エネルギー (熱利用分野)の導 入推進状況の把握 <b>【関連計画】</b> ・北海道省エネ ー・新エネルギー促 進行動計画 (経済部)	計画策定時の現状(基準年)
実績		15,426TJ (令和 4 年度)
目標数値等		20,960TJ (令和 12 年度)
進捗状況		△
<b>【施策の基本的な方向性】 a</b> <b>【施策の方向】 ア(ア)</b>		
・太陽光、風力、地熱、中小水力、バイオマス、雪氷など全国トップクラスの豊富なエネルギー資源を有効に活用した自立・分散型エネルギーの導入等を進めます。		
<b>【指標群の進捗状況等】</b>		
・令和12年度の目標達成に向けて順調に推移している。 ・地域における熱利用を含めた再生可能エネルギーの導入促進のため補助事業や普及啓発事業に取り組み、バイオマスエネルギー活用施設の新規稼働や廃棄物エネルギー活用既存施設の供給量増加等により実績値が伸びた。 ・省エネ・新エネ促進行動計画に基づき、地域毎に特色を有する資源を活用したエネルギー地産地消への支援など、新エネルギーを活用した熱利用を促進する。		

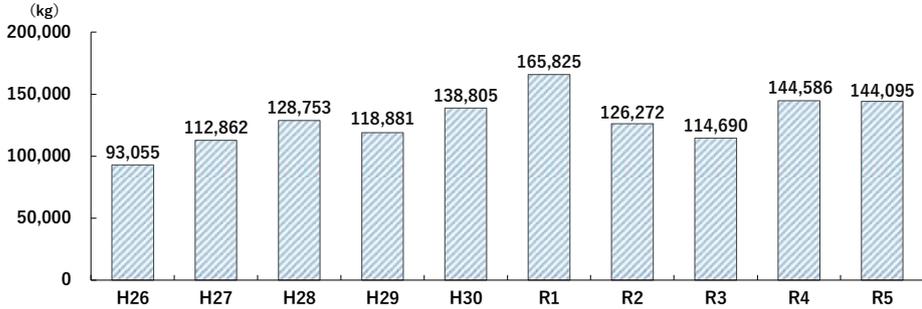
指標群名称 【指標群No.】	内 容																																			
<b>個別指標</b>  <b>森林吸収量</b>  【1-個-①】  <b>【指標群設定の考え方】</b> ・森林における二酸化炭素吸収源対策の推進状況の把握  <b>【関連計画】</b> ・北海道森林吸収源対策推進計画 （水産林務部）	計画策定時の現状(基準年)	841 万 t-CO <sub>2</sub> (令和元年度)																																		
	実績	937 万 t-CO <sub>2</sub> (令和5年度)																																		
	目標数値等	841 万 t-CO <sub>2</sub> (令和12年度)																																		
	進捗状況	◎																																		
	<b>【施策の基本的な方向性】 d</b> <b>【施策の方向】 ア(ウ)</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           ・「森林吸収源対策推進計画」に基づき、森林の整備や保全を着実に進めるとともに、地域材の利用を促進し、森林や木材が持つ二酸化炭素吸収・固定機能の高度発揮を図るなど、森林における吸収源対策を推進します。         </div> <b>【指標群の進捗状況等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度の森林による吸収量は937万t-CO<sub>2</sub>で、前年度から約6.8%増加している。</li> <li>前年度からの増加については、ウッドショックの影響による木材需要の一時的な増加が一服したことにより、伐採量が減少したことなどが要因と考えられる。</li> <li>森林吸収源対策を推進するため、森林の若返りによる活力ある森林づくりや、道産木材の利用促進等に取り組む。</li> </ul>																																			
<p>(万t-CO<sub>2</sub>)</p>																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>吸収源</th> <th>2019年度 (R1)</th> <th>2020年度 (R2)</th> <th>2021年度 (R3)</th> <th>2022年度 (R4)</th> <th>2023年度 (R5)</th> <th>2030年度 (R12) 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林*</td> <td>841</td> <td>747</td> <td>986</td> <td>877</td> <td>937</td> <td>850</td> </tr> <tr> <td>農地土壌*</td> <td>20</td> <td>155</td> <td>190</td> <td>42</td> <td>37</td> <td>276</td> </tr> <tr> <td>都市緑化*</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>18</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td><b>合計</b></td> <td><b>877</b></td> <td><b>917</b></td> <td><b>1,196</b></td> <td><b>938</b></td> <td><b>991</b></td> <td><b>1,142</b></td> </tr> </tbody> </table>		吸収源	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2030年度 (R12) 目標値	森林*	841	747	986	877	937	850	農地土壌*	20	155	190	42	37	276	都市緑化*	16	16	20	20	18	16	<b>合計</b>	<b>877</b>	<b>917</b>	<b>1,196</b>	<b>938</b>	<b>991</b>	<b>1,142</b>
吸収源	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2030年度 (R12) 目標値																														
森林*	841	747	986	877	937	850																														
農地土壌*	20	155	190	42	37	276																														
都市緑化*	16	16	20	20	18	16																														
<b>合計</b>	<b>877</b>	<b>917</b>	<b>1,196</b>	<b>938</b>	<b>991</b>	<b>1,142</b>																														

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																																																												
<p><b>補足データ</b></p> <p><b>道民一人当たりの温室効果ガス排出量</b></p> <p>【1-補-①】</p> <p><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二酸化炭素など温室効果ガスの排出抑制状況の把握</li> </ul> <p><b>【関連計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼロカーボン北海道推進計画（経済部）</li> </ul>	<p><b>【施策の基本的な方向性】 a</b></p> <p><b>【施策の方向】 ア(ア)</b></p> <p>・環境・経済・社会の統合的向上による脱炭素社会の実現に向け、様々な主体と「2050年までのゼロカーボン北海道の実現」という目標を共有しながら協働し、社会システムの脱炭素化に向けた取組を総合的に推進。</p> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度（2022年度）の道民一人当たりの温室効果ガス排出量（速報値）は、11.3t-CO<sub>2</sub>/人であり全国値の1.3倍となっている。</li> <li>・令和5年度（2023年度）の道民一人当たりの温室効果ガス排出量（推計値）は、11.3t-CO<sub>2</sub>/人であり全国値と比較して高い傾向となる見込み。</li> <li>・積雪寒冷により暖房の灯油消費量が多いことや広域分散型で自動車への依存度が高いという本道の地域特性が要因と考えられる。</li> </ul>  <table border="1"> <caption>道民一人当たりの温室効果ガス排出量 (t-CO<sub>2</sub>)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>北海道</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25 (基準)</td><td>13.6</td><td>11.0</td></tr> <tr><td>H26</td><td>13.1</td><td>10.6</td></tr> <tr><td>H27</td><td>13.0</td><td>10.3</td></tr> <tr><td>H28</td><td>12.9</td><td>10.1</td></tr> <tr><td>H29</td><td>12.9</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>H30</td><td>12.8</td><td>9.7</td></tr> <tr><td>R1</td><td>12.1</td><td>9.4</td></tr> <tr><td>R2</td><td>11.4</td><td>8.9</td></tr> <tr><td>R3</td><td>11.4</td><td>9.1</td></tr> <tr><td>R4 (速報値)</td><td>11.3</td><td>8.9</td></tr> <tr><td>R5 (推計値)</td><td>11.3</td><td>8.6</td></tr> </tbody> </table>	年度	北海道	全国	H25 (基準)	13.6	11.0	H26	13.1	10.6	H27	13.0	10.3	H28	12.9	10.1	H29	12.9	10.0	H30	12.8	9.7	R1	12.1	9.4	R2	11.4	8.9	R3	11.4	9.1	R4 (速報値)	11.3	8.9	R5 (推計値)	11.3	8.6																																																																								
年度	北海道	全国																																																																																																											
H25 (基準)	13.6	11.0																																																																																																											
H26	13.1	10.6																																																																																																											
H27	13.0	10.3																																																																																																											
H28	12.9	10.1																																																																																																											
H29	12.9	10.0																																																																																																											
H30	12.8	9.7																																																																																																											
R1	12.1	9.4																																																																																																											
R2	11.4	8.9																																																																																																											
R3	11.4	9.1																																																																																																											
R4 (速報値)	11.3	8.9																																																																																																											
R5 (推計値)	11.3	8.6																																																																																																											
<p><b>補足データ</b></p> <p><b>部門別二酸化炭素排出量</b></p> <p>【1-補-②】</p> <p><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二酸化炭素など温室効果ガスの排出抑制状況の把握</li> </ul> <p><b>【関連計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼロカーボン北海道推進計画（経済部）</li> </ul>	<p><b>【施策の基本的な方向性】 a</b></p> <p><b>【施策の方向】 ア(ア)</b></p> <p>・環境・経済・社会の統合的向上による脱炭素社会の実現に向け、様々な主体と「2050年までのゼロカーボン北海道の実現」という目標を共有しながら協働し、社会システムの脱炭素化に向けた取組を総合的に推進。</p> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な排出部門である産業部門、家庭部門及び業務その他部門については、平成25年度（2013年度）から減少傾向である。</li> <li>・産業部門、家庭部門及び業務その他部門の減少については、家庭や事業所の省エネの取組などが要因の一つと考えられる。</li> </ul>  <table border="1"> <caption>部門別二酸化炭素排出量 (万t-CO<sub>2</sub>)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>産業</th> <th>業務その他</th> <th>家庭</th> <th>運輸</th> <th>エネルギー転換</th> <th>工業プロセス</th> <th>廃棄物</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>1,260</td><td>1,519</td><td>1,010</td><td>2,470</td><td>2,470</td><td>1,010</td><td>47</td><td>6,551</td></tr> <tr><td>H26</td><td>1,269</td><td>1,419</td><td>976</td><td>1,445</td><td>1,445</td><td>976</td><td>48</td><td>6,236</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,263</td><td>1,385</td><td>935</td><td>1,311</td><td>1,311</td><td>935</td><td>48</td><td>6,142</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,207</td><td>1,410</td><td>927</td><td>1,207</td><td>1,207</td><td>927</td><td>47</td><td>6,092</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1,388</td><td>1,210</td><td>874</td><td>1,210</td><td>1,210</td><td>874</td><td>57</td><td>5,938</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,278</td><td>1,156</td><td>860</td><td>1,156</td><td>1,156</td><td>860</td><td>58</td><td>5,821</td></tr> <tr><td>R1</td><td>1,266</td><td>1,091</td><td>807</td><td>1,091</td><td>1,091</td><td>807</td><td>55</td><td>5,435</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1,043</td><td>1,166</td><td>782</td><td>1,166</td><td>1,166</td><td>782</td><td>52</td><td>5,015</td></tr> <tr><td>R3</td><td>1,059</td><td>1,043</td><td>811</td><td>1,043</td><td>1,043</td><td>811</td><td>54</td><td>5,031</td></tr> <tr><td>R4 (速報値)</td><td>1,119</td><td>1,023</td><td>795</td><td>1,023</td><td>1,023</td><td>795</td><td>53</td><td>4,938</td></tr> <tr><td>R5 (推計値)</td><td>1,120</td><td>1,025</td><td>824</td><td>1,025</td><td>1,025</td><td>824</td><td>52</td><td>4,891</td></tr> </tbody> </table>	年度	産業	業務その他	家庭	運輸	エネルギー転換	工業プロセス	廃棄物	合計	H25	1,260	1,519	1,010	2,470	2,470	1,010	47	6,551	H26	1,269	1,419	976	1,445	1,445	976	48	6,236	H27	1,263	1,385	935	1,311	1,311	935	48	6,142	H28	1,207	1,410	927	1,207	1,207	927	47	6,092	H29	1,388	1,210	874	1,210	1,210	874	57	5,938	H30	1,278	1,156	860	1,156	1,156	860	58	5,821	R1	1,266	1,091	807	1,091	1,091	807	55	5,435	R2	1,043	1,166	782	1,166	1,166	782	52	5,015	R3	1,059	1,043	811	1,043	1,043	811	54	5,031	R4 (速報値)	1,119	1,023	795	1,023	1,023	795	53	4,938	R5 (推計値)	1,120	1,025	824	1,025	1,025	824	52	4,891
年度	産業	業務その他	家庭	運輸	エネルギー転換	工業プロセス	廃棄物	合計																																																																																																					
H25	1,260	1,519	1,010	2,470	2,470	1,010	47	6,551																																																																																																					
H26	1,269	1,419	976	1,445	1,445	976	48	6,236																																																																																																					
H27	1,263	1,385	935	1,311	1,311	935	48	6,142																																																																																																					
H28	1,207	1,410	927	1,207	1,207	927	47	6,092																																																																																																					
H29	1,388	1,210	874	1,210	1,210	874	57	5,938																																																																																																					
H30	1,278	1,156	860	1,156	1,156	860	58	5,821																																																																																																					
R1	1,266	1,091	807	1,091	1,091	807	55	5,435																																																																																																					
R2	1,043	1,166	782	1,166	1,166	782	52	5,015																																																																																																					
R3	1,059	1,043	811	1,043	1,043	811	54	5,031																																																																																																					
R4 (速報値)	1,119	1,023	795	1,023	1,023	795	53	4,938																																																																																																					
R5 (推計値)	1,120	1,025	824	1,025	1,025	824	52	4,891																																																																																																					

指標群名称 【指標群No.】	内 容
<p><b>補足データ</b></p> <p><b>環境効率性</b></p> <p>【1-補-③】</p> <p><b>【指標群設定の考え方】</b> ・ 二酸化炭素など温室効果ガスの排出抑制状況の把握</p> <p><b>【関連計画】</b> ・ ゼロカーボン北海道推進計画（経済部）</p>	<p><b>【施策の基本的な方向性】 a</b> <b>【施策の方向】 ア(ア)</b></p> <p>・ 環境・経済・社会の統合的向上による脱炭素社会の実現に向け、様々な主体と「2050年までのゼロカーボン北海道の実現」という目標を共有しながら協働し、社会システムの脱炭素化に向けた取組を総合的に推進。</p> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b> ・ 平成25年度から減少傾向にある。</p>  <p><b>環境効率性</b></p> <p>・ 財やサービスの生産に伴って発生する環境への負荷の考え方。同じ機能・役割を果たす財やサービスの生産を比べた場合に、それによって発生する環境への負荷が小さければ、それだけ環境効率性が高いということとなる。（平成10年環境白書）</p> <p><b>【計算式】</b>：二酸化炭素排出量÷道内総生産</p>
<p><b>補足データ</b></p> <p><b>次世代自動車の保有台数</b></p> <p>【1-補-④】</p> <p><b>【指標群設定の考え方】</b> ・ 化石燃料への依存の少ないライフスタイルや事業活動への転換状況の把握</p> <p><b>【関連計画】</b> ・ ゼロカーボン北海道推進計画（経済部）</p>	<p><b>【施策の基本的な方向性】 c</b> <b>【施策の方向】 ア(ア)</b></p> <p>・ 環境・経済・社会の統合的向上による脱炭素社会の実現に向け、様々な主体と「2050年までのゼロカーボン北海道の実現」という目標を共有しながら協働し、社会システムの脱炭素化に向けた取組を総合的に推進。</p> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b> ・ 次世代自動車の保有台数は年々増加しており、登録車両全体に占める割合も上昇してきている。 ・ 継続的な啓発活動による効果やゼロカーボンへの意識の高まり、また近年の燃料価格高騰等による経済性への配慮などにより、自動車購入時に次世代自動車を選択する方が増加しているものと推察される。</p>  <p><b>燃料別台数内訳（令和5年月末）※ 軽自動車を含まない。</b></p> <p>・ ハイブリッド（HV）434,021台、プラグインハイブリッド車（PHV）8,324台、電気自動車（EV）3,178台、天然ガス自動車（CNG）52台、燃料電池車（FCV）66台、メタノール車1台 （引用元）一般財団法人自動車検査登録情報協会 <a href="https://www.airia.or.jp/publish/statistics/trend.html">https://www.airia.or.jp/publish/statistics/trend.html</a> 北海道経済部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン産業課 HP <a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/gxs/ecocar.html">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/gxs/ecocar.html</a></p>

指標群名称 【指標群No.】	内 容																								
<p><b>補足データ</b></p> <p><b>産業部門エネルギー消費原単位</b></p> <p>【1-補-⑤】</p> <p><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二酸化炭素など温室効果ガスの排出抑制状況の把握（各部門）</li> </ul> <p><b>【関連計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画（経済部）</li> </ul>	<p><b>【施策の基本的な方向性】 a</b></p> <p><b>【施策の方向】 ア(ア)</b></p> <p>・環境・経済・社会の統合的向上による脱炭素社会の実現に向け、様々な主体と「2050年までのゼロカーボン北海道の実現」という目標を共有しながら協働し、社会システムの脱炭素化に向けた取組を総合的に推進。</p> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成27年度から平成29年度までは増加、平成30年度以降は減少傾向が続いており、令和4年度は前年度比約20%減となった。道内総生産と比較し、エネルギー消費量が大きく減少したことによる。</li> <li>・省エネ・新エネ促進行動計画に基づき、引き続き、省エネの一層の促進を図る。</li> </ul>  <table border="1"> <caption>エネルギー消費原単位 (GJ/百万円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>消費原単位 (GJ/百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>35.0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>38.5</td></tr> <tr><td>H28</td><td>39.9</td></tr> <tr><td>H29</td><td>41.4</td></tr> <tr><td>H30</td><td>38.6</td></tr> <tr><td>R1</td><td>33.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>30.4</td></tr> <tr><td>R3</td><td>29.2</td></tr> <tr><td>R4</td><td>24.2</td></tr> </tbody> </table>	年度	消費原単位 (GJ/百万円)	H26	35.0	H27	38.5	H28	39.9	H29	41.4	H30	38.6	R1	33.0	R2	30.4	R3	29.2	R4	24.2				
年度	消費原単位 (GJ/百万円)																								
H26	35.0																								
H27	38.5																								
H28	39.9																								
H29	41.4																								
H30	38.6																								
R1	33.0																								
R2	30.4																								
R3	29.2																								
R4	24.2																								
<p><b>補足データ</b></p> <p><b>業務部門エネルギー消費原単位</b></p> <p>【1-補-⑥】</p> <p><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二酸化炭素など温室効果ガスの排出抑制状況の把握（各部門）</li> </ul> <p><b>【関連計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画（経済部）</li> </ul>	<p><b>【施策の基本的な方向性】 a</b></p> <p><b>【施策の方向】 ア(ア)</b></p> <p>・環境・経済・社会の統合的向上による脱炭素社会の実現に向け、様々な主体と「2050年までのゼロカーボン北海道の実現」という目標を共有しながら協働し、社会システムの脱炭素化に向けた取組を総合的に推進。</p> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度以降横ばいが続いていたが、令和4年度は前年度比約8%増となった。</li> <li>・事業所の床面積はほぼ横ばいだったが、エネルギー消費量が減少したため。</li> <li>・省エネ・新エネ促進行動計画に基づき、引き続き、省エネルギーの一層の促進を図る。</li> </ul>  <table border="1"> <caption>エネルギー消費原単位 (GJ/m²)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>消費原単位 (GJ/m²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>3.3</td></tr> <tr><td>H25</td><td>3.1</td></tr> <tr><td>H26</td><td>3.2</td></tr> <tr><td>H27</td><td>3.2</td></tr> <tr><td>H28</td><td>2.6</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>H30</td><td>2.6</td></tr> <tr><td>R1</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>R2</td><td>2.3</td></tr> <tr><td>R3</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>R4</td><td>2.7</td></tr> </tbody> </table>	年度	消費原単位 (GJ/m²)	H24	3.3	H25	3.1	H26	3.2	H27	3.2	H28	2.6	H29	2.5	H30	2.6	R1	2.5	R2	2.3	R3	2.5	R4	2.7
年度	消費原単位 (GJ/m²)																								
H24	3.3																								
H25	3.1																								
H26	3.2																								
H27	3.2																								
H28	2.6																								
H29	2.5																								
H30	2.6																								
R1	2.5																								
R2	2.3																								
R3	2.5																								
R4	2.7																								

指標群名称 【指標群No.】	内 容																								
<p data-bbox="245 253 386 293"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="193 327 440 396"><b>家庭部門エネルギー消費原単位</b></p> <p data-bbox="248 430 384 459">【1-補-⑦】</p> <div data-bbox="181 517 448 864" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="193 528 416 557"><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <p data-bbox="193 560 432 674">・ 二酸化炭素など温室効果ガスの排出抑制状況の把握 (各部門)</p> <p data-bbox="256 703 376 732"><b>【関連計画】</b></p> <p data-bbox="193 734 432 848">・ 北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画 (経済部)</p> </div>	<p data-bbox="472 253 794 282"><b>【施策の基本的な方向性】 a</b></p> <p data-bbox="472 286 722 315"><b>【施策の方向】 ア(ア)</b></p> <div data-bbox="496 331 1406 445" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="512 342 1390 434">・ 環境・経済・社会の統合的向上による脱炭素社会の実現に向け、様々な主体と「2050年までのゼロカーボン北海道の実現」という目標を共有しながら協働し、社会システムの脱炭素化に向けた取組を総合的に推進。</p> </div> <p data-bbox="472 463 738 492"><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul data-bbox="496 499 1406 640" style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度以降減少傾向であったが、令和4年度は前年度比約3%の増。道内人口は横ばいだが、エネルギー消費量が増加したことによる。</li> <li>・ 省エネ・新エネ促進行動計画に基づき、引き続き、省エネルギーの一層の促進を図る。</li> </ul> <div data-bbox="472 669 1406 1016"> <p data-bbox="472 674 528 696">(GJ/人)</p>  <table border="1" data-bbox="480 703 1398 1016"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>消費量 (GJ/人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>27.7</td></tr> <tr><td>H25</td><td>26.6</td></tr> <tr><td>H26</td><td>29.4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>27.4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>29.0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>28.4</td></tr> <tr><td>H30</td><td>26.6</td></tr> <tr><td>R1</td><td>28.7</td></tr> <tr><td>R2</td><td>25.4</td></tr> <tr><td>R3</td><td>25.7</td></tr> <tr><td>R4</td><td>26.5</td></tr> </tbody> </table> </div>	年度	消費量 (GJ/人)	H24	27.7	H25	26.6	H26	29.4	H27	27.4	H28	29.0	H29	28.4	H30	26.6	R1	28.7	R2	25.4	R3	25.7	R4	26.5
年度	消費量 (GJ/人)																								
H24	27.7																								
H25	26.6																								
H26	29.4																								
H27	27.4																								
H28	29.0																								
H29	28.4																								
H30	26.6																								
R1	28.7																								
R2	25.4																								
R3	25.7																								
R4	26.5																								
<p data-bbox="245 1093 386 1133"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="193 1167 440 1236"><b>運輸部門エネルギー消費原単位</b></p> <p data-bbox="248 1270 384 1299">【1-補-⑧】</p> <div data-bbox="181 1335 448 1682" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="193 1346 416 1375"><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <p data-bbox="193 1377 432 1491">・ 二酸化炭素など温室効果ガスの排出抑制状況の把握 (各部門)</p> <p data-bbox="256 1520 376 1550"><b>【関連計画】</b></p> <p data-bbox="193 1552 432 1666">・ 北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画 (経済部)</p> </div>	<p data-bbox="472 1093 794 1122"><b>【施策の基本的な方向性】 a</b></p> <p data-bbox="472 1126 722 1155"><b>【施策の方向】 ア(ア)</b></p> <div data-bbox="496 1171 1406 1285" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="512 1182 1390 1274">・ 環境・経済・社会の統合的向上による脱炭素社会の実現に向け、様々な主体と「2050年までのゼロカーボン北海道の実現」という目標を共有しながら協働し、社会システムの脱炭素化に向けた取組を総合的に推進。</p> </div> <p data-bbox="472 1303 738 1332"><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul data-bbox="496 1339 1406 1525" style="list-style-type: none"> <li>・ 平成28年度以降横ばいが続いていたが、令和3年度以降増加傾向であり、令和4年度は前年度比約5%の増。</li> <li>・ 自動車保有台数はほぼ横ばいだったが、エネルギー消費量が増加したため。</li> <li>・ 省エネ・新エネ促進行動計画に基づき、引き続き、省エネルギーの一層の促進を図る。</li> </ul> <div data-bbox="472 1554 1406 1901"> <p data-bbox="472 1559 528 1581">(GJ/台)</p>  <table border="1" data-bbox="480 1588 1398 1901"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>消費量 (GJ/台)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>58.9</td></tr> <tr><td>H26</td><td>60.0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>57.6</td></tr> <tr><td>H28</td><td>56.6</td></tr> <tr><td>H29</td><td>57.3</td></tr> <tr><td>H30</td><td>56.6</td></tr> <tr><td>R1</td><td>55.9</td></tr> <tr><td>R2</td><td>47.5</td></tr> <tr><td>R3</td><td>48.8</td></tr> <tr><td>R4</td><td>51.4</td></tr> </tbody> </table> </div>	年度	消費量 (GJ/台)	H25	58.9	H26	60.0	H27	57.6	H28	56.6	H29	57.3	H30	56.6	R1	55.9	R2	47.5	R3	48.8	R4	51.4		
年度	消費量 (GJ/台)																								
H25	58.9																								
H26	60.0																								
H27	57.6																								
H28	56.6																								
H29	57.3																								
H30	56.6																								
R1	55.9																								
R2	47.5																								
R3	48.8																								
R4	51.4																								

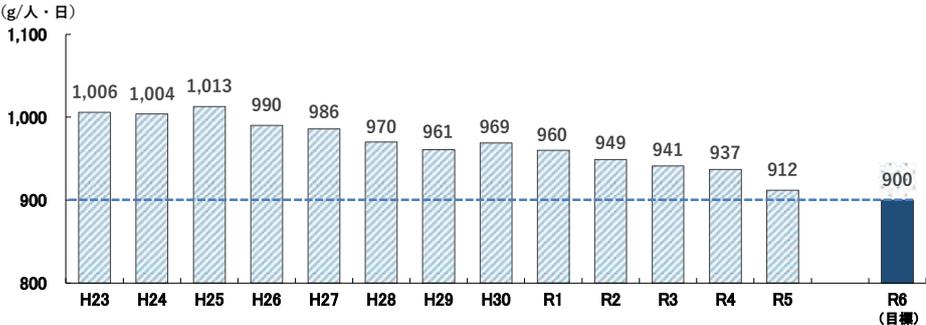
指標群名称 【指標群No.】	内 容																						
<p data-bbox="245 253 387 293"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="209 327 424 432">フロン排出抑制法に基づくフロン類の回収量・破壊量</p> <p data-bbox="248 465 384 495">【1-補-⑨】</p> <div data-bbox="181 551 448 792" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="193 562 421 591">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="193 593 432 678" style="list-style-type: none"> <li>・フロン類の管理の適正化の推進状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="253 710 376 739">【関連計画】</p> <ul data-bbox="193 741 371 770" style="list-style-type: none"> <li>・無し（経済部）</li> </ul> </div>	<p data-bbox="472 248 794 277">【施策の基本的な方向性】 e</p> <p data-bbox="472 286 675 315">【施策の方向】 ウ</p> <div data-bbox="496 331 1402 416" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul data-bbox="512 342 1386 405" style="list-style-type: none"> <li>・温室効果ガス排出抑制及びオゾン層保護のため、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化を推進します。</li> </ul> </div> <p data-bbox="472 434 738 463">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="496 472 1406 647" style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度から令和元年度にかけてフロン回収量は増加傾向であった。その後、令和2、3年度は回収量が減少したが、令和4年度は再び増加に転じ、令和5年度は横ばいとなっている。</li> <li>・管理者や関係事業者への立入検査時の指導・助言、北海道フロン類適正管理推進協議会の開催などを通してフロン類の適正管理を呼びかける。</li> </ul> <div data-bbox="464 730 1386 1039" style="text-align: center;">  <table border="1" data-bbox="464 730 1386 1039"> <caption>フロン回収量 (kg)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>回収量 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>93,055</td></tr> <tr><td>H27</td><td>112,862</td></tr> <tr><td>H28</td><td>128,753</td></tr> <tr><td>H29</td><td>118,881</td></tr> <tr><td>H30</td><td>138,805</td></tr> <tr><td>R1</td><td>165,825</td></tr> <tr><td>R2</td><td>126,272</td></tr> <tr><td>R3</td><td>114,690</td></tr> <tr><td>R4</td><td>144,586</td></tr> <tr><td>R5</td><td>144,095</td></tr> </tbody> </table> </div>	年度	回収量 (kg)	H26	93,055	H27	112,862	H28	128,753	H29	118,881	H30	138,805	R1	165,825	R2	126,272	R3	114,690	R4	144,586	R5	144,095
年度	回収量 (kg)																						
H26	93,055																						
H27	112,862																						
H28	128,753																						
H29	118,881																						
H30	138,805																						
R1	165,825																						
R2	126,272																						
R3	114,690																						
R4	144,586																						
R5	144,095																						

## 分野2 北海道らしい循環型社会の形成

指標群名称 【指標群No.】	内 容										
<p style="text-align: center;"><b>指標</b></p> <p style="text-align: center;"><b>循環利用率</b></p> <p style="text-align: center;">【2-指-①】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・循環資源の循環的利用推進状況の把握</li> </ul> <p><b>【関連計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道循環型社会形成推進基本計画（環境生活部）</li> </ul> </div>	計画策定時の現状(基準年)	15.7% (平成 29 年度)									
	実績	15.7% (平成 29 年度)									
	目標数値等	17.0% (令和 6 年度)									
	進捗状況	—									
	<p><b>【施策の基本的な方向性】 a</b></p> <p><b>【施策の方向】 ア</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3R を推進するため、環境に配慮するライフスタイル・ビジネススタイルの定着に向けた普及啓発や、廃棄物の排出抑制・リサイクルに係る基盤整備を進めるほか、各種リサイクル法に基づき、個別分野のリサイクルを推進します。</li> </ul> </div> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準年以降、指標の調査結果が出ていないことから現時点での進捗は不明。</li> <li>・当該指標の調査は5年に1度であり、最新となる令和4年度の調査結果がまだ出ておらず、基準年からの進捗状況は現時点では不明である。</li> <li>・目標の達成に向けて、引き続き、循環型社会形成推進基本計画に沿って廃棄物の排出削減やリサイクルの取組を進める。</li> </ul>										
<div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <caption>循環利用率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>循環利用率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>13.5</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>14.5</td> </tr> <tr> <td>H29 (基準)</td> <td>15.7</td> </tr> <tr> <td>R6 (目標)</td> <td>17.0</td> </tr> </tbody> </table> </div>		年度	循環利用率 (%)	H19	13.5	H24	14.5	H29 (基準)	15.7	R6 (目標)	17.0
年度	循環利用率 (%)										
H19	13.5										
H24	14.5										
H29 (基準)	15.7										
R6 (目標)	17.0										

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																																									
<b>集計中</b> <b>指標</b> <b>最終処分量</b> <b>【2-指-②】</b>	計画策定時の現状(基準年)	100.0万t(平成29年度)																																																																																								
	実績	115.1万t(令和3年度)																																																																																								
	目標数値等	82.0万t(令和6年度)																																																																																								
	進捗状況	—																																																																																								
	<b>【施策の基本的な方向性】 a</b> <b>【施策の方向】 ア</b>																																																																																									
<b>【指標群設定の考え方】</b> ・循環資源の循環的利用推進状況の把握 <b>【関連計画】</b> ・北海道循環型社会形成推進基本計画(環境生活部)		・3Rを推進するため、環境に配慮するライフスタイル・ビジネススタイルの定着に向けた普及啓発や、廃棄物の排出抑制・リサイクルに係る基盤整備を進めるほか、各種リサイクル法に基づき、個別分野のリサイクルを推進します。																																																																																								
<b>【指標群の進捗状況等】</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物は減少傾向、産業廃棄物は横ばいで全体としては横ばいで推移している。</li> <li>直接の要因・原因は把握できていない。一般廃棄物は一人あたりのごみの排出量や人口減少による排出量の減少に伴い、最終処分量が減少したと思われる。</li> <li>目標の達成に向けて引き続き、北海道循環型社会形成推進基本計画に沿って廃棄物の排出量削減やリサイクル推進の取組を進める。</li> </ul>																																																																																								
<b>【地域別の状況】</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度の地域別に占める割合は、道央広域で●●%、次いで道北で●●%となっています。</li> <li>目標の達成に向けて、引き続き北海道循環型社会形成推進基本計画に沿って廃棄物の排出量削減やリサイクル推進の取組を進める。</li> </ul>																																																																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道央広域(70)</td> <td>75.1</td> <td>69.2</td> <td>66.5</td> <td>66.7</td> <td>55.7</td> <td>56.6</td> <td>76.8</td> <td>58.8</td> <td>65.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>道南(18)</td> <td>8.1</td> <td>7.8</td> <td>7.9</td> <td>7.6</td> <td>7.2</td> <td>7.4</td> <td>6.3</td> <td>6.0</td> <td>6.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>道北(41)</td> <td>13.5</td> <td>12.8</td> <td>13.0</td> <td>12.9</td> <td>13.9</td> <td>13.7</td> <td>18.9</td> <td>17.5</td> <td>17.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オホーツク(18)</td> <td>7.5</td> <td>6.9</td> <td>7.3</td> <td>7.2</td> <td>7.4</td> <td>7.3</td> <td>9.8</td> <td>9.1</td> <td>10.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>十勝(19)</td> <td>5.7</td> <td>5.4</td> <td>5.5</td> <td>5.6</td> <td>8.9</td> <td>9.0</td> <td>6.9</td> <td>8.4</td> <td>9.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>釧路・根室(13)</td> <td>6.1</td> <td>5.6</td> <td>5.6</td> <td>5.9</td> <td>6.5</td> <td>6.4</td> <td>4.5</td> <td>5.2</td> <td>4.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>116.0</td> <td>107.7</td> <td>105.8</td> <td>105.9</td> <td>99.6</td> <td>100.4</td> <td>123.2</td> <td>105.0</td> <td>113.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	道央広域(70)	75.1	69.2	66.5	66.7	55.7	56.6	76.8	58.8	65.1		道南(18)	8.1	7.8	7.9	7.6	7.2	7.4	6.3	6.0	6.1		道北(41)	13.5	12.8	13.0	12.9	13.9	13.7	18.9	17.5	17.6		オホーツク(18)	7.5	6.9	7.3	7.2	7.4	7.3	9.8	9.1	10.6		十勝(19)	5.7	5.4	5.5	5.6	8.9	9.0	6.9	8.4	9.9		釧路・根室(13)	6.1	5.6	5.6	5.9	6.5	6.4	4.5	5.2	4.6		合計	116.0	107.7	105.8	105.9	99.6	100.4	123.2	105.0	113.9	
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																
道央広域(70)	75.1	69.2	66.5	66.7	55.7	56.6	76.8	58.8	65.1																																																																																	
道南(18)	8.1	7.8	7.9	7.6	7.2	7.4	6.3	6.0	6.1																																																																																	
道北(41)	13.5	12.8	13.0	12.9	13.9	13.7	18.9	17.5	17.6																																																																																	
オホーツク(18)	7.5	6.9	7.3	7.2	7.4	7.3	9.8	9.1	10.6																																																																																	
十勝(19)	5.7	5.4	5.5	5.6	8.9	9.0	6.9	8.4	9.9																																																																																	
釧路・根室(13)	6.1	5.6	5.6	5.9	6.5	6.4	4.5	5.2	4.6																																																																																	
合計	116.0	107.7	105.8	105.9	99.6	100.4	123.2	105.0	113.9																																																																																	

指標群名称 【指標群No.】	内 容																						
<p data-bbox="284 255 349 293"><b>指標</b></p> <p data-bbox="194 327 437 396">廃棄物系バイオマス 利活用率</p> <p data-bbox="248 430 383 461">【2-指-③】</p> <div data-bbox="181 495 450 757" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="194 501 421 533">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="194 533 432 589" style="list-style-type: none"> <li>・バイオマスの利活用 推進状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="194 618 316 647">【関連計画】</p> <ul data-bbox="194 647 349 676" style="list-style-type: none"> <li>・一（経済部）</li> </ul> </div>	計画策定時の現状(基準年)	89.8% (平成 28 年度)																					
	実績	91.1% (令和 2 年度)																					
	目標数値等	90.0% (令和 4 年度)																					
	進捗状況	◎																					
	<p data-bbox="472 407 794 439">【施策の基本的な方向性】 ㉔</p> <p data-bbox="472 443 675 474">【施策の方向】 ウ</p> <div data-bbox="496 488 1406 595" style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> <ul data-bbox="512 506 1390 573" style="list-style-type: none"> <li>・「北海道バイオマス活用推進計画」に基づき、市町村などの取組を促進するとともに、利活用システムの構築や施設整備を支援します。</li> </ul> </div> <p data-bbox="472 618 738 649">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="496 654 1406 797" style="list-style-type: none"> <li>・ 横ばいで推移している。</li> <li>・ 既に目標値を達成しており、十分な利活用がなされていると考えられる。</li> <li>・ 現状の高い水準を維持するため、引き続き、道内のバイオマス資源の有効活用を促進するための取組を行う。</li> </ul> <div data-bbox="472 819 1398 1137"> <table border="1" data-bbox="472 819 1398 1137"> <caption>バイオマス利活用率推移状況</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利活用率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24 (基準)</td><td>88.2</td></tr> <tr><td>H25</td><td>88.4</td></tr> <tr><td>H26</td><td>89.1</td></tr> <tr><td>H27</td><td>90.2</td></tr> <tr><td>H28</td><td>89.8</td></tr> <tr><td>H29</td><td>89.8</td></tr> <tr><td>H30</td><td>90.4</td></tr> <tr><td>R1</td><td>91.2</td></tr> <tr><td>R2</td><td>91.1</td></tr> <tr><td>R4 (目標)</td><td>90.0</td></tr> </tbody> </table> </div>		年度	利活用率 (%)	H24 (基準)	88.2	H25	88.4	H26	89.1	H27	90.2	H28	89.8	H29	89.8	H30	90.4	R1	91.2	R2	91.1	R4 (目標)
年度	利活用率 (%)																						
H24 (基準)	88.2																						
H25	88.4																						
H26	89.1																						
H27	90.2																						
H28	89.8																						
H29	89.8																						
H30	90.4																						
R1	91.2																						
R2	91.1																						
R4 (目標)	90.0																						
<p data-bbox="256 1176 378 1214"><b>個別指標</b></p> <p data-bbox="209 1247 426 1317">未利用バイオマス 利活用率</p> <p data-bbox="248 1350 383 1382">【2-指-④】</p> <div data-bbox="181 1415 450 1677" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="194 1422 421 1453">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="194 1453 432 1509" style="list-style-type: none"> <li>・バイオマスの利活用 推進状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="194 1538 316 1568">【関連計画】</p> <ul data-bbox="194 1568 349 1597" style="list-style-type: none"> <li>・一（経済部）</li> </ul> </div>	計画策定時の現状(基準年)	71.5% (平成 28 年度)																					
	実績	80.4% (令和 2 年度)																					
	目標数値等	70.0% (令和 4 年度)																					
	進捗状況	◎																					
	<p data-bbox="472 1328 794 1359">【施策の基本的な方向性】 ㉔</p> <p data-bbox="472 1364 675 1395">【施策の方向】 ウ</p> <div data-bbox="496 1408 1406 1491" style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> <ul data-bbox="512 1417 1390 1485" style="list-style-type: none"> <li>・「北海道バイオマス活用推進計画」に基づき、市町村などの取組を促進するとともに、利活用システムの構築や施設整備を支援します。</li> </ul> </div> <p data-bbox="472 1514 738 1545">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="496 1550 1406 1693" style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年度以降、80%前後で推移している。</li> <li>・ 既に目標値を達成しており、十分な利活用がなされていると考えられる。</li> <li>・ 現状の高い水準を維持するため、引き続き、道内のバイオマス資源の有効活用を促進するための取組を行う。</li> </ul> <div data-bbox="472 1715 1398 2022"> <table border="1" data-bbox="472 1715 1398 2022"> <caption>未利用バイオマス利活用率推移状況</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利活用率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24 (基準)</td><td>60.4</td></tr> <tr><td>H25</td><td>63.2</td></tr> <tr><td>H26</td><td>62.0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>60.1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>71.5</td></tr> <tr><td>H29</td><td>80.1</td></tr> <tr><td>H30</td><td>81.4</td></tr> <tr><td>R1</td><td>77.9</td></tr> <tr><td>R2</td><td>80.4</td></tr> <tr><td>R4 (目標)</td><td>70.0</td></tr> </tbody> </table> </div>		年度	利活用率 (%)	H24 (基準)	60.4	H25	63.2	H26	62.0	H27	60.1	H28	71.5	H29	80.1	H30	81.4	R1	77.9	R2	80.4	R4 (目標)
年度	利活用率 (%)																						
H24 (基準)	60.4																						
H25	63.2																						
H26	62.0																						
H27	60.1																						
H28	71.5																						
H29	80.1																						
H30	81.4																						
R1	77.9																						
R2	80.4																						
R4 (目標)	70.0																						

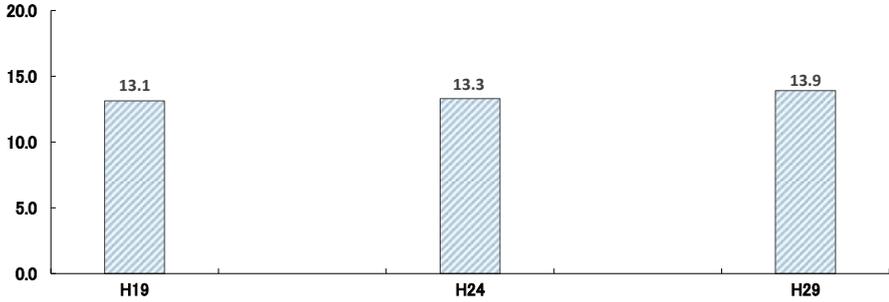
指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																																																				
<b>個別指標</b>  <b>一般廃棄物の排出量</b> (一人1日当たり)  【2-個-①】  <b>【指標群設定の考え方】</b> ・ 廃棄物の適正処理推進状況の把握  <b>【関連計画】</b> ・ 北海道循環型社会形成推進基本計画 (環境生活部)	計画策定時の現状(基準年)	961g/人・日(平成29年度)																																																																																																			
	実績	937g/人・日(令和4年度)																																																																																																			
	目標数値等	900g/人・日(令和6年度)																																																																																																			
	進捗状況	○ ※減少させることを目標																																																																																																			
	<b>【施策の基本的な方向性】 b</b> <b>【施策の方向】 イ</b>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物の処理を担う市町村等に対し、一般廃棄物の処理に関する市町村の責務が十分果たされるよう有効な情報提供や技術的支援当を行い、適正処理の徹底や施設整備を促進します。また、大規模災害の発生に備え、災害廃棄物の対策を推進します。</li> </ul> </div> <b>【指標群の進捗状況等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>目標達成に向け徐々に減少している。事業系一般廃棄物の減少に対し手、家庭系一般廃棄物の減少幅が大きい状況となっており、家庭における廃棄物削減の取組による効果が考えられる。</li> <li>目標の達成に向けて、生ごみの堆肥化やメタン化などへの利用を促進するなど一般廃棄物の排出削減の取組を一層進める。</li> </ul>  <table border="1" data-bbox="475 902 1401 1227"> <caption>(g/人・日)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>排出量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>1,006</td></tr> <tr><td>H24</td><td>1,004</td></tr> <tr><td>H25</td><td>1,013</td></tr> <tr><td>H26</td><td>990</td></tr> <tr><td>H27</td><td>986</td></tr> <tr><td>H28</td><td>970</td></tr> <tr><td>H29</td><td>961</td></tr> <tr><td>H30</td><td>969</td></tr> <tr><td>R1</td><td>960</td></tr> <tr><td>R2</td><td>949</td></tr> <tr><td>R3</td><td>941</td></tr> <tr><td>R4</td><td>937</td></tr> <tr><td>R5</td><td>912</td></tr> <tr><td>R6(目標)</td><td>900</td></tr> </tbody> </table> <b>【地域別の状況】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての圏域において減少しており、十勝圏域では目標を達成している。排出量の多い道南及び釧路・根室圏域においては事業系ごみの排出量が全道平均より100g以上多くなっている。</li> <li>直接の要因・原因は把握できていないが、産業構造による影響が予想される。</li> <li>目標の達成(数値の向上)に向け、引き続き、要因・原因の把握に努めるとともに、一般廃棄物の排出削減に係る情報発信を行っていく。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="475 1579 1401 1816"> <caption>(単位: g/人・日)</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道央広域(70)</td> <td>967.6</td> <td>948.9</td> <td>935.8</td> <td>942.4</td> <td>928.2</td> <td>912.0</td> <td>906.1</td> <td>903.5</td> <td>874.6</td> </tr> <tr> <td>道南(18)</td> <td>1,064.1</td> <td>1,064.5</td> <td>1,055.3</td> <td>1,083.4</td> <td>1,102.9</td> <td>1,082.0</td> <td>1,059.4</td> <td>1,058.6</td> <td>1,040.0</td> </tr> <tr> <td>道北(41)</td> <td>983.6</td> <td>978.9</td> <td>992.2</td> <td>1,000.5</td> <td>990.0</td> <td>977.6</td> <td>974.2</td> <td>974.8</td> <td>954.8</td> </tr> <tr> <td>オホーツク(18)</td> <td>1,017.3</td> <td>995.1</td> <td>976.7</td> <td>975.9</td> <td>990.5</td> <td>1,013.4</td> <td>998.1</td> <td>986.2</td> <td>968.5</td> </tr> <tr> <td>十勝(19)</td> <td>878.8</td> <td>879.4</td> <td>881.0</td> <td>889.9</td> <td>880.6</td> <td>894.6</td> <td>875.2</td> <td>867.6</td> <td>858.7</td> </tr> <tr> <td>釧路・根室(13)</td> <td>1,121.3</td> <td>1,126.9</td> <td>1,116.7</td> <td>1,123.9</td> <td>1,113.5</td> <td>1,117.4</td> <td>1,127.1</td> <td>1,113.8</td> <td>1,094.5</td> </tr> </tbody> </table>		年度	排出量	H23	1,006	H24	1,004	H25	1,013	H26	990	H27	986	H28	970	H29	961	H30	969	R1	960	R2	949	R3	941	R4	937	R5	912	R6(目標)	900		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	道央広域(70)	967.6	948.9	935.8	942.4	928.2	912.0	906.1	903.5	874.6	道南(18)	1,064.1	1,064.5	1,055.3	1,083.4	1,102.9	1,082.0	1,059.4	1,058.6	1,040.0	道北(41)	983.6	978.9	992.2	1,000.5	990.0	977.6	974.2	974.8	954.8	オホーツク(18)	1,017.3	995.1	976.7	975.9	990.5	1,013.4	998.1	986.2	968.5	十勝(19)	878.8	879.4	881.0	889.9	880.6	894.6	875.2	867.6	858.7	釧路・根室(13)	1,121.3	1,126.9	1,116.7	1,123.9	1,113.5	1,117.4	1,127.1	1,113.8
年度	排出量																																																																																																				
H23	1,006																																																																																																				
H24	1,004																																																																																																				
H25	1,013																																																																																																				
H26	990																																																																																																				
H27	986																																																																																																				
H28	970																																																																																																				
H29	961																																																																																																				
H30	969																																																																																																				
R1	960																																																																																																				
R2	949																																																																																																				
R3	941																																																																																																				
R4	937																																																																																																				
R5	912																																																																																																				
R6(目標)	900																																																																																																				
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																												
道央広域(70)	967.6	948.9	935.8	942.4	928.2	912.0	906.1	903.5	874.6																																																																																												
道南(18)	1,064.1	1,064.5	1,055.3	1,083.4	1,102.9	1,082.0	1,059.4	1,058.6	1,040.0																																																																																												
道北(41)	983.6	978.9	992.2	1,000.5	990.0	977.6	974.2	974.8	954.8																																																																																												
オホーツク(18)	1,017.3	995.1	976.7	975.9	990.5	1,013.4	998.1	986.2	968.5																																																																																												
十勝(19)	878.8	879.4	881.0	889.9	880.6	894.6	875.2	867.6	858.7																																																																																												
釧路・根室(13)	1,121.3	1,126.9	1,116.7	1,123.9	1,113.5	1,117.4	1,127.1	1,113.8	1,094.5																																																																																												

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																																																			
<b>集計中</b> <b>個別指標</b> <b>産業廃棄物の排出量</b> 【2-個-②】	計画策定時の現状(基準年)	3,874 万 t (平成 29 年度)																																																																																																		
	実績	4,045 万 t (令和 3 年度)																																																																																																		
	目標数値等	3,750 万 t (令和 6 年度)																																																																																																		
	進捗状況	※減少させることを目標																																																																																																		
	<b>【施策の基本的な方向性】 b</b> <b>【施策の方向】 イ</b>																																																																																																			
<b>【指標群設定の考え方】</b> ・バイオマスの利活用推進状況の把握  <b>【関連計画】</b> ・北海道循環型社会形成推進基本計画(環境生活部)																																																																																																				
<b>【指標群の進捗状況等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物の処理を担う市町村等に対し、一般廃棄物の処理に関する市町村の責務が十分果たされるよう有効な情報提供や技術的支援当を行い、適正処理の徹底や施設整備を促進します。また、大規模災害の発生に備え、災害廃棄物の対策を推進します。</li> </ul>																																																																																																				
<b>【指標群の進捗状況等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>目標達成に向け徐々に減少している。事業系一般廃棄物の減少に対し手、家庭系一般廃棄物の減少幅が大きい状況となっており、家庭における廃棄物削減の取組による効果が考えられる。</li> <li>目標の達成に向けて、生ごみの堆肥化やメタン化などへの利用を促進するなど一般廃棄物の排出削減の取組を一層進める。</li> </ul>																																																																																																				
<table border="1"> <caption>産業廃棄物の排出量 (万t)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>排出量 (万t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>3,733</td></tr> <tr><td>H28</td><td>3,730</td></tr> <tr><td>H29 (基準)</td><td>3,874</td></tr> <tr><td>H30</td><td>3,917</td></tr> <tr><td>R1</td><td>4,665</td></tr> <tr><td>R2</td><td>3,993</td></tr> <tr><td>R3</td><td>4,045</td></tr> <tr><td>R11 (目標)</td><td>3,810</td></tr> </tbody> </table>		年度	排出量 (万t)	H27	3,733	H28	3,730	H29 (基準)	3,874	H30	3,917	R1	4,665	R2	3,993	R3	4,045	R11 (目標)	3,810																																																																																	
年度	排出量 (万t)																																																																																																			
H27	3,733																																																																																																			
H28	3,730																																																																																																			
H29 (基準)	3,874																																																																																																			
H30	3,917																																																																																																			
R1	4,665																																																																																																			
R2	3,993																																																																																																			
R3	4,045																																																																																																			
R11 (目標)	3,810																																																																																																			
<b>【地域別の状況】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域別に占める割合は、道央広域で〇〇%、次いで釧路・根室が〇〇%となっている。(未了)</li> </ul>																																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="10">(万t)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道央広域 (70)</td> <td>1,542</td> <td>1,546</td> <td>1,536</td> <td>1,393</td> <td>1,582</td> <td>1,482</td> <td>1,832</td> <td>1,453</td> <td>1,473</td> <td></td> </tr> <tr> <td>道南 (18)</td> <td>183</td> <td>183</td> <td>178</td> <td>182</td> <td>180</td> <td>191</td> <td>195</td> <td>202</td> <td>181</td> <td></td> </tr> <tr> <td>道北 (41)</td> <td>419</td> <td>417</td> <td>403</td> <td>430</td> <td>374</td> <td>418</td> <td>769</td> <td>422</td> <td>437</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オホーツク (18)</td> <td>330</td> <td>325</td> <td>318</td> <td>338</td> <td>331</td> <td>331</td> <td>358</td> <td>362</td> <td>352</td> <td></td> </tr> <tr> <td>十勝 (19)</td> <td>653</td> <td>647</td> <td>663</td> <td>700</td> <td>620</td> <td>714</td> <td>772</td> <td>777</td> <td>785</td> <td></td> </tr> <tr> <td>釧路・根室 (13)</td> <td>631</td> <td>629</td> <td>636</td> <td>688</td> <td>788</td> <td>780</td> <td>739</td> <td>777</td> <td>816</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,758</td> <td>3,747</td> <td>3,734</td> <td>3,731</td> <td>3,875</td> <td>3,916</td> <td>4,665</td> <td>3,993</td> <td>4,044</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			(万t)											H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	道央広域 (70)	1,542	1,546	1,536	1,393	1,582	1,482	1,832	1,453	1,473		道南 (18)	183	183	178	182	180	191	195	202	181		道北 (41)	419	417	403	430	374	418	769	422	437		オホーツク (18)	330	325	318	338	331	331	358	362	352		十勝 (19)	653	647	663	700	620	714	772	777	785		釧路・根室 (13)	631	629	636	688	788	780	739	777	816		合計	3,758	3,747	3,734	3,731	3,875	3,916	4,665	3,993	4,044	0
	(万t)																																																																																																			
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																										
道央広域 (70)	1,542	1,546	1,536	1,393	1,582	1,482	1,832	1,453	1,473																																																																																											
道南 (18)	183	183	178	182	180	191	195	202	181																																																																																											
道北 (41)	419	417	403	430	374	418	769	422	437																																																																																											
オホーツク (18)	330	325	318	338	331	331	358	362	352																																																																																											
十勝 (19)	653	647	663	700	620	714	772	777	785																																																																																											
釧路・根室 (13)	631	629	636	688	788	780	739	777	816																																																																																											
合計	3,758	3,747	3,734	3,731	3,875	3,916	4,665	3,993	4,044	0																																																																																										

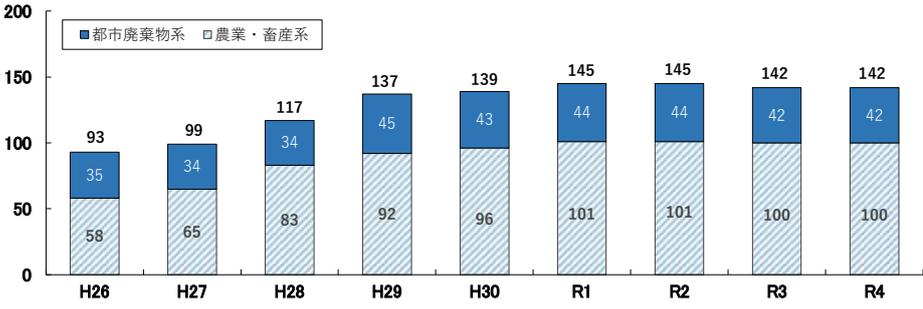
指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																						
<b>個別指標</b>  <b>一般廃棄物の リサイクル率</b>  【2-個-③】  <b>【指標群設定の考え方】</b> ・バイオマスの利活用 推進状況の把握  <b>【関連計画】</b> ・北海道循環型社会形 成推進基本計画 (環境生活部)	計画策定時の現状(基準年)	24.3% (平成 29 年度)																																																																					
	実績	22.8% (令和 5 年度)																																																																					
	目標数値等	30.0% (令和 6 年度)																																																																					
	進捗状況	▲																																																																					
	<b>【施策の基本的な方向性】 a</b> <b>【施策の方向】 ア</b>																																																																						
	・3R を推進するため、環境に配慮するライフスタイル・ビジネススタイルの定着に向けた普及啓発や、廃棄物の排出抑制。リサイクルに係る基盤整備を進めるほか、各種リサイクル法に基づき、個別分野のリサイクルを推進します。																																																																						
	<b>【指標群の進捗状況等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準年に対し微減している。</li> <li>・ 直接の要因・原因は把握できていないが、リサイクルの困難な廃棄物の発生等があったことが懸念される。</li> <li>・ なお、全国のリサイクル率も同様に微減しており、全国的な傾向であることが考えられる。(R4: 19.6%→R5: 19.5%)</li> <li>・ 目標の達成(数値の向上)に向けて、引き続き、市町村が行うリサイクルに係る基盤整備の取組を支援する。</li> </ul>																																																																						
	<p>(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>24.3</th> <th>24.3</th> <th>24.3</th> <th>23.9</th> <th>23.2</th> <th>23.4</th> <th>23.5</th> <th>22.9</th> <th>22.8</th> <th>30.0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29 (基準)</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6 (目標)</td> </tr> </tbody> </table>		年度	24.3	24.3	24.3	23.9	23.2	23.4	23.5	22.9	22.8	30.0	年度	H27	H28	H29 (基準)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6 (目標)																																															
	年度	24.3	24.3	24.3	23.9	23.2	23.4	23.5	22.9	22.8	30.0																																																												
	年度	H27	H28	H29 (基準)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6 (目標)																																																												
<b>【地域別の状況】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オホーツク圏域及び釧路・根室圏域以外の圏域では、減少した。</li> <li>・ 道南圏域においては、他圏域に比べ低い水準となっている。</li> <li>・ 直接の要因・原因は把握できていないが、集団資源回収の減少やリサイクル困難な廃棄物の発生等があったことが懸念される。</li> <li>・ 目標の達成(数値の向上)に向けて、引き続き、市町村が行うリサイクルに係る基盤整備の取組を支援する。</li> </ul>																																																																							
<p style="text-align: right;">(単位: %)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道央広域(70)</td> <td>25.8</td> <td>25.9</td> <td>25.9</td> <td>25.4</td> <td>24.8</td> <td>25.4</td> <td>25.2</td> <td>25.2</td> <td>24.1</td> </tr> <tr> <td>道南(18)</td> <td>17.6</td> <td>18.2</td> <td>18.3</td> <td>18.4</td> <td>15.9</td> <td>15.6</td> <td>15.8</td> <td>15.8</td> <td>15.4</td> </tr> <tr> <td>道北(41)</td> <td>22.6</td> <td>22.7</td> <td>22.3</td> <td>22.4</td> <td>22.2</td> <td>21.7</td> <td>22.3</td> <td>22.3</td> <td>21.9</td> </tr> <tr> <td>オホーツク(18)</td> <td>21.3</td> <td>21.4</td> <td>22.0</td> <td>21.7</td> <td>21.4</td> <td>21.0</td> <td>20.9</td> <td>20.9</td> <td>22.6</td> </tr> <tr> <td>十勝(19)</td> <td>27.2</td> <td>27.0</td> <td>26.2</td> <td>25.6</td> <td>24.9</td> <td>24.8</td> <td>25.0</td> <td>25.0</td> <td>23.9</td> </tr> <tr> <td>釧路・根室(13)</td> <td>21.9</td> <td>21.1</td> <td>20.9</td> <td>20.6</td> <td>20.4</td> <td>20.2</td> <td>21.1</td> <td>21.1</td> <td>21.4</td> </tr> </tbody> </table>			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	道央広域(70)	25.8	25.9	25.9	25.4	24.8	25.4	25.2	25.2	24.1	道南(18)	17.6	18.2	18.3	18.4	15.9	15.6	15.8	15.8	15.4	道北(41)	22.6	22.7	22.3	22.4	22.2	21.7	22.3	22.3	21.9	オホーツク(18)	21.3	21.4	22.0	21.7	21.4	21.0	20.9	20.9	22.6	十勝(19)	27.2	27.0	26.2	25.6	24.9	24.8	25.0	25.0	23.9	釧路・根室(13)	21.9	21.1	20.9	20.6	20.4	20.2	21.1	21.1	21.4
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5																																																														
道央広域(70)	25.8	25.9	25.9	25.4	24.8	25.4	25.2	25.2	24.1																																																														
道南(18)	17.6	18.2	18.3	18.4	15.9	15.6	15.8	15.8	15.4																																																														
道北(41)	22.6	22.7	22.3	22.4	22.2	21.7	22.3	22.3	21.9																																																														
オホーツク(18)	21.3	21.4	22.0	21.7	21.4	21.0	20.9	20.9	22.6																																																														
十勝(19)	27.2	27.0	26.2	25.6	24.9	24.8	25.0	25.0	23.9																																																														
釧路・根室(13)	21.9	21.1	20.9	20.6	20.4	20.2	21.1	21.1	21.4																																																														

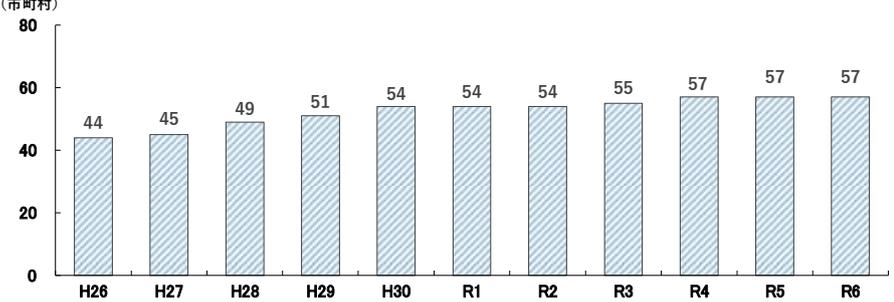
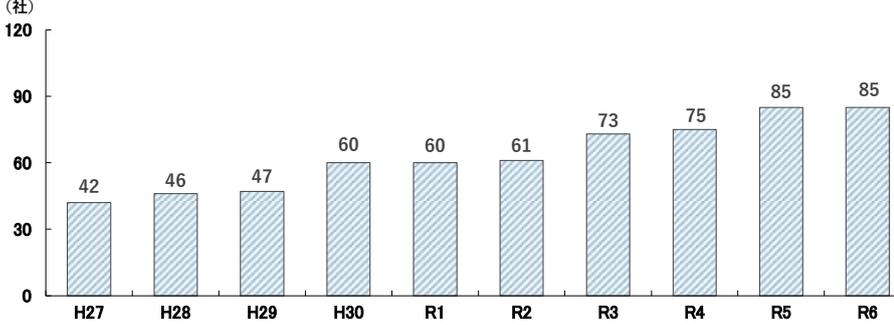
集計中

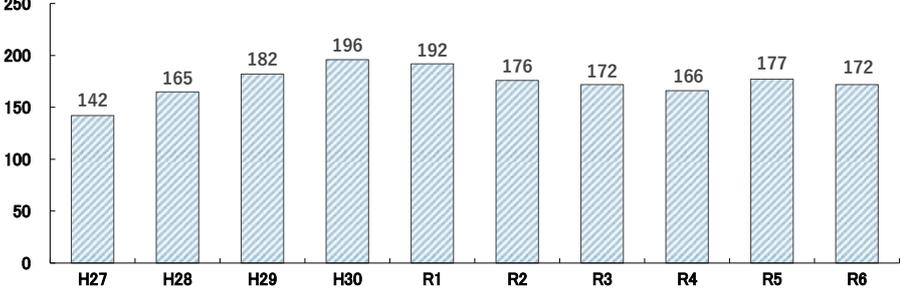
指標群名称 【指標群No.】	内 容									
<b>個別指標</b>  <b>産業廃棄物の再生利用率</b>  【2-個-④】	計画策定時の現状(基準年)	55.5% (平成 29 年度)								
	実績	〇〇.〇% (令和 4 年度)								
	目標数値等	57.0% (令和 6 年度)								
	進捗状況	◎								
	<b>【施策の基本的な方向性】 a</b> <b>【施策の方向】 ア</b>									
<b>【指標群設定の考え方】</b> ・ 循環資源の循環的利用推進状況の把握  <b>【関連計画】</b> ・ 北海道循環型社会形成推進基本計画 (環境生活部)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ・ 3R を推進するため、環境に配慮するライフスタイル・ビジネススタイルの定着に向けた普及啓発や、廃棄物の排出抑制・リサイクルに係る基盤整備を進めるほか、各種リサイクル法に基づき、個別分野のリサイクルを推進します。         </div>									
<b>【指標群の進捗状況等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多少増減はあるものの、ゆるやかな増加傾向にあり、直近のデータでは目標を達成している。</li> <li>・ 直接の原因・要因は把握していないが、リサイクル関連産業の育成などを通じて産業廃棄物の再生利用が進んだと思われる。</li> <li>・ 引き続き、循環資源利用促進税を活用するなどして再生利用率上昇に向けた取組を進める。</li> </ul>										
<b>【地域別の状況】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和 4 年度の地域別に占める割合は、十勝で〇〇%、オホーツクで〇〇%となっている一方、道央広域で〇〇%と低い状況となっている。</li> <li>・ 直接の要因・原因は分析できていない。リサイクル関連産業の育成などを通じて、産業廃棄物の再生利用が進んだと思われる。</li> <li>・ 引き続き、循環資源利用促進税を活用するなどして再生利用率向上に向けた取組を進める。</li> </ul>										
(単位: %)										
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
道央広域 (70)	40.7	39.3	40.9	43.8	44.7	44.0	28.8	50.6	49.7	
道南 (18)	58.6	57.3	58.3	57.6	59.2	59.7	61.5	65.1	67.4	
道北 (41)	61.3	60.6	61.2	57.1	64.2	68.8	78.1	66.6	68.7	
オホーツク (18)	66.8	66.8	67.2	68.0	67.4	67.7	67.4	69.3	70.1	
十勝 (19)	69.5	69.5	69.9	70.0	69.6	70.5	70.6	71.5	71.1	
釧路・根室 (13)	68.0	67.6	68.1	62.0	56.1	56.5	63.8	64.6	63.6	

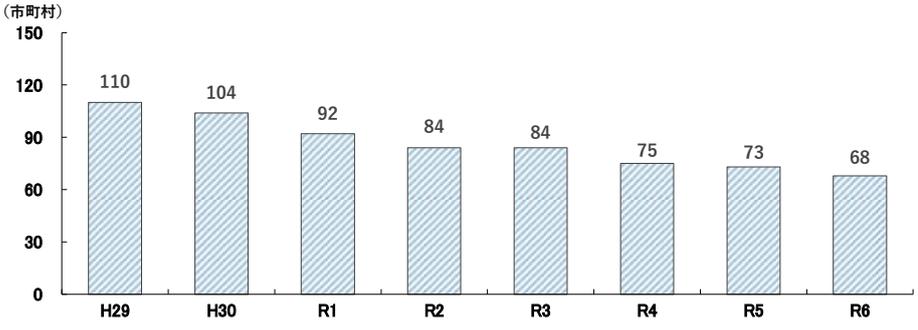
指標群名称 【指標群No.】	内 容								
<p data-bbox="245 286 386 320"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="245 356 386 389"><b>資源生産性</b></p> <p data-bbox="245 423 386 456">【2-補-①】</p> <div data-bbox="188 501 450 763" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="196 510 421 539">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="196 539 437 595" style="list-style-type: none"> <li>・循環資源の循環的利用推進状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="196 629 320 658">【関連計画】</p> <ul data-bbox="196 658 437 741" style="list-style-type: none"> <li>・北海道循環型社会形成推進基本計画（環境生活部）</li> </ul> </div>	<p data-bbox="472 248 794 282">【施策の基本的な方向性】 a</p> <p data-bbox="472 286 675 320">【施策の方向】 ア</p> <div data-bbox="491 331 1401 488" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul data-bbox="507 344 1385 472" style="list-style-type: none"> <li>・3Rを推進するため、環境に配慮するライフスタイル・ビジネススタイルの定着に向けた普及啓発や、廃棄物の排出抑制・リサイクルに係る基盤整備を進めるほか、各種リサイクル法に基づき、個別分野のリサイクルを推進します。</li> </ul> </div> <p data-bbox="472 521 738 555">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="496 557 1390 663" style="list-style-type: none"> <li>・平成19年度から横ばいの状況が続いている。</li> <li>・経済活動の大きな変動がなく、各数値について変動が少ないと思われる。</li> <li>・北海道循環型社会形成推進基本計画の改定に併せて算定。</li> </ul> <div data-bbox="483 685 1385 1014"> <p data-bbox="483 685 544 707">(万円/t)</p>  <table border="1" data-bbox="496 712 1385 1014"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>資源生産性 (万円/t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>13.1</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>13.3</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>13.9</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="483 1037 1401 1249" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p data-bbox="504 1050 628 1079">資源生産性</p> <ul data-bbox="515 1081 1358 1207" style="list-style-type: none"> <li>・産業や人々の生活がいかに物を有効に利用しているかを示すもの。天然資源等はその有限性や採取に伴う環境負荷が生じること、また、それらが最終的には廃棄物となることから、より少ない投入量で効率的に道内総生産を生み出すことが望まれる。</li> </ul> <p data-bbox="541 1209 986 1238">【計算式】：道内総生産÷天然資源投入量</p> </div>	年度	資源生産性 (万円/t)	H19	13.1	H24	13.3	H29	13.9
年度	資源生産性 (万円/t)								
H19	13.1								
H24	13.3								
H29	13.9								

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																																												
<p data-bbox="245 286 387 320"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="194 360 438 461">廃棄物系バイオマスの種別ごとの発生量及び利活用量</p> <p data-bbox="248 499 384 526">【2-補-②】</p> <div data-bbox="185 562 451 824" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="194 573 421 600">【指標群設定の考え方】</p> <p data-bbox="194 602 435 658">・バイオマスの利活用推進状況の把握</p> <p data-bbox="194 689 319 716">【関連計画】</p> <p data-bbox="194 719 352 745">・ — (経済部)</p> </div>	<p data-bbox="472 250 794 277">【施策の基本的な方向性】 c</p> <p data-bbox="472 291 675 318">【施策の方向】 ウ</p> <div data-bbox="491 336 1401 439" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p data-bbox="504 353 1382 416">・ 「北海道バイオマス活用推進計画」に基づき、市町村などの取組を促進するとともに、利活用システムの構築や施設整備を支援します。</p> </div> <p data-bbox="472 463 738 490">【指標群の進捗状況等】</p> <p data-bbox="496 501 1219 528">・ 指標（2-指-③）「廃棄物系バイオマス利活用率」の内訳</p> <p data-bbox="1262 553 1398 580" style="text-align: right;">(単位：トン)</p> <table border="1" data-bbox="496 586 1401 1435"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>発生量</th> <th>利活用仕向量</th> <th>利活用率</th> <th>(参考) R1利活用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">一般廃棄物</td> <td>紙類(一般廃棄物)</td> <td>425,256</td> <td>223,839</td> <td>52.6%</td> <td>53.1%</td> </tr> <tr> <td>  ・ 集団回収・業者回収</td> <td>223,839</td> <td>223,839</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>  ・ 資源ごみ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  ・ 可燃・不燃・混合</td> <td>201,417</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>生活系・事業系生ごみ</td> <td>21,446</td> <td>2,208</td> <td>10.3%</td> <td>10.2%</td> </tr> <tr> <td>し尿等</td> <td>7,388</td> <td>1,164</td> <td>15.8%</td> <td>19.6%</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>454,090</td> <td>227,211</td> <td>50.0%</td> <td>50.4%</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">産業廃棄物</td> <td>有機性汚泥</td> <td>116,720</td> <td>113,908</td> <td>97.6%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>下水汚泥</td> <td>43,642</td> <td>39,782</td> <td>91.2%</td> <td>87.6%</td> </tr> <tr> <td>紙くず</td> <td>2,828</td> <td>1,608</td> <td>56.9%</td> <td>56.9%</td> </tr> <tr> <td>木くず</td> <td>285,698</td> <td>279,080</td> <td>97.7%</td> <td>93.0%</td> </tr> <tr> <td>動植物生残渣(食料品)</td> <td>39,236</td> <td>39,236</td> <td>100.0%</td> <td>94.5%</td> </tr> <tr> <td>家畜ふん尿</td> <td>1,288,696</td> <td>1,288,696</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>1,776,820</td> <td>1,762,310</td> <td>99.2%</td> <td>95.6%</td> </tr> <tr> <td>黒液</td> <td></td> <td>466,133</td> <td>466,133</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>廃棄物系バイオマス 計</td> <td></td> <td>2,697,043</td> <td>2,455,654</td> <td>91.1%</td> <td>91.2%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	種類	発生量	利活用仕向量	利活用率	(参考) R1利活用率	一般廃棄物	紙類(一般廃棄物)	425,256	223,839	52.6%	53.1%	・ 集団回収・業者回収	223,839	223,839	100.0%	100.0%	・ 資源ごみ					・ 可燃・不燃・混合	201,417	0	0.0%	0.0%	生活系・事業系生ごみ	21,446	2,208	10.3%	10.2%	し尿等	7,388	1,164	15.8%	19.6%	小計		454,090	227,211	50.0%	50.4%	産業廃棄物	有機性汚泥	116,720	113,908	97.6%	100.0%	下水汚泥	43,642	39,782	91.2%	87.6%	紙くず	2,828	1,608	56.9%	56.9%	木くず	285,698	279,080	97.7%	93.0%	動植物生残渣(食料品)	39,236	39,236	100.0%	94.5%	家畜ふん尿	1,288,696	1,288,696	100.0%	100.0%	小計		1,776,820	1,762,310	99.2%	95.6%	黒液		466,133	466,133	100.0%	100.0%	廃棄物系バイオマス 計		2,697,043	2,455,654	91.1%	91.2%
区分	種類	発生量	利活用仕向量	利活用率	(参考) R1利活用率																																																																																								
一般廃棄物	紙類(一般廃棄物)	425,256	223,839	52.6%	53.1%																																																																																								
	・ 集団回収・業者回収	223,839	223,839	100.0%	100.0%																																																																																								
	・ 資源ごみ																																																																																												
	・ 可燃・不燃・混合	201,417	0	0.0%	0.0%																																																																																								
	生活系・事業系生ごみ	21,446	2,208	10.3%	10.2%																																																																																								
	し尿等	7,388	1,164	15.8%	19.6%																																																																																								
小計		454,090	227,211	50.0%	50.4%																																																																																								
産業廃棄物	有機性汚泥	116,720	113,908	97.6%	100.0%																																																																																								
	下水汚泥	43,642	39,782	91.2%	87.6%																																																																																								
	紙くず	2,828	1,608	56.9%	56.9%																																																																																								
	木くず	285,698	279,080	97.7%	93.0%																																																																																								
	動植物生残渣(食料品)	39,236	39,236	100.0%	94.5%																																																																																								
	家畜ふん尿	1,288,696	1,288,696	100.0%	100.0%																																																																																								
小計		1,776,820	1,762,310	99.2%	95.6%																																																																																								
黒液		466,133	466,133	100.0%	100.0%																																																																																								
廃棄物系バイオマス 計		2,697,043	2,455,654	91.1%	91.2%																																																																																								

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																								
<p data-bbox="245 286 389 322"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="194 358 440 465">未利用バイオマスの種別ごとの発生量及び利活用量</p> <p data-bbox="248 497 386 533">【2-補-③】</p> <div data-bbox="185 568 453 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="194 582 440 618">【指標群設定の考え方】</p> <p data-bbox="194 618 440 672">・バイオマスの利活用推進状況の把握</p> <p data-bbox="194 698 319 734">【関連計画】</p> <p data-bbox="194 734 351 770">・—（経済部）</p> </div>	<p data-bbox="469 250 798 286">【施策の基本的な方向性】 c</p> <p data-bbox="469 291 676 327">【施策の方向】 ウ</p> <div data-bbox="488 336 1401 439" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="504 353 1385 421">・「北海道バイオマス活用推進計画」に基づき、市町村などの取組を促進するとともに、利活用システムの構築や施設整備を支援します。</p> </div> <p data-bbox="469 465 740 501">【指標群の進捗状況等】</p> <p data-bbox="494 501 1193 537">・ 指標（2-指-④）「未利用バイオマス利活用率」の内訳</p> <p data-bbox="1264 600 1401 636" style="text-align: right;">（単位：トン）</p> <table border="1" data-bbox="491 631 1404 963"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>発生量</th> <th>利活用仕向量</th> <th>利活用率</th> <th>（参考）R1利活用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">未 利 用</td> <td>農作物非食部</td> <td>441,576</td> <td>390,642</td> <td>88.5%</td> <td>90.3%</td> </tr> <tr> <td>  稲わら</td> <td>167,337</td> <td>151,070</td> <td>90.3%</td> <td>89.6%</td> </tr> <tr> <td>  もみ殻</td> <td>43,109</td> <td>27,513</td> <td>63.8%</td> <td>65.9%</td> </tr> <tr> <td>  麦かん</td> <td>231,130</td> <td>212,059</td> <td>91.7%</td> <td>95.2%</td> </tr> <tr> <td>  林地残材</td> <td>317,544</td> <td>219,798</td> <td>69.2%</td> <td>60.8%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">未利用バイオマス 計</td> <td>759,120</td> <td>610,440</td> <td>80.4%</td> <td>77.9%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	種類	発生量	利活用仕向量	利活用率	（参考）R1利活用率	未 利 用	農作物非食部	441,576	390,642	88.5%	90.3%	稲わら	167,337	151,070	90.3%	89.6%	もみ殻	43,109	27,513	63.8%	65.9%	麦かん	231,130	212,059	91.7%	95.2%	林地残材	317,544	219,798	69.2%	60.8%	未利用バイオマス 計		759,120	610,440	80.4%	77.9%		
区分	種類	発生量	利活用仕向量	利活用率	（参考）R1利活用率																																				
未 利 用	農作物非食部	441,576	390,642	88.5%	90.3%																																				
	稲わら	167,337	151,070	90.3%	89.6%																																				
	もみ殻	43,109	27,513	63.8%	65.9%																																				
	麦かん	231,130	212,059	91.7%	95.2%																																				
	林地残材	317,544	219,798	69.2%	60.8%																																				
未利用バイオマス 計		759,120	610,440	80.4%	77.9%																																				
<p data-bbox="245 1079 389 1115"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="204 1151 430 1218">バイオガスプラント施設数</p> <p data-bbox="248 1249 386 1285">【2-補-④】</p> <div data-bbox="185 1330 453 1599" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="194 1344 440 1379">【指標群設定の考え方】</p> <p data-bbox="194 1379 440 1433">・バイオマスの利活用推進状況の把握</p> <p data-bbox="194 1460 319 1496">【関連計画】</p> <p data-bbox="194 1496 440 1576">・北海道バイオマス活用推進計画（経済部）</p> </div>	<p data-bbox="469 1021 798 1057">【施策の基本的な方向性】 c</p> <p data-bbox="469 1061 676 1097">【施策の方向】 ウ</p> <div data-bbox="488 1106 1401 1209" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="504 1124 1385 1191">・「北海道バイオマス活用推進計画」に基づき、市町村などの取組を促進するとともに、利活用システムの構築や施設整備を支援します。</p> </div> <p data-bbox="469 1236 740 1272">【指標群の進捗状況等】</p> <p data-bbox="494 1272 1404 1339">・ 近年は、建設用資材コストの高騰等により現状維持から微減の状態が続いている。</p> <p data-bbox="475 1366 510 1402">（基）</p>  <table border="1" data-bbox="478 1388 1401 1697"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>都市廃棄物系</th> <th>農業・畜産系</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>35</td><td>58</td><td>93</td></tr> <tr><td>H27</td><td>34</td><td>65</td><td>99</td></tr> <tr><td>H28</td><td>34</td><td>83</td><td>117</td></tr> <tr><td>H29</td><td>45</td><td>92</td><td>137</td></tr> <tr><td>H30</td><td>43</td><td>96</td><td>139</td></tr> <tr><td>R1</td><td>44</td><td>101</td><td>145</td></tr> <tr><td>R2</td><td>44</td><td>101</td><td>145</td></tr> <tr><td>R3</td><td>42</td><td>100</td><td>142</td></tr> <tr><td>R4</td><td>42</td><td>100</td><td>142</td></tr> </tbody> </table>	年度	都市廃棄物系	農業・畜産系	合計	H26	35	58	93	H27	34	65	99	H28	34	83	117	H29	45	92	137	H30	43	96	139	R1	44	101	145	R2	44	101	145	R3	42	100	142	R4	42	100	142
年度	都市廃棄物系	農業・畜産系	合計																																						
H26	35	58	93																																						
H27	34	65	99																																						
H28	34	83	117																																						
H29	45	92	137																																						
H30	43	96	139																																						
R1	44	101	145																																						
R2	44	101	145																																						
R3	42	100	142																																						
R4	42	100	142																																						

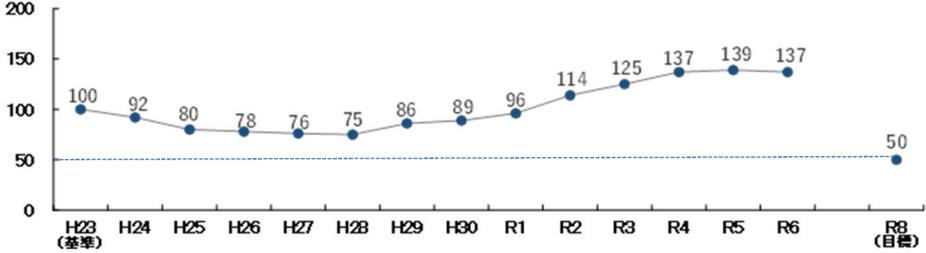
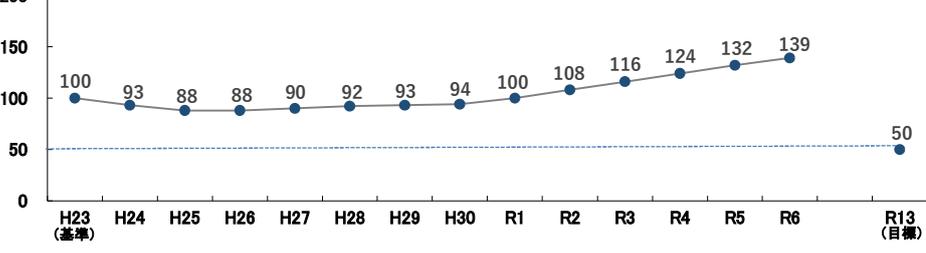
指標群名称 【指標群No.】	内 容														
<p style="text-align: center;"><b>補足データ</b></p> <p style="text-align: center;"><b>バイオマス活用推進 計画等策定市町村数</b></p> <p style="text-align: center;">【2-補-⑤】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオマスの利活用推進状況の把握</li> </ul> <p><b>【関連計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道バイオマス活用推進計画（経済部）</li> </ul> </div>	<p><b>【施策の基本的な方向性】 c</b></p> <p><b>【施策の方向】 ウ</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「北海道バイオマス活用推進計画」に基づき、市町村などの取組を促進するとともに、利活用システムの構築や施設整備を支援します。</li> </ul> </div> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオマス活用推進計画等の策定市町村はR4年度までは増加し、以降は現状の策定市町村を維持。</li> <li>・バイオマス利活用の取組の浸透により増加している。</li> </ul> <p>(市町村)</p>  <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>道央広域 (70)</th> <th>道南 (18)</th> <th>道北 (41)</th> <th>オホーツク (18)</th> <th>十勝 (19)</th> <th>釧路・根室 (13)</th> <th>合計 (179)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>19</td> <td>6</td> <td>57</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R6年度の数値。カッコ内は圏域の市町村数。</p> <p><b>【地域別の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・十勝圏域の全市町村が共同でバイオマス産業都市構想を策定したため、十勝の計画策定市町村数が多くなっている。</li> </ul>	道央広域 (70)	道南 (18)	道北 (41)	オホーツク (18)	十勝 (19)	釧路・根室 (13)	合計 (179)	10	5	8	9	19	6	57
道央広域 (70)	道南 (18)	道北 (41)	オホーツク (18)	十勝 (19)	釧路・根室 (13)	合計 (179)									
10	5	8	9	19	6	57									
<p style="text-align: center;"><b>補足データ</b></p> <p style="text-align: center;"><b>産業廃棄物処理業者 の優良認定事業者数</b></p> <p style="text-align: center;">【2-補-⑥】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の適正処理推進状況の把握</li> </ul> <p><b>【関連計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道循環型社会形成推進基本計画（環境生活部）</li> </ul> </div>	<p><b>【施策の基本的な方向性】 b</b></p> <p><b>【施策の方向】 イ</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物の排出事業者や処理業者に対し、監視・指導を行うとともに、優良処理業者を育成し、適正処理を推進します。また、関係機関等との適切な役割分担のもと、PCB 廃棄物などの有害廃棄物の適正処理を進めます。</li> </ul> </div> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・増加数は年度により変動はあるものの、年々増加している。これは、制度のPR等により増加したものと推察される。</li> <li>・引き続き、北海道循環型社会形成推進基本計画、北海道廃棄物処理計画に沿って優良認定業者の増加に向けた取組を進める。</li> </ul> <p>(社)</p> 														

指標群名称 【指標群No.】	内 容																						
<p data-bbox="245 286 387 320"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="188 358 445 392"><b>認定リサイクル製品数</b></p> <p data-bbox="250 425 383 454">【2-補-⑦】</p> <div data-bbox="183 499 451 763" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="194 510 419 539"><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <ul data-bbox="199 542 435 598" style="list-style-type: none"> <li>・循環型社会ビジネス市場拡大状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="194 629 316 658"><b>【関連計画】</b></p> <ul data-bbox="199 660 435 745" style="list-style-type: none"> <li>・北海道循環型社会形成推進基本計画（環境生活部）</li> </ul> </div>	<p data-bbox="470 250 794 280"><b>【施策の基本的な方向性】 d</b></p> <p data-bbox="470 288 675 318"><b>【施策の方向】 エ</b></p> <div data-bbox="491 336 1401 436" style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> <ul data-bbox="507 353 1385 418" style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル関連産業の創出・育成や再生品の利用拡大・生産拡大などにより、循環型社会ビジネスの振興を図ります。</li> </ul> </div> <p data-bbox="470 463 738 492"><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul data-bbox="497 501 1409 752" style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度までは増加傾向、令和元年度から令和4年度までは減少傾向、令和5年度に増加したが、令和6年度は減少した。</li> <li>・禁煙、新規認定数より失効数が多い傾向にあり、令和5年度の新規認定が14製品と好調だったものの、令和6年度の失効数が新規認定数を上回ったため（新規1、失効6）。</li> <li>・引き続き、ホームページや展示会等により北海道認定リサイクル製品や認定制度等の普及啓発を行う。</li> </ul> <div data-bbox="491 763 1393 1086"> <p data-bbox="491 763 523 786">(件)</p>  <table border="1" data-bbox="491 795 1393 1086"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>142</td></tr> <tr><td>H28</td><td>165</td></tr> <tr><td>H29</td><td>182</td></tr> <tr><td>H30</td><td>196</td></tr> <tr><td>R1</td><td>192</td></tr> <tr><td>R2</td><td>176</td></tr> <tr><td>R3</td><td>172</td></tr> <tr><td>R4</td><td>166</td></tr> <tr><td>R5</td><td>177</td></tr> <tr><td>R6</td><td>172</td></tr> </tbody> </table> </div>	年度	件数	H27	142	H28	165	H29	182	H30	196	R1	192	R2	176	R3	172	R4	166	R5	177	R6	172
年度	件数																						
H27	142																						
H28	165																						
H29	182																						
H30	196																						
R1	192																						
R2	176																						
R3	172																						
R4	166																						
R5	177																						
R6	172																						

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																																										
<p style="text-align: center;"><b>補足データ</b></p> <p style="text-align: center;"><b>グリーン購入の 全庁的实施市町村数</b></p> <p style="text-align: center;">【2-補-⑧】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【指標群設定の考え方】</b> ・循環型社会ビジネス市場拡大状況の把握</p> <p><b>【関連計画】</b> ・北海道循環型社会形成推進基本計画（環境生活部）</p> </div>	<p><b>【施策の基本的な方向性】 d</b> <b>【施策の方向】 エ</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・リサイクル関連産業の創出・育成や再生品の利用拡大・生産拡大などにより、循環型社会ビジネスの振興を図ります。</p> </div> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年減少傾向となっている。</li> <li>・北海道グリーン購入基本方針に基づき、市町村へグリーン購入の促進をおこなっていく。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>(市町村)</p>  <table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>市町村数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>110</td></tr> <tr><td>H30</td><td>104</td></tr> <tr><td>R1</td><td>92</td></tr> <tr><td>R2</td><td>84</td></tr> <tr><td>R3</td><td>84</td></tr> <tr><td>R4</td><td>75</td></tr> <tr><td>R5</td><td>73</td></tr> <tr><td>R6</td><td>68</td></tr> </tbody> </table> </div> <p><b>【地域別の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全圏域で減少傾向が続いており、令和6年度も前年度と比べ、微減または現状維持となっている。</li> <li>・令和7年度版環境物品調達方針を作成し、グリーン購入の推進を図る。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(単位：市町村数)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道央広域(70)</td> <td>43</td> <td>37</td> <td>34</td> <td>31</td> <td>32</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>道南(18)</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>道北(41)</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>19</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>オホーツク(18)</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>十勝(19)</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>釧路・根室(13)</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>合計(179)</td> <td>110</td> <td>104</td> <td>92</td> <td>84</td> <td>84</td> <td>75</td> <td>73</td> <td>69</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">※カッコ内は圏域の市町村数</p>	年度	市町村数	H29	110	H30	104	R1	92	R2	84	R3	84	R4	75	R5	73	R6	68		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	道央広域(70)	43	37	34	31	32	30	30	30	道南(18)	13	13	11	10	10	9	8	6	道北(41)	26	24	19	18	17	15	15	15	オホーツク(18)	8	7	6	5	5	4	4	3	十勝(19)	10	11	11	9	10	8	8	7	釧路・根室(13)	10	12	11	11	10	9	8	8	合計(179)	110	104	92	84	84	75	73	69
年度	市町村数																																																																																										
H29	110																																																																																										
H30	104																																																																																										
R1	92																																																																																										
R2	84																																																																																										
R3	84																																																																																										
R4	75																																																																																										
R5	73																																																																																										
R6	68																																																																																										
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																			
道央広域(70)	43	37	34	31	32	30	30	30																																																																																			
道南(18)	13	13	11	10	10	9	8	6																																																																																			
道北(41)	26	24	19	18	17	15	15	15																																																																																			
オホーツク(18)	8	7	6	5	5	4	4	3																																																																																			
十勝(19)	10	11	11	9	10	8	8	7																																																																																			
釧路・根室(13)	10	12	11	11	10	9	8	8																																																																																			
合計(179)	110	104	92	84	84	75	73	69																																																																																			

分野3 自然との共生を基本とした環境の保全と創造

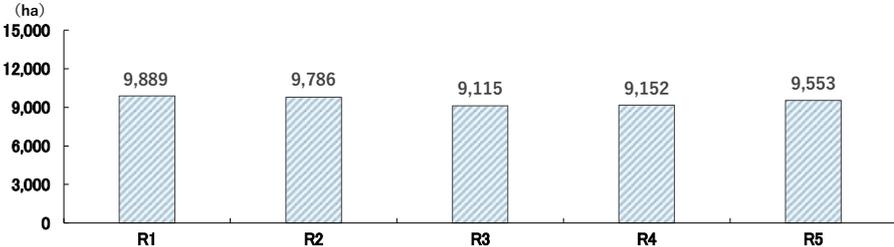
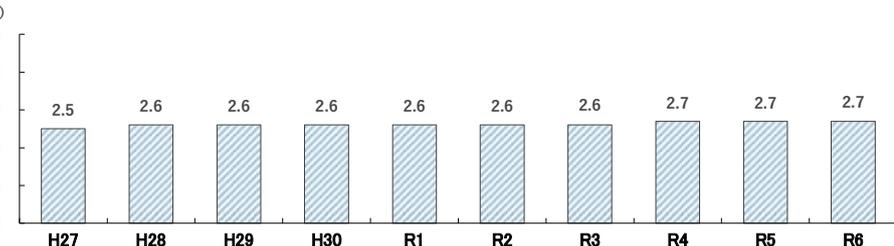
指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																																																	
<p><b>個別指標</b></p> <p><b>犬・ねこの安楽殺処分頭数</b></p> <p>【3-個-①】</p> <p><b>【指標群設定の考え方】</b> ・動物愛護精神の普及状況の把握</p> <p><b>【関連計画】</b> ・北海道動物愛護管理推進計画（環境生活部）</p>	計画策定時の現状（基準年）	1,158頭（平成28年度）																																																																																																
	実績	113頭（令和5年度）																																																																																																
	目標数値等	579頭（令和9年度）																																																																																																
	進捗状況	◎ ※減少させることを目標																																																																																																
	<p><b>【施策の基本的な方向性】 f</b></p> <p><b>【施策の方向】 ウ(ウ)</b></p> <p>・本道に適した動物愛護管理センターの体制を構築し、「動物愛護管理推進計画」に基づき、動物愛護に関する普及啓発、特定動物の飼養者による動物の適正管理、一般家庭における動物の適正飼養などの取組を推進します。</p> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重傷等の理由で安楽殺処分となるものや、保管中に死亡となる犬・ねこが一定数存在するものの、目標は大きく達成された。</li> <li>積極的な譲渡活動や動物愛護団体等の協力が主な要因と考えられる。</li> <li>現状の水準を維持するため、引き続き、動物愛護思想の普及啓発等に取り組む。</li> </ul>																																																																																																	
<p>(頭)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>頭数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>2,353</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,646</td></tr> <tr><td>H28 (基準)</td><td>1,158</td></tr> <tr><td>H29</td><td>708</td></tr> <tr><td>H30</td><td>443</td></tr> <tr><td>R1</td><td>304</td></tr> <tr><td>R2</td><td>217</td></tr> <tr><td>R3</td><td>157</td></tr> <tr><td>R4</td><td>119</td></tr> <tr><td>R5</td><td>113</td></tr> <tr><td>R9 (目標)</td><td>579</td></tr> </tbody> </table>			年度	頭数	H26	2,353	H27	1,646	H28 (基準)	1,158	H29	708	H30	443	R1	304	R2	217	R3	157	R4	119	R5	113	R9 (目標)	579																																																																								
年度	頭数																																																																																																	
H26	2,353																																																																																																	
H27	1,646																																																																																																	
H28 (基準)	1,158																																																																																																	
H29	708																																																																																																	
H30	443																																																																																																	
R1	304																																																																																																	
R2	217																																																																																																	
R3	157																																																																																																	
R4	119																																																																																																	
R5	113																																																																																																	
R9 (目標)	579																																																																																																	
<p><b>【地域別の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全圏域で基準年度（平成28年度）から大きく安楽殺処分頭数を減らすことに成功しており、近年は下げ止まりの状況が続いている。</li> <li>重傷等の理由で安楽殺処分となるものや、保管中に死亡となるものを含んでおり、これらに該当する犬・猫が一定数は必ず存在するため。</li> </ul>																																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道央広域(70)</td> <td>1,540</td> <td>1,268</td> <td>698</td> <td>260</td> <td>119</td> <td>68</td> <td>80</td> <td>43</td> <td>50</td> <td>39</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>道南(18)</td> <td>494</td> <td>340</td> <td>405</td> <td>335</td> <td>167</td> <td>133</td> <td>25</td> <td>37</td> <td>24</td> <td>23</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>道北(41)</td> <td>389</td> <td>297</td> <td>227</td> <td>236</td> <td>101</td> <td>64</td> <td>61</td> <td>44</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>オホーツク(18)</td> <td>126</td> <td>110</td> <td>46</td> <td>73</td> <td>132</td> <td>53</td> <td>28</td> <td>34</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>十勝(19)</td> <td>245</td> <td>221</td> <td>178</td> <td>186</td> <td>136</td> <td>85</td> <td>55</td> <td>32</td> <td>33</td> <td>13</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>釧路・根室(13)</td> <td>266</td> <td>117</td> <td>92</td> <td>68</td> <td>53</td> <td>40</td> <td>55</td> <td>27</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>合計(179)</td> <td>3,060</td> <td>2,353</td> <td>1,646</td> <td>1,158</td> <td>708</td> <td>443</td> <td>304</td> <td>217</td> <td>157</td> <td>119</td> <td>113</td> </tr> </tbody> </table>				H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	道央広域(70)	1,540	1,268	698	260	119	68	80	43	50	39	59	道南(18)	494	340	405	335	167	133	25	37	24	23	11	道北(41)	389	297	227	236	101	64	61	44	28	28	29	オホーツク(18)	126	110	46	73	132	53	28	34	13	10	2	十勝(19)	245	221	178	186	136	85	55	32	33	13	6	釧路・根室(13)	266	117	92	68	53	40	55	27	9	6	6	合計(179)	3,060	2,353	1,646	1,158	708	443	304	217	157	119	113
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																							
道央広域(70)	1,540	1,268	698	260	119	68	80	43	50	39	59																																																																																							
道南(18)	494	340	405	335	167	133	25	37	24	23	11																																																																																							
道北(41)	389	297	227	236	101	64	61	44	28	28	29																																																																																							
オホーツク(18)	126	110	46	73	132	53	28	34	13	10	2																																																																																							
十勝(19)	245	221	178	186	136	85	55	32	33	13	6																																																																																							
釧路・根室(13)	266	117	92	68	53	40	55	27	9	6	6																																																																																							
合計(179)	3,060	2,353	1,646	1,158	708	443	304	217	157	119	113																																																																																							
<p>※カッコ内は圏域の市町村数</p>																																																																																																		

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																	
<p data-bbox="256 255 376 293"><b>個別指標</b></p> <p data-bbox="196 327 437 394">エゾシカ個体数指数 (東部地域)</p> <p data-bbox="248 430 384 461">【3-個-②】</p> <div data-bbox="181 495 451 786" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="193 510 416 539">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="193 539 432 622" style="list-style-type: none"> <li>・エゾシカの適正花保護管理推進状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="193 656 312 685">【関連計画】</p> <ul data-bbox="193 685 432 768" style="list-style-type: none"> <li>・北海道エゾシカ管理計画 (環境生活部)</li> </ul> </div>	計画策定時の現状(基準年)	100(平成23年度)																																
	実績	137(令和6年度)																																
	目標数値等	50以下(令和8年度)																																
	進捗状況	▲ ※減少させることを目標																																
	【施策の基本的な方向性】h																																	
	【施策の方向】エ(ウ)																																	
<ul data-bbox="496 483 1385 577" style="list-style-type: none"> <li>・「北海道エゾシカ管理計画」に基づき、人とエゾシカとの適切な関係を築き、地域社会の健全な発展に寄与することを目的とし、個体数管理や有効活用などの総合的な対策に取り組みます。</li> </ul>																																		
【指標群の進捗状況等】																																		
<ul data-bbox="496 629 1409 869" style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度(2012年度)以降は減少に転じたが、平成29年度(2017年度)頃から再び増加に転じ、令和5年度(2023年度)以降横ばい傾向を示している。これは、個体数の減少に効果的なメスジカ捕獲数が目標に達していないことが要因と考えられる。</li> <li>・目標の達成に向けて、個体数を効果的に削減するため、エゾシカ捕獲推進プランのメス比率を引き上げるとともに、市町村関係機関に対して「メスジカの積極的な捕獲」を普及PRし、対策の推進を図る。</li> </ul>																																		
 <table border="1" data-bbox="475 884 1401 1137"> <caption>エゾシカ個体数指数(東部地域)の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23(基準)</td><td>100</td></tr> <tr><td>H24</td><td>92</td></tr> <tr><td>H25</td><td>80</td></tr> <tr><td>H26</td><td>78</td></tr> <tr><td>H27</td><td>76</td></tr> <tr><td>H28</td><td>75</td></tr> <tr><td>H29</td><td>86</td></tr> <tr><td>H30</td><td>89</td></tr> <tr><td>R1</td><td>96</td></tr> <tr><td>R2</td><td>114</td></tr> <tr><td>R3</td><td>125</td></tr> <tr><td>R4</td><td>137</td></tr> <tr><td>R5</td><td>139</td></tr> <tr><td>R6</td><td>137</td></tr> <tr><td>R8(目標)</td><td>50</td></tr> </tbody> </table>			年度	指標値	H23(基準)	100	H24	92	H25	80	H26	78	H27	76	H28	75	H29	86	H30	89	R1	96	R2	114	R3	125	R4	137	R5	139	R6	137	R8(目標)	50
年度	指標値																																	
H23(基準)	100																																	
H24	92																																	
H25	80																																	
H26	78																																	
H27	76																																	
H28	75																																	
H29	86																																	
H30	89																																	
R1	96																																	
R2	114																																	
R3	125																																	
R4	137																																	
R5	139																																	
R6	137																																	
R8(目標)	50																																	
<p data-bbox="256 1169 376 1207"><b>個別指標</b></p> <p data-bbox="196 1240 437 1308">エゾシカ個体数指数 (北部地域)</p> <p data-bbox="248 1344 384 1375">【3-個-③】</p> <div data-bbox="181 1408 451 1700" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="193 1424 416 1453">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="193 1453 432 1536" style="list-style-type: none"> <li>・エゾシカの適正花保護管理推進状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="193 1570 312 1599">【関連計画】</p> <ul data-bbox="193 1599 432 1682" style="list-style-type: none"> <li>・北海道エゾシカ管理計画 (環境生活部)</li> </ul> </div>	計画策定時の現状(基準年)	100(平成23年度)																																
	実績	139(令和6年度)																																
	目標数値等	50以下(令和8年度)																																
	進捗状況	▲ ※減少させることを目標																																
	【施策の基本的な方向性】h																																	
	【施策の方向】エ(ウ)																																	
<ul data-bbox="496 1397 1385 1491" style="list-style-type: none"> <li>・「北海道エゾシカ管理計画」に基づき、人とエゾシカとの適切な関係を築き、地域社会の健全な発展に寄与することを目的とし、個体数管理や有効活用などの総合的な対策に取り組みます。</li> </ul>																																		
【指標群の進捗状況等】																																		
<ul data-bbox="496 1543 1409 1760" style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度(2012年度)以降は減少に転じたが、平成29年度(2017年度)頃から再び増加に転じ、令和6年度(2024年度)の個体数指数は過去最高を更新した可能性がある。</li> <li>・目標の達成に向けて、個体数を効果的に削減するため、エゾシカ捕獲推進プランのメス比率を引き上げるとともに、市町村関係機関に対して「メスジカの積極的な捕獲」を普及PRし、対策の推進を図る。</li> </ul>																																		
 <table border="1" data-bbox="475 1776 1401 2029"> <caption>エゾシカ個体数指数(北部地域)の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23(基準)</td><td>100</td></tr> <tr><td>H24</td><td>93</td></tr> <tr><td>H25</td><td>88</td></tr> <tr><td>H26</td><td>88</td></tr> <tr><td>H27</td><td>90</td></tr> <tr><td>H28</td><td>92</td></tr> <tr><td>H29</td><td>93</td></tr> <tr><td>H30</td><td>94</td></tr> <tr><td>R1</td><td>100</td></tr> <tr><td>R2</td><td>108</td></tr> <tr><td>R3</td><td>116</td></tr> <tr><td>R4</td><td>124</td></tr> <tr><td>R5</td><td>132</td></tr> <tr><td>R6</td><td>139</td></tr> <tr><td>R13(目標)</td><td>50</td></tr> </tbody> </table>			年度	指標値	H23(基準)	100	H24	93	H25	88	H26	88	H27	90	H28	92	H29	93	H30	94	R1	100	R2	108	R3	116	R4	124	R5	132	R6	139	R13(目標)	50
年度	指標値																																	
H23(基準)	100																																	
H24	93																																	
H25	88																																	
H26	88																																	
H27	90																																	
H28	92																																	
H29	93																																	
H30	94																																	
R1	100																																	
R2	108																																	
R3	116																																	
R4	124																																	
R5	132																																	
R6	139																																	
R13(目標)	50																																	

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																	
<b>個別指標</b>  <b>エゾシカ個体数指数 (中部地域)</b>  【3-個-④】	計画策定時の現状(基準年)	100(平成23年度)																																
	実績	119(令和5年度)																																
	目標数値等	50以下(令和13年度)																																
	進捗状況	▲ ※減少させることを目標																																
<b>【指標群設定の考え方】</b> ・エゾシカの適正花保護管理推進状況の把握  <b>【関連計画】</b> ・北海道エゾシカ管理計画(環境生活部)	<b>【施策の基本的な方向性】 h</b> <b>【施策の方向】 エ(ウ)</b>  ・「北海道エゾシカ管理計画」に基づき、人とエゾシカとの適切な関係を築き、地域社会の健全な発展に寄与することを目的とし、個体数管理や有効活用などの総合的な対策に取り組みます。																																	
	<b>【指標群の進捗状況等】</b> ・平成24年度(2012年度)以降は減少に転じたが、平成28年度(2016年度)頃から再び増加に転じた。 ・これは、個体数の減少に効果的なメスジカ捕獲数が目標に達していないことが要因と考えられる。 ・目標の達成に向けて、個体数を効果的に削減するため、エゾシカ捕獲推進プランのメス比率を引き上げるとともに、市町村関係機関に対して「メスジカの積極的な捕獲」を普及PRし、対策の推進を図る。																																	
	<table border="1"> <caption>エゾシカ個体数指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23(基準)</td><td>100</td></tr> <tr><td>H24</td><td>91</td></tr> <tr><td>H25</td><td>87</td></tr> <tr><td>H26</td><td>82</td></tr> <tr><td>H27</td><td>79</td></tr> <tr><td>H28</td><td>80</td></tr> <tr><td>H29</td><td>83</td></tr> <tr><td>H30</td><td>84</td></tr> <tr><td>R1</td><td>90</td></tr> <tr><td>R2</td><td>98</td></tr> <tr><td>R3</td><td>105</td></tr> <tr><td>R4</td><td>109</td></tr> <tr><td>R5</td><td>116</td></tr> <tr><td>R6</td><td>119</td></tr> <tr><td>R13(目標)</td><td>50</td></tr> </tbody> </table>		年度	指数	H23(基準)	100	H24	91	H25	87	H26	82	H27	79	H28	80	H29	83	H30	84	R1	90	R2	98	R3	105	R4	109	R5	116	R6	119	R13(目標)	50
年度	指数																																	
H23(基準)	100																																	
H24	91																																	
H25	87																																	
H26	82																																	
H27	79																																	
H28	80																																	
H29	83																																	
H30	84																																	
R1	90																																	
R2	98																																	
R3	105																																	
R4	109																																	
R5	116																																	
R6	119																																	
R13(目標)	50																																	

指標群名称 【指標群No.】	内 容																							
<b>補足データ</b>  <b>すぐれた自然地域の面積</b>  【3-補-①】	<b>【施策の基本的な方向性】 a</b> <b>【施策の方向】 ア(ア)</b>  ・すぐれた自然環境の保全を図るため、「北海道自然環境等保全条例」に基づき、道自然環境保全地域等の指定や自然公園にかかる後援計画の見直しを進めるとともに、保護地域の適切な管理や監視等を行います。																							
	<b>【指標群の進捗状況等】</b> ・令和6年度のすぐれた自然地域の面積は1,050千haとなっており、前年度と比較して増加した。																							
<b>【指標群設定の考え方】</b> ・すぐれた自然の保全状況の把握  <b>【関連計画】</b> ・—(環境生活部)	<table border="1"> <caption>すぐれた自然地域の面積の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>面積(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>142</td></tr> <tr><td>H28</td><td>165</td></tr> <tr><td>H29</td><td>182</td></tr> <tr><td>H30</td><td>196</td></tr> <tr><td>R1</td><td>192</td></tr> <tr><td>R2</td><td>176</td></tr> <tr><td>R3</td><td>172</td></tr> <tr><td>R4</td><td>166</td></tr> <tr><td>R5</td><td>177</td></tr> <tr><td>R6</td><td>172</td></tr> </tbody> </table>		年度	面積(件)	H27	142	H28	165	H29	182	H30	196	R1	192	R2	176	R3	172	R4	166	R5	177	R6	172
	年度	面積(件)																						
H27	142																							
H28	165																							
H29	182																							
H30	196																							
R1	192																							
R2	176																							
R3	172																							
R4	166																							
R5	177																							
R6	172																							
	※ 自然公園(国立、国定、道立)、(原生)自然環境保全地域、道自然環境保全地域、自然景観保護地区、学術自然保護地区の面積の合計																							

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																																																																																	
<p data-bbox="245 286 387 320">補足データ</p> <p data-bbox="196 356 438 425">自然保護監視員等の 人数と監視延べ日数</p> <p data-bbox="248 461 384 490">【3-補-②】</p> <div data-bbox="185 521 453 790" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="196 535 421 564">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="196 566 435 620" style="list-style-type: none"> <li>・すぐれた自然の保全状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="196 651 316 680">【関連計画】</p> <ul data-bbox="196 683 435 768" style="list-style-type: none"> <li>・北海道生物多様性保全計画 (環境生活部)</li> </ul> </div>	<p data-bbox="470 248 794 277">【施策の基本的な方向性】 a</p> <p data-bbox="470 286 722 315">【施策の方向】 ア(ア)</p> <div data-bbox="491 338 1401 454" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すぐれた自然環境の保全を図るため、「北海道自然環境等保全条例」に基づき、道自然環境保全地域等の指定や自然公園にかかる後援計画の見直しを進めるとともに、保護地域の適切な管理や監視等を行います。</li> </ul> </div> <p data-bbox="470 472 738 501">【指標群の進捗状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の自然保護監視員等の人数は409人となっており、令和5年度より7人減ではあるが、平成23年度をピークに減少傾向となっている。</li> <li>・併せて、令和6年度の自然保護監視延べ日数は6,366日となっており、平成23年度をピークに減少傾向となっている。</li> <li>・引き続き、効率的な監視活動に努める。</li> </ul> <div data-bbox="475 712 1396 1064"> <table border="1"> <caption>監視員数と監視延べ日数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>監視員数 (人)</th> <th>監視延べ日数 (日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>444</td><td>10,100</td></tr> <tr><td>H24</td><td>435</td><td>9,214</td></tr> <tr><td>H25</td><td>430</td><td>9,115</td></tr> <tr><td>H26</td><td>432</td><td>9,040</td></tr> <tr><td>H27</td><td>431</td><td>8,759</td></tr> <tr><td>H28</td><td>431</td><td>8,353</td></tr> <tr><td>H29</td><td>427</td><td>7,780</td></tr> <tr><td>H30</td><td>421</td><td>7,458</td></tr> <tr><td>R1</td><td>419</td><td>7,228</td></tr> <tr><td>R2</td><td>419</td><td>6,962</td></tr> <tr><td>R3</td><td>414</td><td>6,743</td></tr> <tr><td>R4</td><td>415</td><td>6,555</td></tr> <tr><td>R5</td><td>419</td><td>6,555</td></tr> <tr><td>R6</td><td>409</td><td>6,366</td></tr> </tbody> </table> </div> <p data-bbox="470 1104 659 1133">【地域別の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然保護監視員数は、多少の変動はあるが全体としては、現状維持である。</li> <li>・自然保護監視延べ日数は減少傾向となっている。</li> </ul> <div data-bbox="344 1256 499 1317" style="background-color: red; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">集計中</div> <table border="1" data-bbox="470 1279 1401 1653"> <thead> <tr> <th>【人数】</th> <th>道央広域(70)</th> <th>道南(18)</th> <th>道北(41)</th> <th>オホーツク(18)</th> <th>十勝(19)</th> <th>釧路・根室(13)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R2</td><td>139</td><td>55</td><td>77</td><td>62</td><td>42</td><td>44</td></tr> <tr><td>R3</td><td>139</td><td>55</td><td>77</td><td>62</td><td>42</td><td>44</td></tr> <tr><td>R4</td><td>140</td><td>51</td><td>77</td><td>61</td><td>41</td><td>44</td></tr> <tr><td>R5</td><td>144</td><td>51</td><td>77</td><td>62</td><td>41</td><td>44</td></tr> <tr><td>R6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <th>【延べ日数】</th> <th>道央広域(70)</th> <th>道南(18)</th> <th>道北(41)</th> <th>オホーツク(18)</th> <th>十勝(19)</th> <th>釧路・根室(13)</th> </tr> <tr><td>R2</td><td>2,505</td><td>813</td><td>1,482</td><td>886</td><td>671</td><td>846</td></tr> <tr><td>R3</td><td>2,443</td><td>790</td><td>1,437</td><td>838</td><td>649</td><td>805</td></tr> <tr><td>R4</td><td>2,369</td><td>758</td><td>1,394</td><td>812</td><td>629</td><td>781</td></tr> <tr><td>R5</td><td>2,300</td><td>736</td><td>1,353</td><td>791</td><td>614</td><td>761</td></tr> <tr><td>R6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	年度	監視員数 (人)	監視延べ日数 (日)	H23	444	10,100	H24	435	9,214	H25	430	9,115	H26	432	9,040	H27	431	8,759	H28	431	8,353	H29	427	7,780	H30	421	7,458	R1	419	7,228	R2	419	6,962	R3	414	6,743	R4	415	6,555	R5	419	6,555	R6	409	6,366	【人数】	道央広域(70)	道南(18)	道北(41)	オホーツク(18)	十勝(19)	釧路・根室(13)	R2	139	55	77	62	42	44	R3	139	55	77	62	42	44	R4	140	51	77	61	41	44	R5	144	51	77	62	41	44	R6							【延べ日数】	道央広域(70)	道南(18)	道北(41)	オホーツク(18)	十勝(19)	釧路・根室(13)	R2	2,505	813	1,482	886	671	846	R3	2,443	790	1,437	838	649	805	R4	2,369	758	1,394	812	629	781	R5	2,300	736	1,353	791	614	761	R6						
年度	監視員数 (人)	監視延べ日数 (日)																																																																																																																																
H23	444	10,100																																																																																																																																
H24	435	9,214																																																																																																																																
H25	430	9,115																																																																																																																																
H26	432	9,040																																																																																																																																
H27	431	8,759																																																																																																																																
H28	431	8,353																																																																																																																																
H29	427	7,780																																																																																																																																
H30	421	7,458																																																																																																																																
R1	419	7,228																																																																																																																																
R2	419	6,962																																																																																																																																
R3	414	6,743																																																																																																																																
R4	415	6,555																																																																																																																																
R5	419	6,555																																																																																																																																
R6	409	6,366																																																																																																																																
【人数】	道央広域(70)	道南(18)	道北(41)	オホーツク(18)	十勝(19)	釧路・根室(13)																																																																																																																												
R2	139	55	77	62	42	44																																																																																																																												
R3	139	55	77	62	42	44																																																																																																																												
R4	140	51	77	61	41	44																																																																																																																												
R5	144	51	77	62	41	44																																																																																																																												
R6																																																																																																																																		
【延べ日数】	道央広域(70)	道南(18)	道北(41)	オホーツク(18)	十勝(19)	釧路・根室(13)																																																																																																																												
R2	2,505	813	1,482	886	671	846																																																																																																																												
R3	2,443	790	1,437	838	649	805																																																																																																																												
R4	2,369	758	1,394	812	629	781																																																																																																																												
R5	2,300	736	1,353	791	614	761																																																																																																																												
R6																																																																																																																																		

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																																																														
<p><b>補足データ</b></p> <p><b>植林面積</b></p> <p>【3-補-③】</p> <p><b>【指標群設定の考え方】</b> ・環境保全機能の維持増進状況の把握</p> <p><b>【関連計画】</b> ・北海道森林づくり基本計画 (水産林務部)</p>	<p><b>【施策の基本的な方向性】 b</b></p> <p><b>【施策の方向】 ア(イ)</b></p> <p>・森林づくり基本計画に基づき、地域の特性に応じた森林づくりを進めるため、発揮を期待する機能に応じて、森林を区分し、計画的な森林の整備・保全を進めます。</p> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道内における植林面積は、令和4年度の実績と比較し令和5年度は、約400ha増加した。</li> <li>直接の要因・原因は把握できていないが、伐採後の再植林が着実に実施された結果、実績が増加したと推察される。</li> <li>引き続き、令和3年度に創設した「豊かな森づくり推進事業」により、森林所有者が行う植林費用へ支援し、負担を軽減する。</li> <li>コンテナ苗の増産やスマート林業による作業の効率化を積極的に推進する。</li> </ul>  <table border="1"> <caption>植林面積 (ha)</caption> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>面積 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>9,889</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>9,786</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>9,115</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>9,152</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>9,553</td> </tr> </tbody> </table>	指標	面積 (ha)	R1	9,889	R2	9,786	R3	9,115	R4	9,152	R5	9,553																																																																																																		
指標	面積 (ha)																																																																																																														
R1	9,889																																																																																																														
R2	9,786																																																																																																														
R3	9,115																																																																																																														
R4	9,152																																																																																																														
R5	9,553																																																																																																														
<p><b>補足データ</b></p> <p><b>一人当たり 広域公園面積</b></p> <p>【3-補-④】</p> <p><b>【指標群設定の考え方】</b> ・身近な自然とのふれあいつくりの推進状況の把握</p> <p><b>【関連計画】</b> ・— (建設部)</p>	<p><b>【施策の基本的な方向性】 c</b></p> <p><b>【施策の方向】 ア(ウ)</b></p> <p>・自然の連続性などみどりのネットワーク形成や自然環境・生態系に配慮して、身近なみどりの保全・回復・創造を進めます。</p> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度については、広域公園の面積に変更がないため、令和5年度の1人あたり面積と同値になった。</li> <li>平成28年度及び令和4年度の増加した要因については、広域公園の面積に変更はないが、人口減少により、一人当たりの広域公園面積が増加となった。</li> <li>引き続き、広域公園の整備・維持管理・更新に必要な予算要望を行い、公園面積の保全に取り組む。</li> </ul>  <table border="1"> <caption>一人当たり広域公園面積 (ha)</caption> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>面積 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>2.7</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【地域別の状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道央広域(70)</td> <td>2.3</td> <td>2.3</td> <td>2.3</td> <td>2.3</td> <td>2.3</td> <td>2.3</td> <td>2.3</td> <td>2.4</td> <td>2.4</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>道南(18)</td> <td>2.6</td> <td>2.7</td> <td>2.7</td> <td>2.7</td> <td>2.8</td> <td>2.8</td> <td>2.9</td> <td>2.9</td> <td>3.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>道北(41)</td> <td>2.0</td> <td>2.1</td> <td>2.1</td> <td>2.1</td> <td>2.1</td> <td>2.1</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>オホーツク(18)</td> <td>5.6</td> <td>5.6</td> <td>5.7</td> <td>5.8</td> <td>5.8</td> <td>5.9</td> <td>6.0</td> <td>6.1</td> <td>6.2</td> <td>6.3</td> </tr> <tr> <td>十勝(19)</td> <td>4.1</td> <td>4.1</td> <td>4.1</td> <td>4.1</td> <td>4.1</td> <td>4.2</td> <td>4.2</td> <td>4.2</td> <td>4.3</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>釧路・根室(13)</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.8</td> <td>1.8</td> <td>1.8</td> <td>1.9</td> <td>1.9</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>合計(179)</td> <td>2.6</td> <td>2.6</td> <td>2.6</td> <td>2.6</td> <td>2.6</td> <td>2.6</td> <td>2.6</td> <td>2.7</td> <td>2.7</td> <td>2.7</td> </tr> </tbody> </table>	指標	面積 (ha)	H27	2.5	H28	2.6	H29	2.6	H30	2.6	R1	2.6	R2	2.6	R3	2.6	R4	2.7	R5	2.7	R6	2.7		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	道央広域(70)	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.4	道南(18)	2.6	2.7	2.7	2.7	2.8	2.8	2.9	2.9	3.0	3.0	道北(41)	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.3	オホーツク(18)	5.6	5.6	5.7	5.8	5.8	5.9	6.0	6.1	6.2	6.3	十勝(19)	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	釧路・根室(13)	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.8	1.8	1.9	1.9	1.9	合計(179)	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.7	2.7	2.7
指標	面積 (ha)																																																																																																														
H27	2.5																																																																																																														
H28	2.6																																																																																																														
H29	2.6																																																																																																														
H30	2.6																																																																																																														
R1	2.6																																																																																																														
R2	2.6																																																																																																														
R3	2.6																																																																																																														
R4	2.7																																																																																																														
R5	2.7																																																																																																														
R6	2.7																																																																																																														
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																					
道央広域(70)	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.4																																																																																																					
道南(18)	2.6	2.7	2.7	2.7	2.8	2.8	2.9	2.9	3.0	3.0																																																																																																					
道北(41)	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.3																																																																																																					
オホーツク(18)	5.6	5.6	5.7	5.8	5.8	5.9	6.0	6.1	6.2	6.3																																																																																																					
十勝(19)	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3																																																																																																					
釧路・根室(13)	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.8	1.8	1.9	1.9	1.9																																																																																																					
合計(179)	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.7	2.7	2.7																																																																																																					

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																																																														
<p data-bbox="245 286 387 320"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="209 360 424 394"><b>道立公園利用者数</b></p> <p data-bbox="252 427 381 461">【3-補-⑤】</p> <div data-bbox="181 499 451 741" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="196 510 416 544"><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <p data-bbox="196 544 432 629">・身近な自然とのふれあいつくりの推進状況の把握</p> <p data-bbox="196 656 316 689"><b>【関連計画】</b></p> <p data-bbox="196 689 347 723">・一（建設部）</p> </div>	<p data-bbox="475 241 794 275"><b>【施策の基本的な方向性】 c</b></p> <p data-bbox="475 275 722 309"><b>【施策の方向】 ア(ウ)</b></p> <div data-bbox="491 320 1401 409" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="507 331 1385 398">・自然の連続性などみどりのネットワーク形成や自然環境・生態系に配慮して、身近なみどりの保全・回復・創造を進めます。</p> </div> <p data-bbox="475 421 738 454"><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul data-bbox="499 465 1406 790" style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の道立公園全体の来園者数は、3,141,648人と令和5年度の2,966,898人を174,750人上回り5.9%増加した。</li> <li>・増加の要因は、それぞれの公園で特色あるイベントを実施するなど、利用促進に努めたことが挙げられる。</li> <li>・なお、利用者数の一番多かった平成29年度と比較すると330,598人減少し、9.5%減少している。</li> <li>・引き続き、SNSやフリーマガジンを活用した情報発信を行い、それぞれの道立都市公園において、公園の賑わい創出のために各種イベントを開催するなど、利用促進に取り組んでいる。</li> </ul> <div data-bbox="483 808 1390 1070"> <table border="1" data-bbox="483 808 1390 1070"> <caption>道立公園利用者数（千人）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数（千人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>3,360</td></tr> <tr><td>H28</td><td>3,431</td></tr> <tr><td>H29</td><td>3,472</td></tr> <tr><td>H30</td><td>3,369</td></tr> <tr><td>R1</td><td>3,240</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1,809</td></tr> <tr><td>R3</td><td>1,743</td></tr> <tr><td>R4</td><td>2,582</td></tr> <tr><td>R5</td><td>2,967</td></tr> <tr><td>R6</td><td>3,142</td></tr> </tbody> </table> </div> <p data-bbox="475 1093 659 1126"><b>【地域別の状況】</b></p> <ul data-bbox="499 1137 1406 1272" style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度については、各圏域で前年度の利用者数を超えているが、利用者数の一番多かった平成29年度と比較すると減少している。</li> <li>・コロナ禍の規制が解除されたことに伴い、令和5年度以降、利用者数は増加傾向となっている。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="475 1301 1406 1529"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道央広域(70)</td> <td>1,199</td> <td>1,277</td> <td>1,292</td> <td>1,218</td> <td>1,147</td> <td>582</td> <td>542</td> <td>994</td> <td>1,058</td> <td>1,117</td> </tr> <tr> <td>道南(18)</td> <td>961</td> <td>1,030</td> <td>988</td> <td>987</td> <td>935</td> <td>550</td> <td>583</td> <td>759</td> <td>973</td> <td>980</td> </tr> <tr> <td>道北(41)</td> <td>328</td> <td>323</td> <td>311</td> <td>321</td> <td>318</td> <td>177</td> <td>176</td> <td>236</td> <td>254</td> <td>268</td> </tr> <tr> <td>オホーツク(18)</td> <td>351</td> <td>325</td> <td>409</td> <td>389</td> <td>410</td> <td>205</td> <td>188</td> <td>260</td> <td>314</td> <td>389</td> </tr> <tr> <td>十勝(19)</td> <td>318</td> <td>296</td> <td>304</td> <td>284</td> <td>255</td> <td>206</td> <td>180</td> <td>216</td> <td>234</td> <td>235</td> </tr> <tr> <td>釧路・根室(13)</td> <td>203</td> <td>180</td> <td>168</td> <td>170</td> <td>175</td> <td>89</td> <td>74</td> <td>117</td> <td>133</td> <td>153</td> </tr> <tr> <td>合計(179)</td> <td>3,360</td> <td>3,431</td> <td>3,472</td> <td>3,369</td> <td>3,240</td> <td>1,809</td> <td>1,743</td> <td>2,582</td> <td>2,967</td> <td>3,142</td> </tr> </tbody> </table>	年度	利用者数（千人）	H27	3,360	H28	3,431	H29	3,472	H30	3,369	R1	3,240	R2	1,809	R3	1,743	R4	2,582	R5	2,967	R6	3,142		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	道央広域(70)	1,199	1,277	1,292	1,218	1,147	582	542	994	1,058	1,117	道南(18)	961	1,030	988	987	935	550	583	759	973	980	道北(41)	328	323	311	321	318	177	176	236	254	268	オホーツク(18)	351	325	409	389	410	205	188	260	314	389	十勝(19)	318	296	304	284	255	206	180	216	234	235	釧路・根室(13)	203	180	168	170	175	89	74	117	133	153	合計(179)	3,360	3,431	3,472	3,369	3,240	1,809	1,743	2,582	2,967	3,142
年度	利用者数（千人）																																																																																																														
H27	3,360																																																																																																														
H28	3,431																																																																																																														
H29	3,472																																																																																																														
H30	3,369																																																																																																														
R1	3,240																																																																																																														
R2	1,809																																																																																																														
R3	1,743																																																																																																														
R4	2,582																																																																																																														
R5	2,967																																																																																																														
R6	3,142																																																																																																														
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																					
道央広域(70)	1,199	1,277	1,292	1,218	1,147	582	542	994	1,058	1,117																																																																																																					
道南(18)	961	1,030	988	987	935	550	583	759	973	980																																																																																																					
道北(41)	328	323	311	321	318	177	176	236	254	268																																																																																																					
オホーツク(18)	351	325	409	389	410	205	188	260	314	389																																																																																																					
十勝(19)	318	296	304	284	255	206	180	216	234	235																																																																																																					
釧路・根室(13)	203	180	168	170	175	89	74	117	133	153																																																																																																					
合計(179)	3,360	3,431	3,472	3,369	3,240	1,809	1,743	2,582	2,967	3,142																																																																																																					

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																																																														
<p data-bbox="245 286 387 320"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="225 360 411 427">水辺に親しめる 河川空間整備数</p> <p data-bbox="252 463 384 495">【3-補-⑥】</p> <div data-bbox="183 533 451 775" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="196 546 416 573">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="201 577 435 663" style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然とのふれあいつくりの推進状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="196 692 316 719">【関連計画】</p> <ul data-bbox="201 723 347 750" style="list-style-type: none"> <li>・ ー（建設部）</li> </ul> </div>	<p data-bbox="472 239 794 271">【施策の基本的な方向性】 c</p> <p data-bbox="472 277 724 309">【施策の方向】 ア(ウ)</p> <div data-bbox="491 322 1401 409" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul data-bbox="507 333 1385 398" style="list-style-type: none"> <li>・ 生物の生息空間として重要な河川、湖沼、海岸、浅海岸、多様な水辺空間の保全と整備を進めます。</li> </ul> </div> <p data-bbox="472 423 738 454">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="496 461 1409 712" style="list-style-type: none"> <li>・ 着実に整備が進んでいる。</li> <li>・ 「北海道の川づくりビジョン」の基本的な方針の一つである「親しみやゆとりのある川」に基づき、河川改修等を実施しているため、整備数が増加している。</li> <li>・ 整備数向上のため、引き続き、「北海道の川作りビジョン」の基本的な方針の一つである「親しみやゆとりのある川」に基づいた川づくりの推進に努める。</li> </ul> <div data-bbox="483 730 1393 1014"> <p data-bbox="483 730 531 752">(箇所)</p> <table border="1" data-bbox="483 730 1393 1014"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>204</td></tr> <tr><td>H28</td><td>204</td></tr> <tr><td>H29</td><td>205</td></tr> <tr><td>H30</td><td>205</td></tr> <tr><td>R1</td><td>206</td></tr> <tr><td>R2</td><td>206</td></tr> <tr><td>R3</td><td>207</td></tr> <tr><td>R4</td><td>209</td></tr> <tr><td>R5</td><td>209</td></tr> <tr><td>R6</td><td>209</td></tr> </tbody> </table> </div> <p data-bbox="472 1055 659 1086">【地域別の状況】</p> <ul data-bbox="496 1093 1409 1158" style="list-style-type: none"> <li>・ 着実に整備数が増加しており、道央広域での整備数が全体の約半数を占めている。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="472 1171 1409 1406"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道央広域 (70)</td> <td>102</td> <td>102</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>104</td> <td>104</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>道南 (18)</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>道北 (41)</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>オホーツク (18)</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>十勝 (19)</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>釧路・根室 (13)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>合計 (179)</td> <td>204</td> <td>204</td> <td>205</td> <td>205</td> <td>206</td> <td>206</td> <td>207</td> <td>209</td> <td>209</td> <td>209</td> </tr> </tbody> </table>	年度	箇所数	H27	204	H28	204	H29	205	H30	205	R1	206	R2	206	R3	207	R4	209	R5	209	R6	209		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	道央広域 (70)	102	102	103	103	104	104	105	105	105	105	道南 (18)	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	道北 (41)	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	オホーツク (18)	8	8	8	8	8	8	8	10	10	10	十勝 (19)	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	釧路・根室 (13)	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	合計 (179)	204	204	205	205	206	206	207	209	209	209
年度	箇所数																																																																																																														
H27	204																																																																																																														
H28	204																																																																																																														
H29	205																																																																																																														
H30	205																																																																																																														
R1	206																																																																																																														
R2	206																																																																																																														
R3	207																																																																																																														
R4	209																																																																																																														
R5	209																																																																																																														
R6	209																																																																																																														
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																					
道央広域 (70)	102	102	103	103	104	104	105	105	105	105																																																																																																					
道南 (18)	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18																																																																																																					
道北 (41)	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39																																																																																																					
オホーツク (18)	8	8	8	8	8	8	8	10	10	10																																																																																																					
十勝 (19)	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26																																																																																																					
釧路・根室 (13)	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11																																																																																																					
合計 (179)	204	204	205	205	206	206	207	209	209	209																																																																																																					

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																																																														
<p style="text-align: center;"><b>補足データ</b></p> <p style="text-align: center;"><b>景観行政団体移行 市町村数</b></p> <p style="text-align: center;">【3-補-⑦】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道らしい景観づくりの推進状況の把握</li> </ul> <p><b>【関連計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>—（建設部）</li> </ul> </div>	<p><b>【施策の基本的な方向性】 d</b></p> <p><b>【施策の方向】 ア(エ)</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>「景観形成ビジョン」に基づき、「美しい景観のくに、北海道」を目指して、自然と調和した良好な景観形成を推進します。</li> </ul> </div> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年は順調に景観行政団体数が増加している状況</li> <li>再生可能エネルギー（主に太陽光発電施設）の乱立による景観の悪化やリゾート開発による無秩序な開発による景観の乱れを景観計画によりコントロールしようとする自治体が増えてきた。</li> <li>今後も市町村が出席する会議等で景観行政団体への移行を啓発していく。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>(市町村)</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 景観行政団体：景観法に基づき、景観行政事務を処理する地方公共団体。景観計画を策定し、独自の景観形成基準等を定めて良好な景観づくりが出来る。</p> </div> <p><b>【地域別の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道央広域：リゾート開発が乱発した後志、縄文遺跡群の胆振において近年は移行が進んだ。</li> <li>道南：中核市の函館市以外移行した市町村は無い状況。</li> <li>上川：中核市の旭川市から富良野市まで観光エリアの市町村で移行が進んでいる。</li> <li>オホーツク：北見市と清里町が移行した以外、動きがあまり見られない。</li> <li>十勝：管内に景観行政団体が無い状況。</li> <li>釧路・根室：近年は太陽光発電施設を抑制しようとして景観行政団体への移行を目指す動きが活発化。</li> <li>全圏域共通で大きな問題とならない限り、少子高齢化に伴う人口減少や職員数の減少などにより景観への取組についての優先順位が低い又はリソースを割けない状況にある。</li> <li>機会を見て市町村への啓蒙を続けていく。</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">(単位：市町村数)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道央広域 (70)</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>道南 (18)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>道北 (41)</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>オホーツク (18)</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>十勝 (19)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>釧路・根室 (13)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>合計 (179)</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	数	15	16	17	17	17	19	21	23	25	26		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	道央広域 (70)	7	7	7	7	7	8	10	11	11	11	道南 (18)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	道北 (41)	4	5	5	5	5	6	6	6	7	7	オホーツク (18)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	十勝 (19)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	釧路・根室 (13)	1	1	1	2	2	2	2	3	4	5	合計 (179)	15	16	16	17	17	19	21	23	25	26
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																					
数	15	16	17	17	17	19	21	23	25	26																																																																																																					
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																					
道央広域 (70)	7	7	7	7	7	8	10	11	11	11																																																																																																					
道南 (18)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																					
道北 (41)	4	5	5	5	5	6	6	6	7	7																																																																																																					
オホーツク (18)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																																																																																																					
十勝 (19)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																					
釧路・根室 (13)	1	1	1	2	2	2	2	3	4	5																																																																																																					
合計 (179)	15	16	16	17	17	19	21	23	25	26																																																																																																					

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																		
<p data-bbox="245 286 386 322"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="210 358 427 394">自然公園利用者数</p> <p data-bbox="248 425 386 461">【3-補-⑧】</p> <div data-bbox="181 497 450 739" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="194 510 418 546">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="194 546 434 627" style="list-style-type: none"> <li>・北海道らしい景観づくりの推進状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="194 658 316 694">【関連計画】</p> <ul data-bbox="194 694 354 730" style="list-style-type: none"> <li>・一（建設部）</li> </ul> </div>	<p data-bbox="472 241 794 277">【施策の基本的な方向性】 e</p> <p data-bbox="472 277 724 313">【施策の方向】 ウ(ア)</p> <div data-bbox="491 322 1401 439" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul data-bbox="507 331 1385 430" style="list-style-type: none"> <li>・人々にうるおいやすらぎをもたらす自然とのふれあいを推進するため、ふれあいの場となる利用施設の整備・維持管理や自然体験などの機会の提供を進めます。</li> </ul> </div> <p data-bbox="472 452 737 488">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="497 497 1407 631" style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症に伴う海外からの渡航制限など各種の規制、自粛が緩和されたことから、令和6年は2,851万人にまで回復したが、感染症の影響が出る前の令和元年と比べると約83%の利用者となっており、未だ回復途上にある。</li> </ul> <div data-bbox="472 640 1401 936"> <table border="1" data-bbox="472 640 1401 936"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数(万人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>3,504</td></tr> <tr><td>H28</td><td>3,437</td></tr> <tr><td>H29</td><td>3,485</td></tr> <tr><td>H30</td><td>3,324</td></tr> <tr><td>R1</td><td>3,446</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1,877</td></tr> <tr><td>R3</td><td>1,697</td></tr> <tr><td>R4</td><td>2,241</td></tr> <tr><td>R5</td><td>2,798</td></tr> <tr><td>R6</td><td>2,851</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="552 940 1056 976">※ 国立、国定、道立自然公園の利用者の合計。</p> <p data-bbox="472 990 657 1025">【地域別の状況】</p> <table border="1" data-bbox="472 1030 1401 1151"> <thead> <tr> <th></th> <th>道央広域(70)</th> <th>道南(18)</th> <th>道北(41)</th> <th>オホーツク(18)</th> <th>十勝(19)</th> <th>釧路・根室(13)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>1053</td> <td>146</td> <td>289</td> <td>319</td> <td>131</td> <td>303</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>1436</td> <td>163</td> <td>324</td> <td>350</td> <td>148</td> <td>377</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>1446</td> <td>174</td> <td>349</td> <td>346</td> <td>145</td> <td>391</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年度	利用者数(万人)	H27	3,504	H28	3,437	H29	3,485	H30	3,324	R1	3,446	R2	1,877	R3	1,697	R4	2,241	R5	2,798	R6	2,851		道央広域(70)	道南(18)	道北(41)	オホーツク(18)	十勝(19)	釧路・根室(13)	令和4年度	1053	146	289	319	131	303	令和5年度	1436	163	324	350	148	377	令和6年度	1446	174	349	346	145	391
年度	利用者数(万人)																																																		
H27	3,504																																																		
H28	3,437																																																		
H29	3,485																																																		
H30	3,324																																																		
R1	3,446																																																		
R2	1,877																																																		
R3	1,697																																																		
R4	2,241																																																		
R5	2,798																																																		
R6	2,851																																																		
	道央広域(70)	道南(18)	道北(41)	オホーツク(18)	十勝(19)	釧路・根室(13)																																													
令和4年度	1053	146	289	319	131	303																																													
令和5年度	1436	163	324	350	148	377																																													
令和6年度	1446	174	349	346	145	391																																													
<p data-bbox="118 1214 207 1249">集計中</p> <p data-bbox="245 1254 386 1290"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="204 1326 427 1361">タンチョウの生息数</p> <p data-bbox="248 1393 386 1429">【3-補-⑨】</p> <div data-bbox="181 1464 450 1724" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="194 1478 418 1514">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="194 1514 434 1572" style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性の保全状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="194 1603 316 1639">【関連計画】</p> <ul data-bbox="194 1639 434 1720" style="list-style-type: none"> <li>・北海道生物多様性保全計画（環境生活部）</li> </ul> </div>	<p data-bbox="472 1205 794 1240">【施策の基本的な方向性】 g</p> <p data-bbox="472 1240 724 1276">【施策の方向】 エ(ア)</p> <div data-bbox="491 1285 1401 1375" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul data-bbox="507 1294 1385 1370" style="list-style-type: none"> <li>・「希少野生動植物種保護基本方針」に基づき、捕獲等の規制や監視、生息地等の維持・再生、道民等との協働による監視活動などを進めます。</li> </ul> </div> <p data-bbox="472 1402 737 1438">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="497 1447 1407 1550" style="list-style-type: none"> <li>・生息数は、増加傾向にあるものと考えられる。</li> <li>・国や道が実施している給餌事業の効果や環境省が実施するタンチョウ保護増殖事業の進展によるものと考えられる。</li> </ul> <div data-bbox="472 1559 1401 1841"> <table border="1" data-bbox="472 1559 1401 1841"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>生息数(羽)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>1,248</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,231</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1,135</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,179</td></tr> <tr><td>R1</td><td>1,305</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1,470</td></tr> <tr><td>R3</td><td>1,462</td></tr> <tr><td>R4</td><td>1,412</td></tr> <tr><td>R5</td><td>1,366</td></tr> <tr><td>R6</td><td>1,366</td></tr> </tbody> </table> </div>	年度	生息数(羽)	H27	1,248	H28	1,231	H29	1,135	H30	1,179	R1	1,305	R2	1,470	R3	1,462	R4	1,412	R5	1,366	R6	1,366																												
年度	生息数(羽)																																																		
H27	1,248																																																		
H28	1,231																																																		
H29	1,135																																																		
H30	1,179																																																		
R1	1,305																																																		
R2	1,470																																																		
R3	1,462																																																		
R4	1,412																																																		
R5	1,366																																																		
R6	1,366																																																		

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																				
<p style="text-align: center;"><b>補足データ</b></p> <p style="text-align: center;"><b>野生動植物の目録を 作成した分類群の数</b></p> <p style="text-align: center;">【3-補-⑩】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性の保全状況の把握</li> </ul> <p><b>【関連計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道生物多様性保全計画（環境生活部）</li> </ul> </div>	<p><b>【施策の基本的な方向性】 g</b> <b>【施策の方向】 エ(ア)</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「希少野生動植物種保護基本方針」に基づき、捕獲等の規制や監視、生息地等の維持・再生、道民等との協働による監視活動などを進めます。</li> </ul> </div> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息数については、増加傾向にあるものと考えられる。</li> <li>・国や道が実施している給餌事業の効果や環境省が実施するタンチョウ保護増殖事業の伸展によるものと考えられる。</li> </ul> <div style="text-align: center;"> <p>(市町村)</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td> </tr> <tr> <th>数</th> <td>134</td><td>136</td><td>136</td><td>138</td><td>139</td><td>142</td><td>145</td><td>146</td><td>147</td><td>149</td> </tr> </table> </div>	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	数	134	136	136	138	139	142	145	146	147	149														
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																											
数	134	136	136	138	139	142	145	146	147	149																											
<p style="text-align: center;"><b>補足データ</b></p> <p style="text-align: center;"><b>「アライグマ防除実施 計画」の策定市町村数</b></p> <p style="text-align: center;">【3-補-⑪】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性の保全状況の把握</li> </ul> <p><b>【関連計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道生物多様性保全計画（環境生活部）</li> </ul> </div>	<p><b>【施策の基本的な方向性】 g</b> <b>【施策の方向】 エ(イ)</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「希少野生動植物種保護基本方針」に基づき、捕獲等の規制や監視、生息地等の維持・再生、道民等との協働による監視活動などを進めます。</li> </ul> </div> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・策定市町村数は平成25年度以降、一貫して増加傾向にあったが、近年は増加数が鈍化傾向にある。</li> <li>・被害が確認されないなど、防除の必要性が低い市町村においては策定していない一方、必要性がある市町村のほとんどが策定したことが要因と考えられる。</li> <li>・未策定の市町村に対しては、生息を確認したり、被害が発生した場合は、速やかな計画策定について助言していく。</li> </ul> <div style="text-align: center;"> <p>(市町村)</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td> </tr> <tr> <th>数</th> <td>134</td><td>136</td><td>136</td><td>138</td><td>139</td><td>142</td><td>145</td><td>146</td><td>147</td><td>149</td> </tr> </table> </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>【地域別の状況】</b> <span style="float: right; background-color: red; color: white; padding: 2px 5px;">集計中</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>道央広域(70)</td> <td>道南(18)</td> <td>道北(41)</td> <td>オホーツク(18)</td> <td>十勝(19)</td> <td>釧路・根室(13)</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div>	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	数	134	136	136	138	139	142	145	146	147	149		道央広域(70)	道南(18)	道北(41)	オホーツク(18)	十勝(19)	釧路・根室(13)	令和6年度						
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																											
数	134	136	136	138	139	142	145	146	147	149																											
	道央広域(70)	道南(18)	道北(41)	オホーツク(18)	十勝(19)	釧路・根室(13)																															
令和6年度																																					

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																							
<p style="text-align: center;"><b>補足データ</b></p> <p style="text-align: center;"><b>エゾシカ捕獲数及び 農林業被害額</b></p> <p style="text-align: center;">【3-補-⑫】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エゾシカの適正な保護管理推進状況の把握</li> </ul> <p><b>【関連計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エゾシカ管理計画（環境生活部）</li> </ul> </div>	<p><b>【施策の基本的な方向性】 h</b></p> <p><b>【施策の方向】 エ(ウ)</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>「エゾシカ管理計画」に基づき、人とエゾシカとの適切な関係を築き、地域社会の健全な発展に寄与することを目的とし、個体数管理や有効活用などの総合的な対策に取り組みます。</li> </ul> </div> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度の捕獲数は約15万7千頭と、令和4年度から約8.2%増加している。農林業被害額は、近年減少傾向にあったが、令和5年度は約51億円となっており、前年度から約6.1%増加している。</li> <li>捕獲数は拡大傾向にあるものの、個体数の減少に効果的なメスシカ捕獲数が目標に達していないため、個体数が増加傾向にあると考えられる。これにより、農林業被害額が増加していると考えられる。</li> <li>北海道エゾシカ管理計画（第6期）の目標達成に向けて、個体数を効果的に削減するため、エゾシカ捕獲推進プランのメス比率を引き上げるとともに、市町村等関係期間に対して「メスシカの積極的な捕獲」を普及PRし、対策の推進を図る。また、更なる捕獲強化に向けて、市町村による捕獲が困難な市町村境界等において道が捕獲を実施する。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div> <p><b>【地域別の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度の地域別で見ると、捕獲数は道央広域で32.3%、釧路・根室で26.8%となっており、この2つの地域で約6割を占める。</li> <li>同様に農林業被害額でも、道央広域で24.6%、釧路・根室で35.9%と、この2地域で約6割を占めている。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地域</th> <th colspan="4">捕獲数（頭）</th> <th colspan="4">農林業被害額（百万円）</th> </tr> <tr> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道央広域(70)</td> <td>41,389</td> <td>51,240</td> <td>45,893</td> <td>50,583</td> <td>974</td> <td>1,113</td> <td>1,150</td> <td>1,214</td> </tr> <tr> <td>道南(18)</td> <td>2,996</td> <td>3,693</td> <td>3,881</td> <td>4,158</td> <td>89</td> <td>86</td> <td>77</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>道北(41)</td> <td>19,131</td> <td>20,227</td> <td>21,097</td> <td>24,072</td> <td>525</td> <td>606</td> <td>786</td> <td>719</td> </tr> <tr> <td>オホーツク(18)</td> <td>12,949</td> <td>13,638</td> <td>16,130</td> <td>16,816</td> <td>485</td> <td>511</td> <td>590</td> <td>608</td> </tr> <tr> <td>十勝(19)</td> <td>17,589</td> <td>17,993</td> <td>17,702</td> <td>19,138</td> <td>523</td> <td>470</td> <td>525</td> <td>682</td> </tr> <tr> <td>釧路・根室(13)</td> <td>35,448</td> <td>36,402</td> <td>40,286</td> <td>42,096</td> <td>1,472</td> <td>1,695</td> <td>1,718</td> <td>1,846</td> </tr> </tbody> </table>	地域	捕獲数（頭）				農林業被害額（百万円）				R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	道央広域(70)	41,389	51,240	45,893	50,583	974	1,113	1,150	1,214	道南(18)	2,996	3,693	3,881	4,158	89	86	77	75	道北(41)	19,131	20,227	21,097	24,072	525	606	786	719	オホーツク(18)	12,949	13,638	16,130	16,816	485	511	590	608	十勝(19)	17,589	17,993	17,702	19,138	523	470	525	682	釧路・根室(13)	35,448	36,402	40,286	42,096	1,472	1,695	1,718	1,846
地域	捕獲数（頭）				農林業被害額（百万円）																																																																			
	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5																																																																
道央広域(70)	41,389	51,240	45,893	50,583	974	1,113	1,150	1,214																																																																
道南(18)	2,996	3,693	3,881	4,158	89	86	77	75																																																																
道北(41)	19,131	20,227	21,097	24,072	525	606	786	719																																																																
オホーツク(18)	12,949	13,638	16,130	16,816	485	511	590	608																																																																
十勝(19)	17,589	17,993	17,702	19,138	523	470	525	682																																																																
釧路・根室(13)	35,448	36,402	40,286	42,096	1,472	1,695	1,718	1,846																																																																

指標群名称 【指標群No.】	内 容																														
<p data-bbox="245 286 386 320"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="199 360 432 427"><b>エゾシカ個体数指数 (南部地域)</b></p> <p data-bbox="248 463 381 492">【3-補-⑬】</p> <div data-bbox="183 533 450 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="193 544 416 571">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="199 573 432 658" style="list-style-type: none"> <li>・エゾシカの適正な保護管理推進状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="193 689 312 716">【関連計画】</p> <ul data-bbox="199 719 432 804" style="list-style-type: none"> <li>・北海道エゾシカ管理計画 (環境生活部)</li> </ul> </div>	<p data-bbox="472 237 794 266">【施策の基本的な方向性】 h</p> <p data-bbox="472 275 722 304">【施策の方向】 エ(ウ)</p> <div data-bbox="496 327 1401 443" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul data-bbox="507 338 1385 427" style="list-style-type: none"> <li>・「エゾシカ管理計画」に基づき、人とエゾシカとの適切な関係を築き、地域社会の健全な発展に寄与することを目的とし、個体数管理や有効活用などの総合的な対策に取り組みます。</li> </ul> </div> <p data-bbox="472 470 735 499">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="496 508 1404 759" style="list-style-type: none"> <li>・個体数は減少しておらず、増加が継続していると推定される。</li> <li>・個体数の減少に効果的なメスジカ捕獲数が少ないことが要因と考えられる。</li> <li>・目標の達成に向けて、個体数を効果的に削減するため、エゾシカ捕獲推進プランのメス比率を引き上げるとともに、市町村等関係期間に対して「メスジカの積極的な捕獲」を普及PRし、対策の推進を図る。</li> <li>・また、更なる捕獲強化に向けて、市町村による捕獲が困難な市町村協会等において道が捕獲を実施する。</li> </ul> <div data-bbox="480 772 1401 1014"> <table border="1" data-bbox="480 772 1401 1014"> <caption>エゾシカ個体数指数 (南部地域) の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>100</td></tr> <tr><td>H24</td><td>109</td></tr> <tr><td>H25</td><td>126</td></tr> <tr><td>H26</td><td>149</td></tr> <tr><td>H27</td><td>172</td></tr> <tr><td>H28</td><td>187</td></tr> <tr><td>H29</td><td>211</td></tr> <tr><td>H30</td><td>221</td></tr> <tr><td>R1</td><td>250</td></tr> <tr><td>R2</td><td>284</td></tr> <tr><td>R3</td><td>313</td></tr> <tr><td>R4</td><td>340</td></tr> <tr><td>R5</td><td>375</td></tr> <tr><td>R6</td><td>405</td></tr> </tbody> </table> </div>	年度	指数	H23	100	H24	109	H25	126	H26	149	H27	172	H28	187	H29	211	H30	221	R1	250	R2	284	R3	313	R4	340	R5	375	R6	405
年度	指数																														
H23	100																														
H24	109																														
H25	126																														
H26	149																														
H27	172																														
H28	187																														
H29	211																														
H30	221																														
R1	250																														
R2	284																														
R3	313																														
R4	340																														
R5	375																														
R6	405																														
<p data-bbox="245 1081 386 1115"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="199 1155 432 1189"><b>エゾシカ推定生息数</b></p> <p data-bbox="248 1225 381 1254">【3-補-⑭】</p> <div data-bbox="183 1294 450 1599" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="193 1305 416 1332">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="199 1335 432 1420" style="list-style-type: none"> <li>・エゾシカの適正な保護管理推進状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="193 1451 312 1478">【関連計画】</p> <ul data-bbox="199 1480 432 1565" style="list-style-type: none"> <li>・エゾシカ管理計画 (環境生活部)</li> </ul> </div>	<p data-bbox="472 1032 794 1061">【施策の基本的な方向性】 h</p> <p data-bbox="472 1070 722 1099">【施策の方向】 エ(ウ)</p> <div data-bbox="496 1122 1401 1238" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul data-bbox="507 1133 1385 1223" style="list-style-type: none"> <li>・「エゾシカ管理計画」に基づき、人とエゾシカとの適切な関係を築き、地域社会の健全な発展に寄与することを目的とし、個体数管理や有効活用などの総合的な対策に取り組みます。</li> </ul> </div> <p data-bbox="472 1256 735 1285">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="496 1294 1404 1733" style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度のエゾシカ推定生息数は73万頭となっており、近年は増加傾向にある。</li> <li>・捕獲数は拡大傾向にあるものの、個体数の減少に効果的なメスジカ捕獲数が目標に達していないため、個体数が増加傾向にあると考えられる。これにより、農林業被害額が増加していると考えられる。</li> <li>・北海道エゾシカ管理計画(第6期)の目標達成に向けて、個体数を効果的に削減するため、エゾシカ捕獲推進プランのメス比率を引き上げるとともに、令和7年1月から「エゾシカ緊急対策期間」の設定を行い、エゾシカの捕獲等の実施主体その他関係する機関及び団体と連携協力して、エゾシカの捕獲等を重点的に推進する。</li> <li>・また、更なる捕獲強化に向けて、越冬期に集結するエゾシカの集中捕獲を道が実施する。</li> </ul> <div data-bbox="472 1742 1401 1995"> <table border="1" data-bbox="472 1742 1401 1995"> <caption>エゾシカ推定生息数 (万頭) の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>推定生息数 (万頭)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>68</td></tr> <tr><td>H27</td><td>68</td></tr> <tr><td>H28</td><td>68</td></tr> <tr><td>H29</td><td>67</td></tr> <tr><td>H30</td><td>65</td></tr> <tr><td>R1</td><td>67</td></tr> <tr><td>R2</td><td>67</td></tr> <tr><td>R3</td><td>69</td></tr> <tr><td>R4</td><td>72</td></tr> <tr><td>R5</td><td>73</td></tr> </tbody> </table> </div>	年度	推定生息数 (万頭)	H26	68	H27	68	H28	68	H29	67	H30	65	R1	67	R2	67	R3	69	R4	72	R5	73								
年度	推定生息数 (万頭)																														
H26	68																														
H27	68																														
H28	68																														
H29	67																														
H30	65																														
R1	67																														
R2	67																														
R3	69																														
R4	72																														
R5	73																														

指標群名称 【指標群No.】	内 容
-------------------	-----

集計中

**補足データ**  
**狩猟免許所持者数**  
 【3-補-⑮】

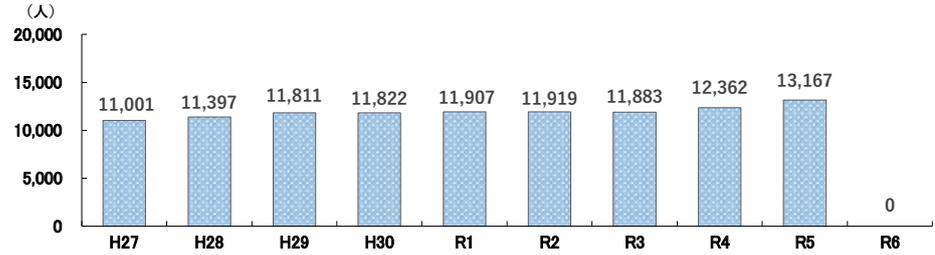
**【指標群設定の考え方】**  
 ・野生鳥獣の適正な保護管理推進状況の把握  
**【関連計画】**  
 ・北海道生物多様性保全計画  
 （環境生活部）

**【施策の基本的な方向性】 h**  
**【施策の方向】 エ(ウ)**

・「鳥獣保護管理計画」に基づき、鳥獣保護区の指定や適正な狩猟の管理など野生鳥獣の保護管理に関する基盤的施策を推進します。

**【指標群の進捗状況等】**

- ・10年前と比較すると、2割以上増加しており、微増傾向にある。
- ・増加要因としては、狩猟免許試験の受験機会を増やしたこと（日曜日や農閑期の実施、回数の増等）やシカ捕獲目的のわな猟免許の取得者が増加していること等があげられる。
- ・引き続き、狩猟免許試験の受験機会の確保等を図っていく。



**【地域別の状況】**

- ・10年前と比較すると、圏域毎で増減割合の違いはあるが、全体では2割程度増加しており、増加傾向にある。

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
道央広域(70)	5,001	5,204	5,434	5,580	5,431	5,581	5,542	5,762	6,267	
道南(18)	747	790	814	835	921	930	919	942	977	
道北(41)	1,655	1,668	1,765	1,696	1,799	1,679	1,741	1,796	1,870	
オホーツク(18)	1,258	1,280	1,266	1,190	1,197	1,180	1,151	1,251	1,256	
十勝(19)	1,442	1,518	1,547	1,501	1,537	1,518	1,485	1,526	1,678	
釧路・根室(13)	898	937	985	1,020	1,022	1,031	1,045	1,085	1,119	
合計(179)	11,001	11,397	11,811	11,822	11,907	11,919	11,883	12,362	13,167	0

**補足データ**  
**ヒグマ人身被害数**  
 【3-補-⑯】

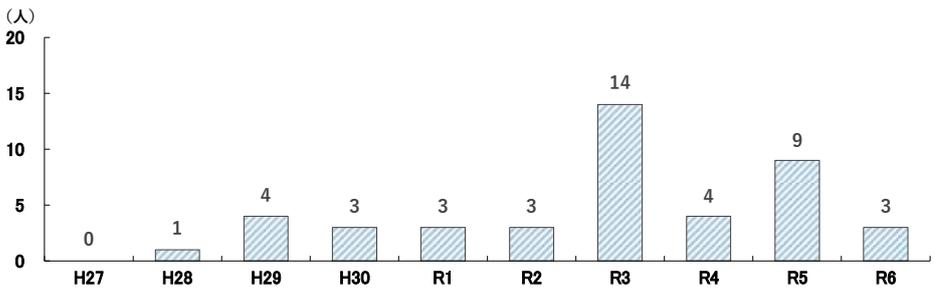
**【指標群設定の考え方】**  
 ・ヒグマの適正な保護管理推進状況の把握  
**【関連計画】**  
 ・北海道ヒグマ管理計画  
 （環境生活部）

**【施策の基本的な方向性】 h**  
**【施策の方向】 エ(ウ)**

・「ヒグマ管理計画」に基づき、道民とヒグマのあつれき軽減とヒグマ地域個体群の存続を両立するための取組を推進します。

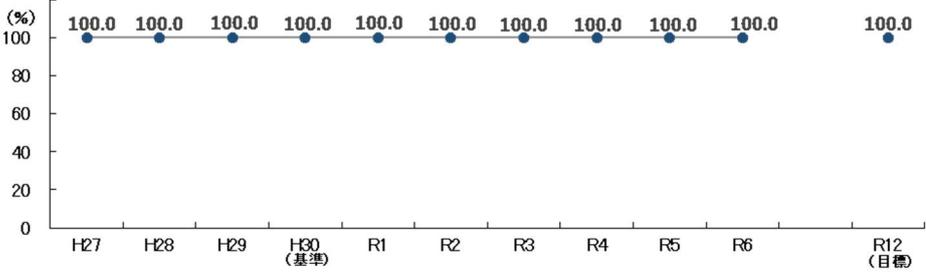
**【指標群の進捗状況等】**

- ・令和6年度は、3件3名の被害となっており、前年と比べて3件名減少した。
- ・事故が減少した原因は精査中であるが、これまでの事故原因としては、偶発的な遭遇による事故が多い（狩猟者を除く）。
- ・人身被害の減少に向け、引き続き、人側への正しい知識の普及啓発に努める。



指標群名称 【指標群No.】	内 容																																	
<p style="background-color: red; color: white; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">集計中</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">補足データ</p> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;"><b>ヒグマ捕獲数及び 農業被害額</b></p> <p style="text-align: center;">【3-補-⑰】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒグマの適正な保護管理推進状況の把握</li> </ul> <p><b>【関連計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道ヒグマ管理計画（環境生活部）</li> </ul> </div>	<p><b>【施策の基本的な方向性】 h</b> <b>【施策の方向】 エ(ウ)</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒグマ管理計画」に基づき、道民とヒグマのあつれき軽減とヒグマ地域個体群の存続を両立するための取組を推進します。</li> </ul> </div> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <p><b>（捕獲数）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度は過去最多を記録。</li> <li>・ヒグマの推定生息数が増加傾向にある中、令和5年度は秋の餌不足等が重なり、人里への出没や農業被害が増加し、有害捕獲件数が増えたと考えられる。</li> <li>・これまで実施してきた有害捕獲や春期管理捕獲に加え、ゾーニング管理での捕獲を組み合わせ、人里周辺に生息するヒグマを中心に捕獲圧を強化する。</li> </ul> <p><b>（農業被害額）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度は過去最多を記録。</li> <li>・ヒグマの推定生息数が増加傾向にある中、令和5年度は秋の餌不足等が重なったことで農業被害額が増加したと考えられる。</li> <li>・市町村による有害捕獲を実施するとともに、市町村地域協議会等において、農林水産省の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、被害防止計画に基づく農作物被害の防止・低減を図るための取組を実施する。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>捕獲数 (頭)</th> <th>被害額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>677</td><td>128</td></tr> <tr><td>H27</td><td>738</td><td>169</td></tr> <tr><td>H28</td><td>685</td><td>185</td></tr> <tr><td>H29</td><td>851</td><td>198</td></tr> <tr><td>H30</td><td>918</td><td>228</td></tr> <tr><td>R1</td><td>822</td><td>223</td></tr> <tr><td>R2</td><td>930</td><td>255</td></tr> <tr><td>R3</td><td>1,056</td><td>262</td></tr> <tr><td>R4</td><td>940</td><td>249</td></tr> <tr><td>R5</td><td>1,804</td><td>332</td></tr> </tbody> </table> </div>	年度	捕獲数 (頭)	被害額 (百万円)	H26	677	128	H27	738	169	H28	685	185	H29	851	198	H30	918	228	R1	822	223	R2	930	255	R3	1,056	262	R4	940	249	R5	1,804	332
年度	捕獲数 (頭)	被害額 (百万円)																																
H26	677	128																																
H27	738	169																																
H28	685	185																																
H29	851	198																																
H30	918	228																																
R1	822	223																																
R2	930	255																																
R3	1,056	262																																
R4	940	249																																
R5	1,804	332																																

分野4 安全・安心な地域環境の確保

指標群名称 【指標群No.】	内 容																									
<p data-bbox="284 387 347 421"><b>指標</b></p> <p data-bbox="188 459 443 492"><b>大気環境基準達成率</b></p> <p data-bbox="247 526 384 555">【4-指-①】</p> <div data-bbox="183 589 448 835" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="193 595 416 624">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="199 624 432 680" style="list-style-type: none"> <li>・大気環境基準の達成状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="193 712 312 741">【関連計画】</p> <ul data-bbox="199 741 368 797" style="list-style-type: none"> <li>・— (環境生活部)</li> </ul> </div>	計画策定時の現状(基準年)	100% (平成 30 年度)																								
	実績	100% (令和 6 年度)																								
	目標数値等	100% (令和 12 年度)																								
	進捗状況	◎																								
	<p data-bbox="470 539 794 568">【施策の基本的な方向性】 a</p> <p data-bbox="470 577 722 607">【施策の方向】 ア(ア)</p> <div data-bbox="491 622 1401 712" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul data-bbox="507 633 1385 701" style="list-style-type: none"> <li>・大気環境についての継続的な調査・監視や、事業者に対する指導・助言等により、大気環境の保全を推進します。</li> </ul> </div> <p data-bbox="470 734 738 763">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="494 770 1409 875" style="list-style-type: none"> <li>・近年は、目標を達成している。これまでの取組の浸透により、高い水準を維持できている。</li> <li>・現状の高い水準を維持するため、引き続き、取り組みを継続する。</li> </ul> <div data-bbox="480 909 1406 1182">  <table border="1" data-bbox="480 909 1406 1182"> <caption>進捗状況の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>H30 (基準)</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R1</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R3</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R4</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R5</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R6</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R12 (目標)</td><td>100.0</td></tr> </tbody> </table> </div>			年度	達成率 (%)	H27	100.0	H28	100.0	H29	100.0	H30 (基準)	100.0	R1	100.0	R2	100.0	R3	100.0	R4	100.0	R5	100.0	R6	100.0	R12 (目標)
年度	達成率 (%)																									
H27	100.0																									
H28	100.0																									
H29	100.0																									
H30 (基準)	100.0																									
R1	100.0																									
R2	100.0																									
R3	100.0																									
R4	100.0																									
R5	100.0																									
R6	100.0																									
R12 (目標)	100.0																									

指標群名称 【指標群No.】	内 容									
<b>指標</b> <b>水質環境基準達成率</b> 【4-指-②】	計画策定時の現状(基準年)	91.2% (平成 30 年度)								
	実績	91.6% (令和 6 年度)								
	目標数値等	100% (令和 12 年度)								
	進捗状況	△								
<b>【指標群設定の考え方】</b> ・ 大気環境基準の達成状況の把握 <b>【関連計画】</b> ・ - (環境生活部)	<b>【施策の基本的な方向性】 a</b> <b>【施策の方向】 ア(イ)</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           ・ 公共用水域や地下水についての継続的な調査・監視や、事業者に対する指導・助言等により、水域の保全を推進します。         </div>									
	<b>【指標群の進捗状況等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度の本道の公共用水域における水質環境基準達成率は91.6%となっており、近年達成状況は横ばいで推移している。</li> <li>公共用水域全体の水質環境基準の達成率は約9割となっているが、外部との水の交換が起りにくい故障などの閉鎖性水域における達成率が低いことが影響し、横ばいとなっている。</li> </ul>									
<b>【地域別の状況】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>釧路・根室圏域を除く5圏域では水質環境基準達成率80%以上の高い水準となっているが、釧路・根室圏域では70%程度に留まっている。</li> <li>釧路・根室圏域に湖沼などの閉鎖性水域が多数存在していることが要因と推察される。</li> <li>それぞれの湖沼において、地元自治体や住民、団体等で構成する協議会を設置するなど継続的な対策が行われていることから、引き続きこれらの取り組みの推進について、他部局、国や市町村、地域住民や産業界などと連携して取り組んでいく。</li> </ul>										
(単位: %)										
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
河川	97.3	97.8	97.8	96.8	97.8	95.2	97.3	96.8	96.2	97.3
湖沼	54.5	36.4	54.5	54.5	54.5	45.5	45.5	54.5	54.5	54.5
海域	86.2	81.5	81.5	81.5	78.5	86.2	76.9	80.0	80.0	81.5
(単位: %)										
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
道央広域(70)	96.2	94.2	95.2	93.3	95.2	95.2	93.3	95.2	95.2	94.2
道南(18)	94.1	94.1	88.2	94.1	82.4	88.2	82.4	88.2	88.2	82.4
道北(41)	94.4	94.4	100.0	97.2	100.0	97.2	100.0	97.2	97.2	100.0
オホーツク(18)	91.4	85.7	85.7	88.6	88.6	80.0	85.7	85.7	88.6	88.6
十勝(19)	100.0	94.4	100.0	100.0	97.2	94.4	94.4	97.2	91.7	100
釧路・根室(13)	73.5	79.4	73.5	70.6	70.6	79.4	73.5	70.6	70.6	73.5

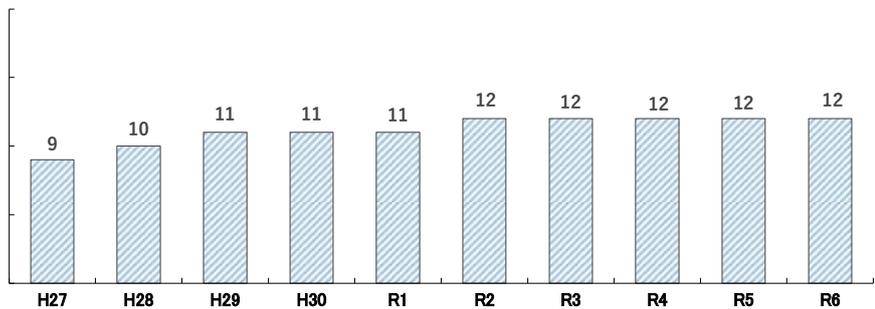
指標群名称 【指標群No.】	内 容																										
<p><b>指標</b></p> <p>騒音に関する環境 基準達成率 (一般地域)</p> <p>【4-指-③(1)】</p> <p><b>【指標群設定の考え方】</b> ・騒音環境基準の達成 状況の把握</p> <p><b>【関連計画】</b> ・— (環境生活部)</p>	計画策定時の現状(基準年)	89.4% (平成 30 年度)																									
	実績	92.9% (令和 5 年度)																									
	目標数値等	100% (令和 12 年度)																									
	進捗状況	○																									
	<p><b>【施策の基本的な方向性】 c</b></p> <p><b>【施策の方向】 ア(ウ)</b></p> <p>・工場・事業場等から発生する騒音・振動・悪臭を防止するため、関係法令に基づく規制地域の指定や、航空機騒音の監視などを行います。</p>																										
	<p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>達成率は上昇しており、目標達成に向けて順調に推移している。</li> <li>騒音規制地域の見直しなど、これまでの取り組み等により徐々に達成率が向上した。</li> <li>目標の達成(数値の向上)に向けて、引き続き、取り組みを継続する。</li> </ul>																										
	<table border="1"> <caption>騒音に関する環境基準達成率(一般地域)の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>83.9</td></tr> <tr><td>H27</td><td>85.7</td></tr> <tr><td>H28</td><td>85.7</td></tr> <tr><td>H29</td><td>89.7</td></tr> <tr><td>H30 (基準)</td><td>89.4</td></tr> <tr><td>R1</td><td>89.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>91.3</td></tr> <tr><td>R3</td><td>92.5</td></tr> <tr><td>R4</td><td>96.3</td></tr> <tr><td>R5</td><td>92.9</td></tr> <tr><td>R12 (目標)</td><td>100.0</td></tr> </tbody> </table>		年度	達成率 (%)	H26	83.9	H27	85.7	H28	85.7	H29	89.7	H30 (基準)	89.4	R1	89.0	R2	91.3	R3	92.5	R4	96.3	R5	92.9	R12 (目標)	100.0	
	年度	達成率 (%)																									
	H26	83.9																									
	H27	85.7																									
H28	85.7																										
H29	89.7																										
H30 (基準)	89.4																										
R1	89.0																										
R2	91.3																										
R3	92.5																										
R4	96.3																										
R5	92.9																										
R12 (目標)	100.0																										
<p><b>【指標群設定の考え方】</b> ・騒音環境基準の達成 状況の把握</p> <p><b>【関連計画】</b> ・— (環境生活部)</p>																											
<p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年、横ばいで推移している。これまでの取り組みにより、高い水準を維持できている。</li> <li>目標の達成(数値の向上)に向けて、引き続き、庁内関係課との連携を継続する。</li> </ul>																											
<table border="1"> <caption>騒音に関する環境基準達成率(自動車)の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>97.3</td></tr> <tr><td>H27</td><td>96.2</td></tr> <tr><td>H28</td><td>98.1</td></tr> <tr><td>H29</td><td>98.6</td></tr> <tr><td>H30 (基準)</td><td>97.1</td></tr> <tr><td>R1</td><td>98.3</td></tr> <tr><td>R2</td><td>98.5</td></tr> <tr><td>R3</td><td>98.1</td></tr> <tr><td>R4</td><td>98.9</td></tr> <tr><td>R5</td><td>99.7</td></tr> <tr><td>R6</td><td>98.9</td></tr> <tr><td>R12 (目標)</td><td>100.0</td></tr> </tbody> </table>		年度	達成率 (%)	H26	97.3	H27	96.2	H28	98.1	H29	98.6	H30 (基準)	97.1	R1	98.3	R2	98.5	R3	98.1	R4	98.9	R5	99.7	R6	98.9	R12 (目標)	100.0
年度	達成率 (%)																										
H26	97.3																										
H27	96.2																										
H28	98.1																										
H29	98.6																										
H30 (基準)	97.1																										
R1	98.3																										
R2	98.5																										
R3	98.1																										
R4	98.9																										
R5	99.7																										
R6	98.9																										
R12 (目標)	100.0																										

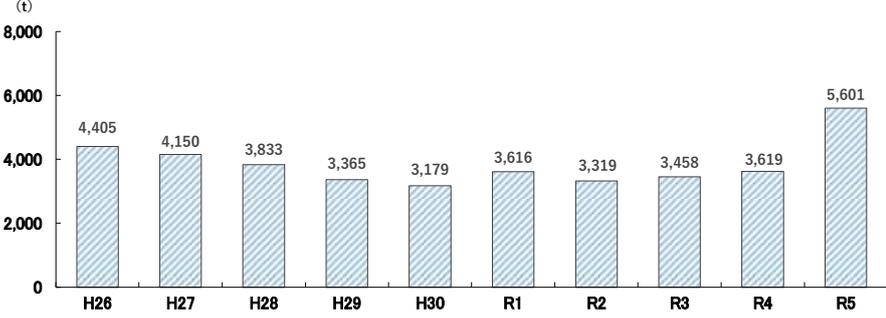
指標群名称 【指標群No.】	内 容																							
<p data-bbox="284 253 347 293"><b>指標</b></p> <p data-bbox="204 327 427 432">騒音に関する環境 基準達成率 (航空機)</p> <p data-bbox="228 465 403 495">【4-指-③(3)】</p> <div data-bbox="183 524 451 779" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="196 539 419 568">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="196 568 435 622" style="list-style-type: none"> <li>・ 騒音環境基準の達成状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="196 656 316 685">【関連計画】</p> <ul data-bbox="196 685 395 716" style="list-style-type: none"> <li>・ ー (環境生活部)</li> </ul> </div>	計画策定時の現状(基準年)	75.0% (平成 30 年度)																						
	実績	78.0% (令和 5 年度)																						
	目標数値等	100% (令和 12 年度)																						
	進捗状況	○																						
	<p data-bbox="472 409 791 439">【施策の基本的な方向性】 f</p> <p data-bbox="472 443 727 472">【施策の方向】 ウ(ウ)</p> <div data-bbox="491 488 1401 589" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul data-bbox="507 506 1385 568" style="list-style-type: none"> <li>・ 工場・事業場等から発生する騒音・振動・悪臭を防止するため、関係法令に基づく規制地域の指定や、航空機騒音の監視などを行います。</li> </ul> </div> <p data-bbox="472 622 738 651">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="496 656 1409 981" style="list-style-type: none"> <li>・ 年度により調査箇所数が異なるため達成率が変動しているが、いずれの年度においても、新千歳空港及び千歳飛行場で基準未達成、その他空港は基準達成の状況が継続している。</li> <li>・ 千歳飛行場においてはジェット戦闘機の離着陸が行われているため、新千歳空港及び千歳飛行場の一部周辺地点の測定に影響を与えているものと考えられる。</li> <li>・ 目標の達成に向けて、引き続き、航空機騒音実態調査実施計画に沿って、基準未達成である新千歳空港及び千歳飛行場における常時監視などの取組を進めるほか、引き続き、庁内関係課との連携を継続する。</li> </ul> <div data-bbox="475 1032 1401 1267" style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <caption>騒音に関する環境基準達成率(航空機)の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>75.0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>78.0</td></tr> <tr><td>H30 (基準年)</td><td>75.0</td></tr> <tr><td>R1</td><td>78.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>78.0</td></tr> <tr><td>R3</td><td>75.0</td></tr> <tr><td>R4</td><td>75.0</td></tr> <tr><td>R5</td><td>78.0</td></tr> <tr><td>R6</td><td>78.0</td></tr> <tr><td>R12 (目標値)</td><td>100.0</td></tr> </tbody> </table> </div>			年度	達成率 (%)	H28	75.0	H29	78.0	H30 (基準年)	75.0	R1	78.0	R2	78.0	R3	75.0	R4	75.0	R5	78.0	R6	78.0	R12 (目標値)
年度	達成率 (%)																							
H28	75.0																							
H29	78.0																							
H30 (基準年)	75.0																							
R1	78.0																							
R2	78.0																							
R3	75.0																							
R4	75.0																							
R5	78.0																							
R6	78.0																							
R12 (目標値)	100.0																							

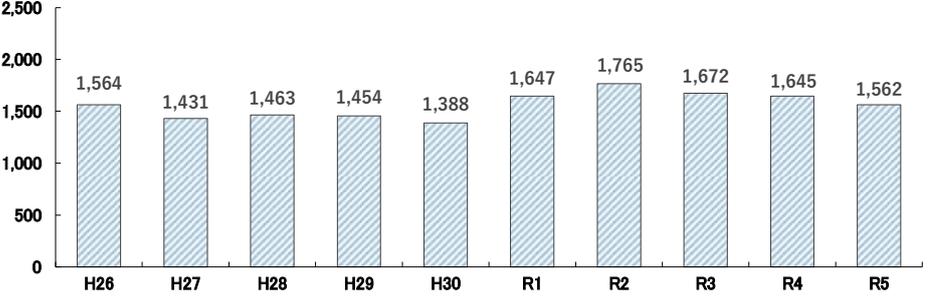
指標群名称 【指標群No.】	内 容																									
<div data-bbox="256 255 379 293" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">個別指標</div> <div data-bbox="213 327 419 432" style="text-align: center;"> <b>化学物質 (ダイオキシン類) 環境基準達成率</b> </div> <div data-bbox="245 465 384 497" style="text-align: center;">【4-個-①】</div> <div data-bbox="181 533 451 792" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【指標群設定の考え方】</b> ・動物愛護精神の普及状況の把握</p> <p><b>【関連計画】</b> ・北海道動物愛護管理推進計画 (環境生活部)</p> </div>	計画策定時の現状(基準年)	100% (平成 30 年度)																								
	実績	100% (令和 6 年度)																								
	目標数値等	100% (令和 12 年度)																								
	進捗状況	◎																								
	<div data-bbox="472 405 798 436" style="margin-bottom: 5px;">【施策の基本的な方向性】 d</div> <div data-bbox="472 441 671 472" style="margin-bottom: 5px;">【施策の方向】 イ</div> <div data-bbox="491 495 1401 622" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・ダイオキシン類についての継続的な調査・監視や事業者に対する指導・助言、PRTR 制度の適切な運用などにより、化学物質等による環境汚染の未然防止を図ります。</p> </div> <div data-bbox="472 647 738 678" style="margin-bottom: 5px;">【指標群の進捗状況等】</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成12年度以降、全道において環境基準100%を達成している。</li> <li>・事業者への指導等の取組により、廃棄物焼却炉などの特定施設が適切に維持管理され、環境汚染の未然防止に繋がっているものとの推察される。</li> <li>・ダイオキシン類の調査・監視や事業者等への指導・助言などを引き続き実施することにより、ダイオキシン類による環境汚染の未然防止を図る。</li> </ul> <div data-bbox="472 898 1406 1133" style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="display: none;"> <caption>進捗状況等 (達成率)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>H30 (基準)</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R1</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R3</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R4</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R5</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R6</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R12 (目標)</td><td>100.0</td></tr> </tbody> </table> </div>			年度	達成率 (%)	H27	100.0	H28	100.0	H29	100.0	H30 (基準)	100.0	R1	100.0	R2	100.0	R3	100.0	R4	100.0	R5	100.0	R6	100.0	R12 (目標)
年度	達成率 (%)																									
H27	100.0																									
H28	100.0																									
H29	100.0																									
H30 (基準)	100.0																									
R1	100.0																									
R2	100.0																									
R3	100.0																									
R4	100.0																									
R5	100.0																									
R6	100.0																									
R12 (目標)	100.0																									

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																																																																																																																																																																																		
<p style="text-align: center;"><b>補足データ</b></p> <p style="text-align: center;"><b>地下水環境基準の達成率</b></p> <p style="text-align: center;">【4-補-①】</p> <p>※ 環境基本計画 P74では、「地下水水質常時監視の『概況調査』及び『継続監視調査』における調査地点数及び環境基準達成率」としているが、概況調査のみのグラフも参考として掲載。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健全な水環境の確保状況の把握</li> </ul> <p><b>【関連計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— (環境生活部)</li> </ul> </div>	<p><b>【施策の基本的な方向性】 h</b></p> <p><b>【施策の方向】 ア(イ)</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共用水域や地下水についての継続的な調査・監視や、事業者に対する指導・助言等により、水環境の保全を推進します。</li> </ul> </div> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年、横ばいで推移している。</li> <li>常時監視や事業場等への立入検査による監視・指導等を実施しているが、地下水は一度汚染されると浄化に時間がかかること等から、横ばいで推移している。</li> <li>引き続き、地下水の常時監視や事業場等への立入検査による監視・指導等を効率的かつ効果的に実施していく。</li> </ul> <p>(概況調査＋継続監視調査)</p> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>(概況調査＋継続監視調査)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>60.4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>63.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>64.0</td></tr> <tr><td>H30</td><td>65.4</td></tr> <tr><td>R1</td><td>63.9</td></tr> <tr><td>R2</td><td>66.0</td></tr> <tr><td>R3</td><td>66.5</td></tr> <tr><td>R4</td><td>69.5</td></tr> <tr><td>R5</td><td>68.8</td></tr> <tr><td>R6 (速報値)</td><td>68.3</td></tr> </tbody> </table> <p>(概況調査のみ)</p> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>(概況調査のみ)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>94.3</td></tr> <tr><td>H28</td><td>96.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>87.9</td></tr> <tr><td>H30</td><td>98.8</td></tr> <tr><td>R1</td><td>95.5</td></tr> <tr><td>R2</td><td>96.6</td></tr> <tr><td>R3</td><td>92.0</td></tr> <tr><td>R4</td><td>94.1</td></tr> <tr><td>R5</td><td>68.8</td></tr> <tr><td>R6 (速報値)</td><td>68.3</td></tr> </tbody> </table> <p><b>【地域別の状況】</b></p> <p>(概況調査＋継続監視調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年、横ばいで推移している。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道央広域</td> <td>60.2</td> <td>63.5</td> <td>60.4</td> <td>67.3</td> <td>65.7</td> <td>69.0</td> <td>65.2</td> <td>69.5</td> <td>67.3</td> <td>73.1</td> <td>71.1</td> <td>73.1</td> </tr> <tr> <td>道南</td> <td>71.0</td> <td>65.7</td> <td>64.8</td> <td>67.5</td> <td>70.5</td> <td>69.6</td> <td>69.4</td> <td>78.1</td> <td>80.6</td> <td>81.2</td> <td>81.0</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>道北</td> <td>73.9</td> <td>65.8</td> <td>82.9</td> <td>68.8</td> <td>71.1</td> <td>73.3</td> <td>71.1</td> <td>68.0</td> <td>68.8</td> <td>73.3</td> <td>68.9</td> <td>67.5</td> </tr> <tr> <td>オホーツク</td> <td>41.8</td> <td>32.5</td> <td>32.5</td> <td>36.5</td> <td>46.3</td> <td>42.8</td> <td>47.6</td> <td>43.9</td> <td>52.3</td> <td>50</td> <td>51.2</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>十勝</td> <td>57.8</td> <td>57.8</td> <td>63.1</td> <td>66.6</td> <td>55.5</td> <td>57.8</td> <td>57.8</td> <td>57.8</td> <td>57.8</td> <td>52.6</td> <td>70.0</td> <td>55.6</td> </tr> <tr> <td>釧路・根室</td> <td>100</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(概況調査のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道央広域を除く全ての地域で100%を達成している。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道央広域 (70)</td> <td>94.4</td> <td>96.0</td> <td>92.5</td> <td>100</td> <td>84.4</td> <td>100</td> <td>96.2</td> <td>96.2</td> <td>88.6</td> <td>94.3</td> <td>98.2</td> <td>98.1</td> </tr> <tr> <td>道南 (18)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>92.3</td> <td>84.6</td> <td>92.3</td> <td>100</td> <td>92.8</td> <td>92.3</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>道北 (41)</td> <td>87.5</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>92.8</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>92.8</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>オホーツク (18)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>50.0</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>50.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>十勝 (19)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>66.6</td> <td>66.6</td> <td>100.0</td> <td>66.6</td> <td>66.6</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>釧路・根室 (13)</td> <td>100</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	達成率 (%)	H27	60.4	H28	63.4	H29	64.0	H30	65.4	R1	63.9	R2	66.0	R3	66.5	R4	69.5	R5	68.8	R6 (速報値)	68.3	年度	達成率 (%)	H27	94.3	H28	96.4	H29	87.9	H30	98.8	R1	95.5	R2	96.6	R3	92.0	R4	94.1	R5	68.8	R6 (速報値)	68.3		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	道央広域	60.2	63.5	60.4	67.3	65.7	69.0	65.2	69.5	67.3	73.1	71.1	73.1	道南	71.0	65.7	64.8	67.5	70.5	69.6	69.4	78.1	80.6	81.2	81.0	80.0	道北	73.9	65.8	82.9	68.8	71.1	73.3	71.1	68.0	68.8	73.3	68.9	67.5	オホーツク	41.8	32.5	32.5	36.5	46.3	42.8	47.6	43.9	52.3	50	51.2	50.0	十勝	57.8	57.8	63.1	66.6	55.5	57.8	57.8	57.8	57.8	52.6	70.0	55.6	釧路・根室	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100.0	100.0		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	道央広域 (70)	94.4	96.0	92.5	100	84.4	100	96.2	96.2	88.6	94.3	98.2	98.1	道南 (18)	100	100	92.3	84.6	92.3	100	92.8	92.3	100	100	100.0	100.0	道北 (41)	87.5	100	100	100	92.8	100	100	100	100	92.8	100.0	100.0	オホーツク (18)	100	100	100	50.0	100	100	100	100	100	100	50.0	100.0	十勝 (19)	100	100	100	100	100	66.6	66.6	100.0	66.6	66.6	100.0	100.0	釧路・根室 (13)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100.0	100.0
年度	達成率 (%)																																																																																																																																																																																																																																		
H27	60.4																																																																																																																																																																																																																																		
H28	63.4																																																																																																																																																																																																																																		
H29	64.0																																																																																																																																																																																																																																		
H30	65.4																																																																																																																																																																																																																																		
R1	63.9																																																																																																																																																																																																																																		
R2	66.0																																																																																																																																																																																																																																		
R3	66.5																																																																																																																																																																																																																																		
R4	69.5																																																																																																																																																																																																																																		
R5	68.8																																																																																																																																																																																																																																		
R6 (速報値)	68.3																																																																																																																																																																																																																																		
年度	達成率 (%)																																																																																																																																																																																																																																		
H27	94.3																																																																																																																																																																																																																																		
H28	96.4																																																																																																																																																																																																																																		
H29	87.9																																																																																																																																																																																																																																		
H30	98.8																																																																																																																																																																																																																																		
R1	95.5																																																																																																																																																																																																																																		
R2	96.6																																																																																																																																																																																																																																		
R3	92.0																																																																																																																																																																																																																																		
R4	94.1																																																																																																																																																																																																																																		
R5	68.8																																																																																																																																																																																																																																		
R6 (速報値)	68.3																																																																																																																																																																																																																																		
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																																																																																							
道央広域	60.2	63.5	60.4	67.3	65.7	69.0	65.2	69.5	67.3	73.1	71.1	73.1																																																																																																																																																																																																																							
道南	71.0	65.7	64.8	67.5	70.5	69.6	69.4	78.1	80.6	81.2	81.0	80.0																																																																																																																																																																																																																							
道北	73.9	65.8	82.9	68.8	71.1	73.3	71.1	68.0	68.8	73.3	68.9	67.5																																																																																																																																																																																																																							
オホーツク	41.8	32.5	32.5	36.5	46.3	42.8	47.6	43.9	52.3	50	51.2	50.0																																																																																																																																																																																																																							
十勝	57.8	57.8	63.1	66.6	55.5	57.8	57.8	57.8	57.8	52.6	70.0	55.6																																																																																																																																																																																																																							
釧路・根室	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100.0	100.0																																																																																																																																																																																																																							
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																																																																																							
道央広域 (70)	94.4	96.0	92.5	100	84.4	100	96.2	96.2	88.6	94.3	98.2	98.1																																																																																																																																																																																																																							
道南 (18)	100	100	92.3	84.6	92.3	100	92.8	92.3	100	100	100.0	100.0																																																																																																																																																																																																																							
道北 (41)	87.5	100	100	100	92.8	100	100	100	100	92.8	100.0	100.0																																																																																																																																																																																																																							
オホーツク (18)	100	100	100	50.0	100	100	100	100	100	100	50.0	100.0																																																																																																																																																																																																																							
十勝 (19)	100	100	100	100	100	66.6	66.6	100.0	66.6	66.6	100.0	100.0																																																																																																																																																																																																																							
釧路・根室 (13)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100.0	100.0																																																																																																																																																																																																																							

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																																																			
<p style="text-align: center;"><b>補足データ</b></p> <p style="text-align: center;"><b>污水处理人口普及率</b></p> <p style="text-align: center;">【4-補-②】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健全な水環境の確保状況の把握</li> </ul> <p><b>【関連計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全道みな下水道構想V（建設部）</li> </ul> </div>	<p><b>【施策の基本的な方向性】 b</b></p> <p><b>【施策の方向】 ア(イ)</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共用水域や地下水についての継続的な調査・監視や、事業者に対する指導・助言等により、水環境の保全を推進します。</li> </ul> </div> <p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>污水处理の普及が着実に進んでいる。</li> <li>全道みな下水道構想に基づき污水处理施設の整備を進めている。</li> <li>全道みな下水道構想に基づき污水处理施設の整備を推進し、污水处理の普及促進を図る。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="display: none;"> <caption>污水处理人口普及率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>普及率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>94.7</td></tr> <tr><td>H27</td><td>95.0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>95.2</td></tr> <tr><td>H29</td><td>95.4</td></tr> <tr><td>H30</td><td>95.5</td></tr> <tr><td>R1</td><td>95.7</td></tr> <tr><td>R2</td><td>95.9</td></tr> <tr><td>R3</td><td>96.2</td></tr> <tr><td>R4</td><td>96.3</td></tr> <tr><td>R5</td><td>96.5</td></tr> </tbody> </table> </div> <p><b>【地域別の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道央広域では98%を超えて普及が着実に進んでいる。</li> <li>道南地域、釧路・根室地域は他地域に比べ普及率は低くなっているが、年々普及率は着実に進んでいる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道央広域 (70)</td> <td>96.9</td> <td>97.1</td> <td>97.2</td> <td>97.3</td> <td>97.5</td> <td>97.6</td> <td>97.7</td> <td>97.9</td> <td>98.0</td> <td>98.1</td> </tr> <tr> <td>道南 (18)</td> <td>83.5</td> <td>84.0</td> <td>84.4</td> <td>84.8</td> <td>85.0</td> <td>85.4</td> <td>85.7</td> <td>86.5</td> <td>86.8</td> <td>87.0</td> </tr> <tr> <td>道北 (41)</td> <td>94.3</td> <td>94.6</td> <td>94.8</td> <td>95.0</td> <td>95.0</td> <td>95.3</td> <td>95.6</td> <td>95.9</td> <td>96.1</td> <td>96.3</td> </tr> <tr> <td>オホーツク (18)</td> <td>92.9</td> <td>93.2</td> <td>93.6</td> <td>94.1</td> <td>94.5</td> <td>94.7</td> <td>94.6</td> <td>95.0</td> <td>95.3</td> <td>95.6</td> </tr> <tr> <td>十勝 (19)</td> <td>93.6</td> <td>93.9</td> <td>94.2</td> <td>94.5</td> <td>94.8</td> <td>95.2</td> <td>95.4</td> <td>95.6</td> <td>95.9</td> <td>96.1</td> </tr> <tr> <td>釧路・根室 (13)</td> <td>91.6</td> <td>91.9</td> <td>92.0</td> <td>92.2</td> <td>92.1</td> <td>92.3</td> <td>92.6</td> <td>93.1</td> <td>93.0</td> <td>93.3</td> </tr> </tbody> </table>	年度	普及率 (%)	H26	94.7	H27	95.0	H28	95.2	H29	95.4	H30	95.5	R1	95.7	R2	95.9	R3	96.2	R4	96.3	R5	96.5		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	道央広域 (70)	96.9	97.1	97.2	97.3	97.5	97.6	97.7	97.9	98.0	98.1	道南 (18)	83.5	84.0	84.4	84.8	85.0	85.4	85.7	86.5	86.8	87.0	道北 (41)	94.3	94.6	94.8	95.0	95.0	95.3	95.6	95.9	96.1	96.3	オホーツク (18)	92.9	93.2	93.6	94.1	94.5	94.7	94.6	95.0	95.3	95.6	十勝 (19)	93.6	93.9	94.2	94.5	94.8	95.2	95.4	95.6	95.9	96.1	釧路・根室 (13)	91.6	91.9	92.0	92.2	92.1	92.3	92.6	93.1	93.0	93.3
年度	普及率 (%)																																																																																																			
H26	94.7																																																																																																			
H27	95.0																																																																																																			
H28	95.2																																																																																																			
H29	95.4																																																																																																			
H30	95.5																																																																																																			
R1	95.7																																																																																																			
R2	95.9																																																																																																			
R3	96.2																																																																																																			
R4	96.3																																																																																																			
R5	96.5																																																																																																			
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																										
道央広域 (70)	96.9	97.1	97.2	97.3	97.5	97.6	97.7	97.9	98.0	98.1																																																																																										
道南 (18)	83.5	84.0	84.4	84.8	85.0	85.4	85.7	86.5	86.8	87.0																																																																																										
道北 (41)	94.3	94.6	94.8	95.0	95.0	95.3	95.6	95.9	96.1	96.3																																																																																										
オホーツク (18)	92.9	93.2	93.6	94.1	94.5	94.7	94.6	95.0	95.3	95.6																																																																																										
十勝 (19)	93.6	93.9	94.2	94.5	94.8	95.2	95.4	95.6	95.9	96.1																																																																																										
釧路・根室 (13)	91.6	91.9	92.0	92.2	92.1	92.3	92.6	93.1	93.0	93.3																																																																																										

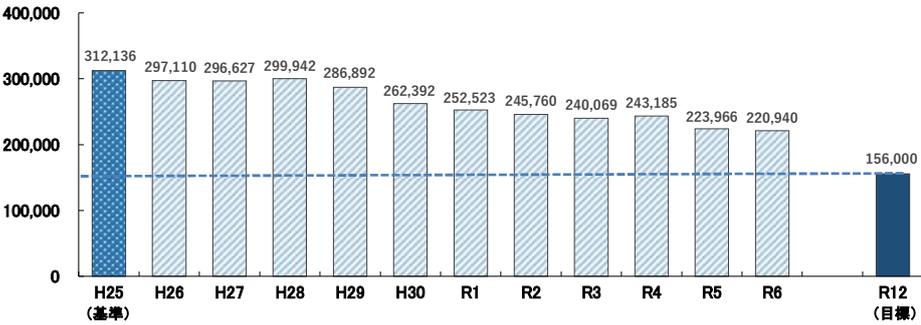
指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																																					
<p data-bbox="245 286 387 320"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="193 360 440 461"><b>健全な水環境確保のための流域環境保全計画策定数</b></p> <p data-bbox="245 499 387 526">【4-補-③】</p> <div data-bbox="183 555 450 831" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="193 566 419 593"><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <ul data-bbox="193 595 432 651" style="list-style-type: none"> <li>健全な水環境の確保状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="193 683 316 710"><b>【関連計画】</b></p> <ul data-bbox="193 712 395 739" style="list-style-type: none"> <li>—（環境生活部）</li> </ul> </div>	<p data-bbox="470 237 794 264"><b>【施策の基本的な方向性】 b</b></p> <p data-bbox="470 275 719 302"><b>【施策の方向】 ア(イ)</b></p> <div data-bbox="491 320 1401 465" style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> <ul data-bbox="507 331 1385 454" style="list-style-type: none"> <li>上流域の森林地域から下流域の農漁村・都市地域まで水環境を流域全体で捉え、健全な水環境の確保を図る視点にたつて、水資源の確保と保全、水の効率的・持続的な利用などについて、関係者と連携した取組を推進します。</li> </ul> </div> <p data-bbox="470 495 738 521"><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul data-bbox="496 533 1406 745" style="list-style-type: none"> <li>近年、微増から横ばいとなっている。</li> <li>地域の環境保全団体への助言・支援等を実施しており、微増から横ばいとなっている。</li> <li>引き続き、「健全な水循環の確保のための流域環境保全計画づくりガイド」や企業との協働事業である「北海道e-水プロジェクト」を活用し、地域の環境保全団体等の活動を支援していく。</li> </ul> <div data-bbox="470 757 1377 1093"> <p data-bbox="470 757 502 784">(件)</p>  <table border="1" data-bbox="502 1064 1377 1093"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>9</td></tr> <tr><td>H28</td><td>10</td></tr> <tr><td>H29</td><td>11</td></tr> <tr><td>H30</td><td>11</td></tr> <tr><td>R1</td><td>11</td></tr> <tr><td>R2</td><td>12</td></tr> <tr><td>R3</td><td>12</td></tr> <tr><td>R4</td><td>12</td></tr> <tr><td>R5</td><td>12</td></tr> <tr><td>R6</td><td>12</td></tr> </tbody> </table> </div> <p data-bbox="470 1122 659 1149"><b>【地域別の状況】</b></p> <ul data-bbox="496 1160 1406 1261" style="list-style-type: none"> <li>概ね・横ばい・微増で推移している。</li> <li>地域の環境保全団体への助言・支援等を実施しているため、計画策定数が微増していると思われる。</li> </ul> <p data-bbox="1289 1283 1406 1310">(単位：流域)</p> <table border="1" data-bbox="483 1310 1415 1529"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道央広域 (70)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>道南 (18)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>道北 (41)</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>オホーツク (18)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>十勝 (19)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>釧路・根室 (13)</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	年度	件数	H27	9	H28	10	H29	11	H30	11	R1	11	R2	12	R3	12	R4	12	R5	12	R6	12		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	道央広域 (70)	1	1	1	1	1	1	1	1	道南 (18)	1	1	1	2	2	2	2	2	道北 (41)	2	2	2	2	2	2	2	2	オホーツク (18)	1	1	1	1	1	1	1	1	十勝 (19)	1	1	1	1	1	1	1	1	釧路・根室 (13)	5	5	5	5	5	5	5	5
年度	件数																																																																																					
H27	9																																																																																					
H28	10																																																																																					
H29	11																																																																																					
H30	11																																																																																					
R1	11																																																																																					
R2	12																																																																																					
R3	12																																																																																					
R4	12																																																																																					
R5	12																																																																																					
R6	12																																																																																					
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																																																																														
道央広域 (70)	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																														
道南 (18)	1	1	1	2	2	2	2	2																																																																														
道北 (41)	2	2	2	2	2	2	2	2																																																																														
オホーツク (18)	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																														
十勝 (19)	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																														
釧路・根室 (13)	5	5	5	5	5	5	5	5																																																																														

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																																												
<p data-bbox="245 286 387 320"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="217 360 416 461"><b>PRTR法に基づく 届出排出量及び 移動量</b></p> <p data-bbox="248 499 384 526">【4-補-④】</p> <div data-bbox="183 555 448 831" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="193 566 416 593">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="193 595 432 678" style="list-style-type: none"> <li>・化学物質等による肝要リスク低減状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="193 712 312 739">【関連計画】</p> <ul data-bbox="193 741 395 768" style="list-style-type: none"> <li>・ — (環境生活部)</li> </ul> </div>	<p data-bbox="472 237 798 264">【施策の基本的な方向性】 d</p> <p data-bbox="472 275 671 302">【施策の方向】 イ</p> <div data-bbox="491 320 1401 465" style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> <ul data-bbox="507 349 1382 439" style="list-style-type: none"> <li>・ダイオキシン類についての継続的な調査・監視や事業者に対する指導・助言、PRTR 制度の適切な運用などにより。化学物質等による環境汚染の未然防止を図ります。</li> </ul> </div> <p data-bbox="472 495 738 521">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="496 533 1070 595" style="list-style-type: none"> <li>・ 年度により変動はあるが、概ね横ばいの傾向。</li> <li>・ 経済活動の変動によるものと考えられる</li> </ul> <div data-bbox="491 607 1377 925">  <table border="1" data-bbox="491 607 1377 925"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>4,405</td></tr> <tr><td>H27</td><td>4,150</td></tr> <tr><td>H28</td><td>3,833</td></tr> <tr><td>H29</td><td>3,365</td></tr> <tr><td>H30</td><td>3,179</td></tr> <tr><td>R1</td><td>3,616</td></tr> <tr><td>R2</td><td>3,319</td></tr> <tr><td>R3</td><td>3,458</td></tr> <tr><td>R4</td><td>3,619</td></tr> <tr><td>R5</td><td>5,601</td></tr> </tbody> </table> </div> <p data-bbox="472 976 659 1003">【地域別の状況】</p> <ul data-bbox="496 1014 1201 1077" style="list-style-type: none"> <li>・ 年度により変動はあるが、各圏域とも概ね横ばいの傾向。</li> <li>・ 経済活動の変動によるものと考えられる。</li> </ul> <p data-bbox="1313 1106 1393 1128">(単位：t)</p> <table border="1" data-bbox="472 1128 1401 1328"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道央広域 (70)</td> <td>3,320</td> <td>2,952</td> <td>2,474</td> <td>2,390</td> <td>2,744</td> <td>2,556</td> <td>2,717</td> <td>2,869</td> <td>4,805</td> </tr> <tr> <td>道南 (18)</td> <td>368</td> <td>343</td> <td>373</td> <td>303</td> <td>330</td> <td>231</td> <td>227</td> <td>274</td> <td>259</td> </tr> <tr> <td>道北 (41)</td> <td>143</td> <td>141</td> <td>130</td> <td>132</td> <td>151</td> <td>148</td> <td>142</td> <td>119</td> <td>158</td> </tr> <tr> <td>オホーツク (18)</td> <td>55</td> <td>122</td> <td>116</td> <td>123</td> <td>125</td> <td>129</td> <td>129</td> <td>122</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>十勝 (19)</td> <td>43</td> <td>46</td> <td>42</td> <td>4t</td> <td>40</td> <td>39</td> <td>36</td> <td>38</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>釧路・根室 (13)</td> <td>221</td> <td>228</td> <td>230</td> <td>188</td> <td>226</td> <td>216</td> <td>207</td> <td>196</td> <td>216</td> </tr> </tbody> </table>	年度	値 (t)	H26	4,405	H27	4,150	H28	3,833	H29	3,365	H30	3,179	R1	3,616	R2	3,319	R3	3,458	R4	3,619	R5	5,601		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	道央広域 (70)	3,320	2,952	2,474	2,390	2,744	2,556	2,717	2,869	4,805	道南 (18)	368	343	373	303	330	231	227	274	259	道北 (41)	143	141	130	132	151	148	142	119	158	オホーツク (18)	55	122	116	123	125	129	129	122	120	十勝 (19)	43	46	42	4t	40	39	36	38	44	釧路・根室 (13)	221	228	230	188	226	216	207	196	216
年度	値 (t)																																																																																												
H26	4,405																																																																																												
H27	4,150																																																																																												
H28	3,833																																																																																												
H29	3,365																																																																																												
H30	3,179																																																																																												
R1	3,616																																																																																												
R2	3,319																																																																																												
R3	3,458																																																																																												
R4	3,619																																																																																												
R5	5,601																																																																																												
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																				
道央広域 (70)	3,320	2,952	2,474	2,390	2,744	2,556	2,717	2,869	4,805																																																																																				
道南 (18)	368	343	373	303	330	231	227	274	259																																																																																				
道北 (41)	143	141	130	132	151	148	142	119	158																																																																																				
オホーツク (18)	55	122	116	123	125	129	129	122	120																																																																																				
十勝 (19)	43	46	42	4t	40	39	36	38	44																																																																																				
釧路・根室 (13)	221	228	230	188	226	216	207	196	216																																																																																				

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																																																														
<p data-bbox="245 286 387 320"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="236 360 400 394">公害苦情件数</p> <p data-bbox="248 427 387 461">【4-補-⑤】</p> <div data-bbox="183 479 448 757" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="193 495 416 524">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="199 524 432 580" style="list-style-type: none"> <li>・ 静音な生活環境の確保状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="193 611 316 640">【関連計画】</p> <ul data-bbox="199 640 395 669" style="list-style-type: none"> <li>・ ー（環境生活部）</li> </ul> </div>	<p data-bbox="472 237 798 271">【施策の基本的な方向性】 c</p> <p data-bbox="472 277 676 311">【施策の方向】 ウ</p> <div data-bbox="491 322 1401 427" style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> <ul data-bbox="507 342 1385 405" style="list-style-type: none"> <li>・ 公害苦情件数相談や公害審査会の設置・運用により、公害苦情・公害紛争の適切な処理に努めます。</li> </ul> </div> <p data-bbox="472 450 740 483">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="496 490 1409 703" style="list-style-type: none"> <li>・ 毎年全道で1,000件以上の公害苦情件数があるが、R5年度はR4年度と比較し、多少減少した。</li> <li>・ 全道では、特に、廃棄物、騒音・振動の苦情件数が多い。</li> <li>・ 公害苦情の対応窓口は市町村であり、道は、各振興局に公害苦情相談員を設置している。</li> <li>・ 苦情に対しては、内容に応じて、市町村、関係機関と個別に対応している。</li> </ul> <div data-bbox="472 712 1401 1037"> <p data-bbox="472 712 507 741">(件)</p>  <table border="1" data-bbox="472 741 1401 1037"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>1,564</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,431</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,463</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1,454</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,388</td></tr> <tr><td>R1</td><td>1,647</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1,765</td></tr> <tr><td>R3</td><td>1,672</td></tr> <tr><td>R4</td><td>1,645</td></tr> <tr><td>R5</td><td>1,562</td></tr> </tbody> </table> </div> <p data-bbox="472 1046 660 1079">【地域別の状況】</p> <ul data-bbox="496 1086 1409 1149" style="list-style-type: none"> <li>・ R5年度は、R4年度と比較し、道南地域・道北では意見が増加したが、その他の地域は減少した。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="472 1173 1409 1442"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道央広域(70)</td> <td>833</td> <td>875</td> <td>884</td> <td>995</td> <td>909</td> <td>938</td> <td>906</td> </tr> <tr> <td>道南(18)</td> <td>117</td> <td>113</td> <td>86</td> <td>92</td> <td>82</td> <td>71</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>道北(41)</td> <td>276</td> <td>153</td> <td>407</td> <td>367</td> <td>428</td> <td>394</td> <td>345</td> </tr> <tr> <td>オホーツク(18)</td> <td>77</td> <td>82</td> <td>154</td> <td>143</td> <td>111</td> <td>87</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>十勝(19)</td> <td>60</td> <td>63</td> <td>38</td> <td>76</td> <td>39</td> <td>57</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>釧路・根室(13)</td> <td>91</td> <td>102</td> <td>78</td> <td>92</td> <td>103</td> <td>98</td> <td>84</td> </tr> </tbody> </table>	年度	件数	H26	1,564	H27	1,431	H28	1,463	H29	1,454	H30	1,388	R1	1,647	R2	1,765	R3	1,672	R4	1,645	R5	1,562		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	道央広域(70)	833	875	884	995	909	938	906	道南(18)	117	113	86	92	82	71	94	道北(41)	276	153	407	367	428	394	345	オホーツク(18)	77	82	154	143	111	87	92	十勝(19)	60	63	38	76	39	57	41	釧路・根室(13)	91	102	78	92	103	98	84
年度	件数																																																																														
H26	1,564																																																																														
H27	1,431																																																																														
H28	1,463																																																																														
H29	1,454																																																																														
H30	1,388																																																																														
R1	1,647																																																																														
R2	1,765																																																																														
R3	1,672																																																																														
R4	1,645																																																																														
R5	1,562																																																																														
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5																																																																								
道央広域(70)	833	875	884	995	909	938	906																																																																								
道南(18)	117	113	86	92	82	71	94																																																																								
道北(41)	276	153	407	367	428	394	345																																																																								
オホーツク(18)	77	82	154	143	111	87	92																																																																								
十勝(19)	60	63	38	76	39	57	41																																																																								
釧路・根室(13)	91	102	78	92	103	98	84																																																																								

分野5 各分野に共通する施策の展開

指標群名称 【指標群No.】	内 容											
<p><b>指標</b></p> <p>「環境配慮行動実践者」の割合</p> <p>【5-指-①】</p> <p><b>【指標群設定の考え方】</b> ・環境保全意識を持ち主体的に行動できる人づくりの推進状況の把握</p> <p><b>【関連計画】</b> ・北海道環境教育等行動計画 (環境生活部)</p>	計画策定時の現状(基準年)	76.8% (平成 25 年度)										
	実績	71.8% (令和 5 年度)										
	目標数値等	70.0%以上 (令和 12 年度)										
	進捗状況	◎										
	<p><b>【施策の基本的な方向性】 a、b</b></p> <p><b>【施策の方向】 ア(ア)</b></p>											
<p>・環境に配慮した北海道らしいライフスタイルの提案・普及啓発を推進し、環境配慮行動の定着を図ります。</p>												
<p><b>【指標群の進捗状況等】</b></p>												
<p>・令和元年度の「道民意識調査」では、59.7%と大きく低下したが、令和5年度調査では71.8%と、目標値を達成した。</p> <p>・地球温暖化等、環境問題を身近に実感するなど、道民の環境への関心の高まりが環境配慮行動の増加につながっていることがうかがえる。</p> <p>・ホームページやイベントの実施、道民環境会議など様々な主体との連携を通じ、道民、事業者の環境に配慮した行動についてアップデートを検討するとともに、より高度な取組を促す。</p>												
<table border="1"> <caption>環境配慮行動実践者の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25 (基準)</td> <td>76.8</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>59.7</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>71.8</td> </tr> <tr> <td>R17 (目標値)</td> <td>70.0</td> </tr> </tbody> </table>			年度	割合 (%)	H25 (基準)	76.8	R1	59.7	R5	71.8	R17 (目標値)	70.0
年度	割合 (%)											
H25 (基準)	76.8											
R1	59.7											
R5	71.8											
R17 (目標値)	70.0											

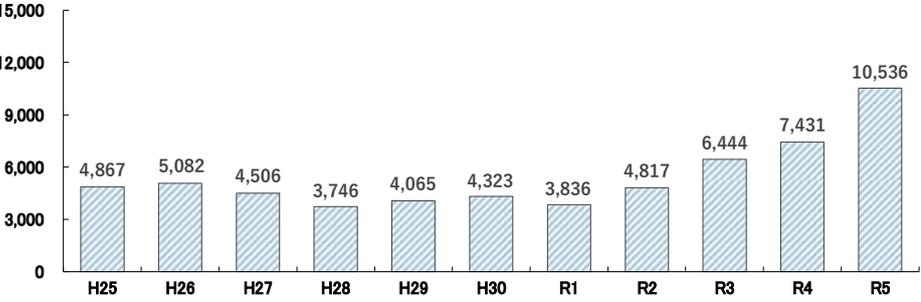
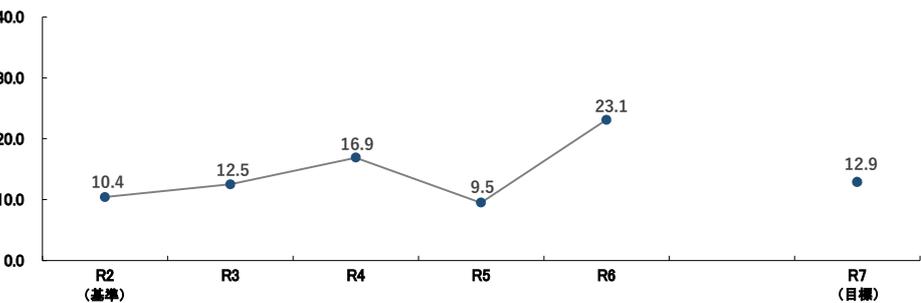
指標群名称 【指標群No.】	内 容																													
<b>指標</b> 道の事務・事業における温室効果ガスの排出量 【5-指-②】	計画策定時の現状(基準年)	312,136 t-CO <sub>2</sub> (平成 25 年度)																												
	実績	220,940 t-CO <sub>2</sub> (令和 6 年度)																												
	目標数値等	156,000 t-CO <sub>2</sub> (令和 12 年度)																												
	進捗状況	○ ※減少させることを目標																												
	<b>【施策の基本的な方向性】 d</b> <b>【施策の方向】 イ(ア)</b>																													
<b>【指標群設定の考え方】</b> ・道が行う事務・事業における環境配慮状況の把握 <b>【関連計画】</b> ・道の事務・事業に関する実行計画(経済部)	・道自らが、率先して、事務・事業の実施にあたり環境に配慮し、環境への負荷の低減に努めます。																													
	<b>【指標群の進捗状況等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>基準年度(平成25年度)から令和6年度までに29.2%減少している。</li> <li>基準年度からの削減量のうち、69,872t-CO<sub>2</sub>【約77%】が電気の使用に伴う二酸化炭素排出量の減少によるもので、主な減少要因としては、庁舎等の照明のLED化による電気使用量の減、比較的暖冬だったことによる暖房用燃料(重油・灯油)の使用量の減、次世代自動車導入によるガソリン・軽油の使用量の減少等が影響したと考えられる。</li> <li>目標の達成に向けて、引き続き、職場での一層の省エネの率先実行のほか、特に全排出量の約53%を占める電気に対する対策を重点的に進めることとし、照明設備のLED化や太陽光発電設備の導入を図るほか、道有施設のZEB化、公用車の次世代自動車化など道有施設・設備の脱炭素化を推進する。</li> </ul>																													
	(t-CO <sub>2</sub> )  <table border="1" data-bbox="475 1041 1396 1366"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>排出量 (t-CO<sub>2</sub>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25 (基準)</td><td>312,136</td></tr> <tr><td>H26</td><td>297,110</td></tr> <tr><td>H27</td><td>296,627</td></tr> <tr><td>H28</td><td>299,942</td></tr> <tr><td>H29</td><td>286,892</td></tr> <tr><td>H30</td><td>262,392</td></tr> <tr><td>R1</td><td>252,523</td></tr> <tr><td>R2</td><td>245,760</td></tr> <tr><td>R3</td><td>240,069</td></tr> <tr><td>R4</td><td>243,185</td></tr> <tr><td>R5</td><td>223,966</td></tr> <tr><td>R6</td><td>220,940</td></tr> <tr><td>R12 (目標)</td><td>156,000</td></tr> </tbody> </table>		年度	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	H25 (基準)	312,136	H26	297,110	H27	296,627	H28	299,942	H29	286,892	H30	262,392	R1	252,523	R2	245,760	R3	240,069	R4	243,185	R5	223,966	R6	220,940	R12 (目標)	156,000
年度	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )																													
H25 (基準)	312,136																													
H26	297,110																													
H27	296,627																													
H28	299,942																													
H29	286,892																													
H30	262,392																													
R1	252,523																													
R2	245,760																													
R3	240,069																													
R4	243,185																													
R5	223,966																													
R6	220,940																													
R12 (目標)	156,000																													

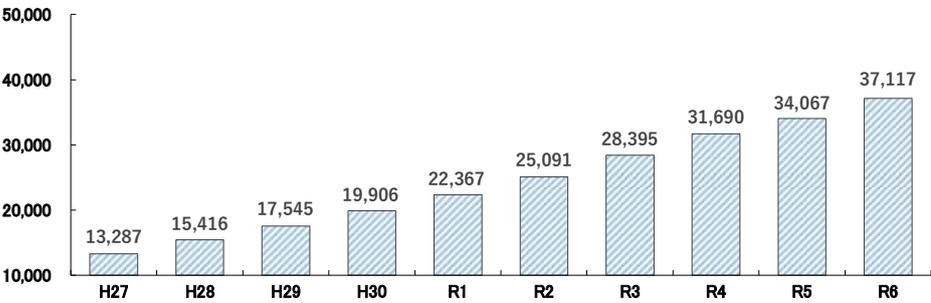
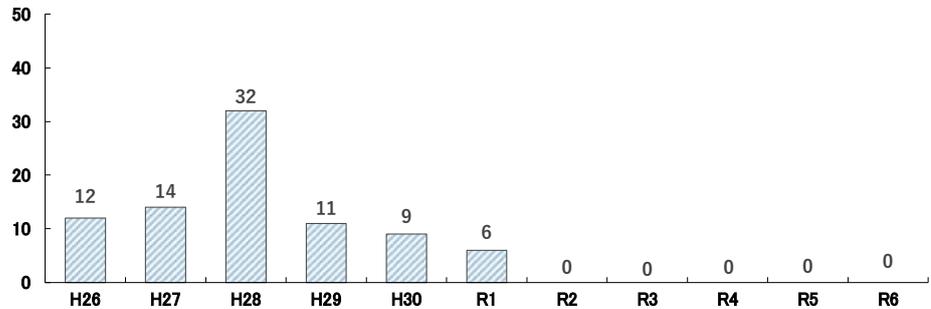
指標群名称 【指標群No.】	内 容																													
<b>個別指標</b>  <b>YES!clean 表示制度 作付面積</b>  【5-個-①】  <b>【指標群設定の考え方】</b> ・事業者の環境に配慮した行動の促進状況の把握  <b>【関連計画】</b> ・北海道クリーン農業推進計画（農政部）	計画策定時の現状(基準年)	17,734ha（平成30年度）																												
	実績	14,542ha（令和6年度）																												
	目標数値等	20,000ha（令和6年度）																												
	進捗状況	▲																												
	<b>【施策の基本的な方向性】 c</b> <b>【施策の方向】 イ(イ)</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境との調和に配慮したクリーン農業や有機農業、資源循環型畜産の普及を推進するとともに、有機質資源の有効利用など農業生産活動を通じた環境保全の取組を推進します。</li> <li>・「地産地消」や「地材地消」など、関連する産業の発展と環境負荷の低減の両面に資する取組を推進します。</li> </ul> </div> <b>【指標群の進捗状況等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度以降はYES!clean表示制度作付面積が減少傾向にある。</li> <li>・これは、気候変動に伴う病虫害の発生増加や高齢化による生産集団の解散などが要因と考えられる。</li> <li>・目標の達成に向けて、引き続き、産地に対するクリーン農業の環境保全効果等の啓発や新技術の開発・普及に加え、消費者・流通業者へのPRによる消費拡大などに取り組む。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <caption>YES!clean表示制度作付面積の推移 (ha)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>面積 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>15,625</td></tr> <tr><td>H25</td><td>16,643</td></tr> <tr><td>H26</td><td>17,027</td></tr> <tr><td>H27</td><td>17,141</td></tr> <tr><td>H28</td><td>17,600</td></tr> <tr><td>H29</td><td>18,390</td></tr> <tr><td>H30 (基準)</td><td>17,734</td></tr> <tr><td>R1</td><td>17,424</td></tr> <tr><td>R2</td><td>16,804</td></tr> <tr><td>R3</td><td>16,390</td></tr> <tr><td>R4</td><td>15,454</td></tr> <tr><td>R5</td><td>15,428</td></tr> <tr><td>R6 (目標)</td><td>20,000</td></tr> </tbody> </table> </div>			年度	面積 (ha)	H24	15,625	H25	16,643	H26	17,027	H27	17,141	H28	17,600	H29	18,390	H30 (基準)	17,734	R1	17,424	R2	16,804	R3	16,390	R4	15,454	R5	15,428	R6 (目標)
年度	面積 (ha)																													
H24	15,625																													
H25	16,643																													
H26	17,027																													
H27	17,141																													
H28	17,600																													
H29	18,390																													
H30 (基準)	17,734																													
R1	17,424																													
R2	16,804																													
R3	16,390																													
R4	15,454																													
R5	15,428																													
R6 (目標)	20,000																													

指標群名称 【指標群No.】	内 容																			
<p data-bbox="256 255 376 293"><b>個別指標</b></p> <p data-bbox="205 327 427 432">省エネ基準に適合する住宅ストックの割合</p> <p data-bbox="248 465 384 495">【5-個-②】</p> <div data-bbox="181 528 451 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="193 539 421 568">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="197 568 432 651" style="list-style-type: none"> <li>・ 事業者の環境に配慮した行動の促進状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="193 685 316 714">【関連計画】</p> <ul data-bbox="197 714 349 743" style="list-style-type: none"> <li>・ ー (建設部)</li> </ul> </div>	計画策定時の現状(基準年)	19% (平成 30 年度)																		
	実績	27% (令和 6 年度)																		
	目標数値等	40% (令和 12 年度)																		
	進捗状況	○																		
	<p data-bbox="470 394 794 423">【施策の基本的な方向性】 f</p> <p data-bbox="470 427 676 456">【施策の方向】 ウ</p> <div data-bbox="496 472 1407 602" style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> <ul data-bbox="517 495 1386 584" style="list-style-type: none"> <li>・ 持続可能で質の高い暮らしの場を目指し、まちなか居住の促進やまちに必要な機能の集約等の取組と、低炭素化やエネルギーの地産地消、資源の域内循環などの取組を連携させたまちづくりを進めます。</li> </ul> </div> <p data-bbox="470 629 740 658">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="496 667 1407 882" style="list-style-type: none"> <li>・ 省エネ基準に適合する住宅ストックは、平成30年度以降概ね順調に増加している。</li> <li>・ 北方型住宅の普及推進を図るとともに、市町村における脱炭素社会に向けた取組の支援などにより増加しているものと推察する。</li> <li>・ 再生可能エネルギーや道産木材の活用など脱炭素化に資する対策を取り入れた「北方型住宅ZERO」等の普及やモデル団地の展開のほか、既存住宅の省エネルギー改修の促進を図る。</li> </ul> <div data-bbox="480 898 1401 1256" style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <caption>省エネ基準に適合する住宅ストックの割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30 (基準)</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>R12 (目標)</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	割合 (%)	H30 (基準)	19	R1	21	R2	22	R3	23	R4	24	R5	26	R6	27	R12 (目標)
年度	割合 (%)																			
H30 (基準)	19																			
R1	21																			
R2	22																			
R3	23																			
R4	24																			
R5	26																			
R6	27																			
R12 (目標)	40																			

指標群名称 【指標群No.】	内 容																						
<p data-bbox="245 286 386 320"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="197 360 434 427"><b>環境管理システムの 認証取得事業所数</b></p> <p data-bbox="248 463 383 492">【5-補-①】</p> <div data-bbox="181 517 450 797" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="193 528 416 557"><b>【指標群設定の考え方】</b></p> <ul data-bbox="193 560 434 645" style="list-style-type: none"> <li>・ 事業者の環境に配慮した行動の促進状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="193 674 316 703"><b>【関連計画】</b></p> <ul data-bbox="193 705 395 734" style="list-style-type: none"> <li>・ ー（環境生活部）</li> </ul> </div>	<p data-bbox="470 237 798 268"><b>【施策の基本的な方向性】 c</b></p> <p data-bbox="470 275 722 306"><b>【施策の方向】 イ(ア)</b></p> <div data-bbox="491 322 1401 412" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul data-bbox="507 336 1385 398" style="list-style-type: none"> <li>・ 環境に配慮した事業活動や環境負荷の低い技術・製品・サービスの開発・普及など、企業による自主的な環境保全の取組を促進します。</li> </ul> </div> <p data-bbox="470 459 738 490"><b>【指標群の進捗状況等】</b></p> <ul data-bbox="496 499 1409 788" style="list-style-type: none"> <li>・ 環境管理システムの認証制度「ISO14001」、「北海道環境マネジメントシステム」、「エコアクション21」を導入している道内の事業者や組織は、平成25年度以降減少し、令和2年度以降はほぼ横ばいで推移している。</li> <li>・ 近年は、認証制度を維持しなくても同等の環境配慮活動が可能と判断する事業者も増えてきていると推察され、認証取得件数が減少しているものと思われる。</li> <li>・ 引き続き、ホームページやイベントなどを通じて環境管理システムの認証制度の周知に努める。</li> </ul> <div data-bbox="491 817 1385 1133" style="text-align: center;"> <p>(事業所)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>取得件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>592</td></tr> <tr><td>H28</td><td>569</td></tr> <tr><td>H29</td><td>554</td></tr> <tr><td>H30</td><td>532</td></tr> <tr><td>R1</td><td>529</td></tr> <tr><td>R2</td><td>520</td></tr> <tr><td>R3</td><td>526</td></tr> <tr><td>R4</td><td>516</td></tr> <tr><td>R5</td><td>500</td></tr> <tr><td>R6</td><td>501</td></tr> </tbody> </table> </div> <p data-bbox="488 1167 1396 1234"><b>※ISO14001、北海道環境マネジメントシステムスタンダード(HES)、エコアクション21(EA21)取得件数の合計値</b></p>	年度	取得件数	H27	592	H28	569	H29	554	H30	532	R1	529	R2	520	R3	526	R4	516	R5	500	R6	501
年度	取得件数																						
H27	592																						
H28	569																						
H29	554																						
H30	532																						
R1	529																						
R2	520																						
R3	526																						
R4	516																						
R5	500																						
R6	501																						

指標群名称 【指標群No.】	内 容																																	
<p data-bbox="245 286 387 320"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="193 360 440 461">グリーン・Biz認定 制度による登録・認定 事業所数</p> <p data-bbox="250 499 383 526">【5-補-②】</p> <p data-bbox="193 564 416 591">【指標群設定の考え方】</p> <p data-bbox="193 595 432 678">・事業者の環境に配慮 した行動の促進状況 の把握</p> <p data-bbox="193 710 312 736">【関連計画】</p> <p data-bbox="193 741 395 768">・ー（環境生活部）</p>	<p data-bbox="472 237 794 264">【施策の基本的な方向性】 c</p> <p data-bbox="472 275 719 302">【施策の方向】 イ(ア)</p> <div data-bbox="507 320 1401 409" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・環境に配慮した事業活動や環境負荷の低い技術・製品・サービスの開発・普及など、企業による自主的な環境保全の取組を促進します。</p> </div> <p data-bbox="472 459 738 486">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="496 497 1406 824" style="list-style-type: none"> <li>・グリーン・Biz認定制度による登録・認定事業所数は、近年、減少傾向にあったが、令和4年度から増加している。</li> <li>・令和4年4月から新たに、当制度登録を登録の必須条件としている「ゼロカーボン・チャレンジャー」登録制度を開始したことにより、「ゼロカーボン・チャレンジャー」の登録者増加に伴い、当制度の登録も増加したとみられる。</li> <li>・引き続き、ホームページやInstagram等の活用により周知に努め、事業者への登録を促すとともに、「ゼロカーボン・チャレンジャー」登録制度と引き続き連携していく。</li> </ul> <div data-bbox="472 853 1401 1160"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録部門 (件)</th> <th>認定部門 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>1,499</td><td>56</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,602</td><td>56</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1,669</td><td>56</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,715</td><td>56</td></tr> <tr><td>R1</td><td>1,597</td><td>56</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1,422</td><td>56</td></tr> <tr><td>R3</td><td>1,140</td><td>56</td></tr> <tr><td>R4</td><td>1,392</td><td>56</td></tr> <tr><td>R5</td><td>1,495</td><td>56</td></tr> <tr><td>R6</td><td>1,503</td><td>56</td></tr> </tbody> </table> </div>	年度	登録部門 (件)	認定部門 (件)	H27	1,499	56	H28	1,602	56	H29	1,669	56	H30	1,715	56	R1	1,597	56	R2	1,422	56	R3	1,140	56	R4	1,392	56	R5	1,495	56	R6	1,503	56
年度	登録部門 (件)	認定部門 (件)																																
H27	1,499	56																																
H28	1,602	56																																
H29	1,669	56																																
H30	1,715	56																																
R1	1,597	56																																
R2	1,422	56																																
R3	1,140	56																																
R4	1,392	56																																
R5	1,495	56																																
R6	1,503	56																																
<p data-bbox="185 1196 272 1223"><b>集計中</b></p> <p data-bbox="245 1267 387 1301"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="188 1341 448 1408">道におけるグリーン購 入調達率</p> <p data-bbox="250 1447 383 1473">【5-補-③】</p> <p data-bbox="193 1512 416 1538">【指標群設定の考え方】</p> <p data-bbox="193 1543 432 1626">・道が行う事務・事業 における環境配慮状 況の把握</p> <p data-bbox="193 1657 312 1684">【関連計画】</p> <p data-bbox="193 1688 432 1771">・循環型社会形成推進 基本計画 (環境生活部)</p>	<p data-bbox="472 1189 794 1216">【施策の基本的な方向性】 d</p> <p data-bbox="472 1227 719 1254">【施策の方向】 イ(ア)</p> <div data-bbox="507 1294 1401 1384" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・道自らが、率先して、事務・事業の実施にあたり環境に配慮し、環境への負荷の低減に努めます。</p> </div> <p data-bbox="472 1411 738 1438">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="496 1449 1406 1592" style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度を超えてから横ばいで推移している。</li> <li>・（理由）</li> <li>・現状の高いグリーン購入調達率を維持するため、引き続きグリーン購入の周知などに取り組む。</li> </ul> <div data-bbox="472 1648 1401 1977"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>グリーン購入調達率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>92.1</td></tr> <tr><td>H27</td><td>92.4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>94.3</td></tr> <tr><td>H29</td><td>94.8</td></tr> <tr><td>H30</td><td>92.9</td></tr> <tr><td>R1</td><td>94.4</td></tr> <tr><td>R2</td><td>94.0</td></tr> <tr><td>R3</td><td>93.0</td></tr> <tr><td>R4</td><td>94.9</td></tr> <tr><td>R5</td><td>95.5</td></tr> </tbody> </table> </div>	年度	グリーン購入調達率 (%)	H26	92.1	H27	92.4	H28	94.3	H29	94.8	H30	92.9	R1	94.4	R2	94.0	R3	93.0	R4	94.9	R5	95.5											
年度	グリーン購入調達率 (%)																																	
H26	92.1																																	
H27	92.4																																	
H28	94.3																																	
H29	94.8																																	
H30	92.9																																	
R1	94.4																																	
R2	94.0																																	
R3	93.0																																	
R4	94.9																																	
R5	95.5																																	

指標群名称 【指標群No.】	内 容																								
<p data-bbox="245 286 387 320"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="209 360 424 394"><b>有機農業取組面積</b></p> <p data-bbox="248 427 384 461">【5-補-④】</p> <div data-bbox="183 483 450 757" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="193 495 416 524">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="199 524 432 607" style="list-style-type: none"> <li>・事業者の環境に配慮した行動の促進状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="193 640 312 669">【関連計画】</p> <ul data-bbox="199 669 408 725" style="list-style-type: none"> <li>・有機農業推進計画（農政部）</li> </ul> </div>	<p data-bbox="472 237 794 271">【施策の基本的な方向性】 c</p> <p data-bbox="472 277 719 311">【施策の方向】 イ(イ)</p> <div data-bbox="496 322 1401 506" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul data-bbox="507 333 1385 495" style="list-style-type: none"> <li>・環境との調査に配慮したクリーン農業や有機農業、自然循環型畜産の普及を推進するとともに、有機資源の有効利用など農業生産活動を通じた環境保全の取組を推進します。</li> <li>・「地産地消」や「地材地消」など、関連する産業の発展と環境負荷の低減の両面に資する取組を推進します。</li> </ul> </div> <p data-bbox="472 535 738 568">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="496 573 1409 748" style="list-style-type: none"> <li>・取組面積が順調に増加している。</li> <li>・牧草やそばを中心に増加傾向にある。</li> <li>・取組面積の増加に向けて引き続き、国費を活用した有機農業への転換支援や有機農業技術の開発・普及、交流イベントなどを通じた消費者の理解醸成と販路拡大などに取り組む。</li> </ul> <div data-bbox="472 763 1401 1088"> <p data-bbox="480 763 512 786">(ha)</p>  <table border="1" data-bbox="480 786 1401 1088"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>面積 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>4,867</td></tr> <tr><td>H26</td><td>5,082</td></tr> <tr><td>H27</td><td>4,506</td></tr> <tr><td>H28</td><td>3,746</td></tr> <tr><td>H29</td><td>4,065</td></tr> <tr><td>H30</td><td>4,323</td></tr> <tr><td>R1</td><td>3,836</td></tr> <tr><td>R2</td><td>4,817</td></tr> <tr><td>R3</td><td>6,444</td></tr> <tr><td>R4</td><td>7,431</td></tr> <tr><td>R5</td><td>10,536</td></tr> </tbody> </table> </div>	年度	面積 (ha)	H25	4,867	H26	5,082	H27	4,506	H28	3,746	H29	4,065	H30	4,323	R1	3,836	R2	4,817	R3	6,444	R4	7,431	R5	10,536
年度	面積 (ha)																								
H25	4,867																								
H26	5,082																								
H27	4,506																								
H28	3,746																								
H29	4,065																								
H30	4,323																								
R1	3,836																								
R2	4,817																								
R3	6,444																								
R4	7,431																								
R5	10,536																								
<p data-bbox="245 1164 387 1198"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="197 1238 435 1305"><b>環境関連ビジネスを実施する企業の割合</b></p> <p data-bbox="248 1339 384 1373">【5-補-⑤】</p> <div data-bbox="183 1395 450 1668" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="193 1406 416 1435">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="199 1435 432 1491" style="list-style-type: none"> <li>・環境ビジネスの振興状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="193 1525 312 1554">【関連計画】</p> <ul data-bbox="199 1554 432 1668" style="list-style-type: none"> <li>・北海道省エネルギー・新エネルギー促進計画（経済部）</li> </ul> </div>	<p data-bbox="472 1120 794 1153">【施策の基本的な方向性】 g</p> <p data-bbox="472 1160 719 1193">【施策の方向】 イ(ウ)</p> <div data-bbox="496 1205 1401 1305" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul data-bbox="507 1216 1385 1283" style="list-style-type: none"> <li>・多様で豊富なエネルギー資源や先進的な技術など本道が持つ優位性や特性を活かして、環境産業の育成・振興をはかります。</li> </ul> </div> <p data-bbox="472 1339 738 1373">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="496 1377 1409 1592" style="list-style-type: none"> <li>・本調査は、国の調査結果（経済センサス）を母集団として全道約19,000社から400社を無作為抽出しアンケート調査を実施している。</li> <li>・R6年度は117件回収し、うち27件が環境関連ビジネスに参入していると回答（R5年度は9.5%）。</li> <li>・毎年度無作為抽出による調査のため、振れ幅が大きく、年度毎の傾向把握は困難であり、複数年度で傾向を見ることが必要。</li> </ul> <div data-bbox="472 1619 1401 1944"> <p data-bbox="480 1619 512 1641">(%)</p>  <table border="1" data-bbox="480 1641 1401 1944"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R2 (基準)</td><td>10.4</td></tr> <tr><td>R3</td><td>12.5</td></tr> <tr><td>R4</td><td>16.9</td></tr> <tr><td>R5</td><td>9.5</td></tr> <tr><td>R6</td><td>23.1</td></tr> <tr><td>R7 (目標)</td><td>12.9</td></tr> </tbody> </table> </div>	年度	割合 (%)	R2 (基準)	10.4	R3	12.5	R4	16.9	R5	9.5	R6	23.1	R7 (目標)	12.9										
年度	割合 (%)																								
R2 (基準)	10.4																								
R3	12.5																								
R4	16.9																								
R5	9.5																								
R6	23.1																								
R7 (目標)	12.9																								

指標群名称 【指標群No.】	内 容																								
<p data-bbox="245 286 387 320"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="221 360 411 427">長期優良住宅の 認定戸数</p> <p data-bbox="248 463 384 495">【5-補-⑥】</p> <div data-bbox="181 517 451 797" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="193 528 416 560">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="193 560 432 645" style="list-style-type: none"> <li>・ 環境への配慮を織り込んだまちづくりなどの推進状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="193 674 316 703">【関連計画】</p> <ul data-bbox="193 703 347 732" style="list-style-type: none"> <li>・ ー (建設部)</li> </ul> </div>	<p data-bbox="470 237 791 268">【施策の基本的な方向性】 f</p> <p data-bbox="470 277 675 309">【施策の方向】 ウ</p> <div data-bbox="491 320 1401 450" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul data-bbox="507 338 1385 432" style="list-style-type: none"> <li>・ 持続可能で質の高い暮らしの場を目指し、まちなか居住の促進やまちに必要な機能の集約などの取組と、低炭素化やエネルギーの地産地消、資源の域内循環などの取組を連携させたまちづくりを進めます。</li> </ul> </div> <p data-bbox="470 470 738 501">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="496 508 1406 759" style="list-style-type: none"> <li>・ 道内で長期優良住宅として認定された戸数は令和6年度末で38,349戸となっており、着実に増加している。</li> <li>・ 北方型住宅の普及推進や、地域型住宅グリーン化事業など国が実施する住宅のカーボンニュートラルの実現に向けた取組などにより増加しているものと推察する。</li> <li>・ 住宅分野の脱炭素化を進めるために必要な財政支援などについて、国に対して要望を実施している。</li> </ul> <div data-bbox="470 779 1401 1104"> <p data-bbox="480 786 512 808">(戸)</p>  <table border="1" data-bbox="470 801 1401 1104"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>戸数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>13,287</td></tr> <tr><td>H28</td><td>15,416</td></tr> <tr><td>H29</td><td>17,545</td></tr> <tr><td>H30</td><td>19,906</td></tr> <tr><td>R1</td><td>22,367</td></tr> <tr><td>R2</td><td>25,091</td></tr> <tr><td>R3</td><td>28,395</td></tr> <tr><td>R4</td><td>31,690</td></tr> <tr><td>R5</td><td>34,067</td></tr> <tr><td>R6</td><td>37,117</td></tr> </tbody> </table> </div>	年度	戸数	H27	13,287	H28	15,416	H29	17,545	H30	19,906	R1	22,367	R2	25,091	R3	28,395	R4	31,690	R5	34,067	R6	37,117		
年度	戸数																								
H27	13,287																								
H28	15,416																								
H29	17,545																								
H30	19,906																								
R1	22,367																								
R2	25,091																								
R3	28,395																								
R4	31,690																								
R5	34,067																								
R6	37,117																								
<p data-bbox="245 1200 387 1234"><b>補足データ</b></p> <p data-bbox="210 1274 422 1379">環境分野における 海外からの研修 受入人数</p> <p data-bbox="248 1415 384 1447">【5-補-⑦】</p> <div data-bbox="181 1469 451 1749" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="193 1480 416 1512">【指標群設定の考え方】</p> <ul data-bbox="193 1512 432 1597" style="list-style-type: none"> <li>・ 環境保全に資する国際的な取組の推進状況の把握</li> </ul> <p data-bbox="193 1626 316 1655">【関連計画】</p> <ul data-bbox="193 1655 395 1684" style="list-style-type: none"> <li>・ ー (環境生活部)</li> </ul> </div>	<p data-bbox="470 1151 788 1182">【施策の基本的な方向性】 i</p> <p data-bbox="470 1191 675 1223">【施策の方向】 エ</p> <div data-bbox="491 1234 1401 1350" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul data-bbox="507 1263 1385 1328" style="list-style-type: none"> <li>・ 国際機関や国、民間団体等の関係機関等と連携して、情報交換や技術協力など環境に関する国際的な取組を推進します。</li> </ul> </div> <p data-bbox="470 1373 738 1404">【指標群の進捗状況等】</p> <ul data-bbox="496 1411 1406 1554" style="list-style-type: none"> <li>・ 環境分野における海外からの研修受入人数は、令和元年以降0人となっており、令和元年度後半から世界的に流行した新型コロナウイルス対策による入国制限が影響したものと考えられる。</li> <li>・ 独立行政法人国際協力機構（JICA）からの協力要請に基づき対応する。</li> </ul> <div data-bbox="470 1597 1401 1928"> <p data-bbox="480 1603 512 1626">(人)</p>  <table border="1" data-bbox="470 1619 1401 1928"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>12</td></tr> <tr><td>H27</td><td>14</td></tr> <tr><td>H28</td><td>32</td></tr> <tr><td>H29</td><td>11</td></tr> <tr><td>H30</td><td>9</td></tr> <tr><td>R1</td><td>6</td></tr> <tr><td>R2</td><td>0</td></tr> <tr><td>R3</td><td>0</td></tr> <tr><td>R4</td><td>0</td></tr> <tr><td>R5</td><td>0</td></tr> <tr><td>R6</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> </div>	年度	人数	H26	12	H27	14	H28	32	H29	11	H30	9	R1	6	R2	0	R3	0	R4	0	R5	0	R6	0
年度	人数																								
H26	12																								
H27	14																								
H28	32																								
H29	11																								
H30	9																								
R1	6																								
R2	0																								
R3	0																								
R4	0																								
R5	0																								
R6	0																								

### Ⅲ 【参考】指標群一覧

#### （目標数値について）

関係する計画から指標群の目標数値を引用するものにあつては、計画の改定を行った場合、目標をみなおすこととします。

#### 1 「地域から取り組む地球環境の保全」に関する指標群

##### 《指標》

名称	概要	基準	目標	目標値設定の考え方
温室効果ガス実質排出量	二酸化炭素、メタンなど地球温暖化の原因となる温室効果ガスの年間排出量の合計値（二酸化炭素重量換算）	7,369 万 t-CO <sub>2</sub> (H25)	3,788 万 t-CO <sub>2</sub> (R12)	目標数値は、2021年度（令和3年度）に策定した「地球温暖化対策推進計画（第3次）」と同じ設定としています。
新エネルギー導入量 発電分野 （発電電力量）	太陽光、風力、バイオマス、地熱などの新エネルギーの導入量（発電分野）	8,786 百万 kWh (R元)	20,455 百万 kWh (R12)	
新エネルギー導入量 熱利用分野	バイオマス、地熱などの新エネルギーの導入量（熱利用分野）	14,578 TJ (R元)	20,960 TJ (R12)	

##### 《個別指標》

名称	概要	基準	目標	目標値設定の考え方
森林吸収量	森林が吸収する二酸化多炭素の量	841 万 t-CO <sub>2</sub> (R元)	850 万 t-CO <sub>2</sub> (R12)	目標数値は、2021年度（令和3年度）に策定した「森林吸収源対策推進計画」と同じ設定としています。

##### 《補足データ》

名称	概要
道民一人当たりの温室効果ガス排出量	全道の二酸化炭素排出量を、一人当たりに換算したもの
部門別二酸化炭素排出量	部門別（エネルギー転換、産業、民生（家庭）、民生（業務）、運輸、工業プロセス、廃棄物）の二酸化炭素排出量
環境効率性	道内の二酸化炭素排出量を、道内総生産（GDP）で割ったもの 経済成長の程度に対する環境負荷の増減状況を表しており、数値が下がるほど、 経済規模に比して環境負荷が少ない（効率が良い）
次世代自動車の保有台数	ハイブリッド(HV)、プラグインハイブリッド(PHV)、電気自動車(EV)、天然ガス自動車(CNG)、燃料電池車(FCV)の普及台数
産業部門エネルギー消費原単位	各部門の活動量1単位当たりの最終エネルギー消費量 【「新エネルギー導入拡大に向けた基本方向」目標値】
業務部門エネルギー消費原単位	
家庭部門エネルギー消費原単位	
運輸部門エネルギー消費原単位	
フロン排出抑制法に基づくフロン類の回収量・破壊量	道内におけるフロン類の回収量及び破壊量

## 2 「北海道らしい循環型社会の形成」に関する指標群 《指標》

名称	概要	基準	目標	目標値設定の考え方
循環利用率	社会に投入される天然資源などの投入量のうち、循環資源（再使用・再生利用された資源）が占める割合	15.7% (H29)	17% (R6)	目標数値は、2019年度（令和元年度）に策定した「循環型社会形成推進基本計画（第2次）」と同じ設定としています。
最終処分量	一般廃棄物と産業廃棄物の最終処分量の合計	100万t (H29)	82万t 以下 (R6)	
廃棄物系バイオマス利活用率	家畜ふん尿、食品廃棄物、紙類・紙くずなどの廃棄物系バイオマスの発生量のうち、利活用された割合（炭素量換算）	89.8% (H28)	90% (R4)	
未利用バイオマス利活用率	稲わら、もみ殻、林地未利用材などの未利用バイオマスの発生量のうち、利活用された割合（炭素量換算）	71.5% (H28)	70% (R4)	

### 《個別指標》

名称	概要	基準	目標	目標値設定の考え方
一般廃棄物の排出量（一人1日当たり）	家庭などからのごみ（一般廃棄物）の総排出量を一人1日当りに換算したもの	961 g/人・日 (H29)	900 g/人・日 (R6)	目標数値は、2019年度（令和元年度）に策定した「循環型社会形成推進基本計画（第2次）」と同じ設定としています。
産業廃棄物の排出量	道内における産業廃棄物の排出量	3,874 万t (H29)	3,750 万t以下 (R6)	
一般廃棄物のリサイクル率	一般廃棄物の排出量のうち、リサイクルされた割合	24.3% (H29)	30% (R6)	
産業廃棄物の再生利用率	産業廃棄物の排出量のうち、再生利用（リサイクル）された割合	55.5% (H29)	57%以上 (R6)	

### 《補足データ》

名称	概要
資源生産性	道内総生産（GDP）を道内の天然資源等投入量（道内で採取・投入された天然資源及び道外から輸移入された物品の総量）で割ったもの 経済成長の程度に対する環境負荷の増減状況を表しており、数値が下がるほど、経済規模に比して環境負荷が少ない（効率が良い） 【「循環型社会形成推進基本計画」補助指標】
廃棄物系バイオマスの種別ごとの発生量及び利活用量	バイオマスの種別（紙類、生ごみ、し尿等、有機性汚泥、下水汚泥、紙くず、木くず、動植物性残渣、家畜ふん尿）ごとの発生量及び利活用量
未利用バイオマスの種別ごとの発生量及び利活用量	バイオマスの種別（稲わら、もみ殻、麦かん、林地未利用材）ごとの発生量及び利活用量
バイオガスプラント施設数	道内で稼働中の家畜ふん尿及び都市廃棄物系（下水汚泥、し尿、生ごみ等）のバイオガスプラントの施設数 【「循環型社会形成推進基本計画」補助指標】
バイオマス活用推進計画等策定市町村数	バイオマス活用推進基本法に基づく「バイオマス活用推進計画」及びバイオマス産業都市構想などのバイオマス関連計画を策定した市町村の数（累積） 【「循環型社会形成推進基本計画」取組指標】
産業廃棄物処理業者の優良認定業者数	廃棄物処理法に基づく産業廃棄物処理業者のうち、優良認定事業者として認定された事業者数 【「循環型社会形成推進基本計画」補助指標】
認定リサイクル製品数	「北海道リサイクル製品認定制度」において認定されたリサイクル製品の数 【「循環型社会形成推進基本計画」取組指標】
グリーン購入の全庁的実施市町村数	市役所・町村役場のうち、全庁的にグリーン購入を実施している市町村の数 【「循環型社会形成推進基本計画」取組指標】

### 3 「自然との共生を基本とした環境の保全と創造」に関する指標群

#### 《個別指標》

名称	概要	基準	目標	目標値設定の考え方
犬・ねこの安楽殺処分頭数	動物愛護法に基づき、道及び市町村が所有者や拾得者から引き取った犬・ねこのうち、新たな飼い主が見つからずに安楽殺処分となった頭数	1,158頭 (H28)	579頭 (R9)	目標数値は、2017年度（平成29年度）に策定した「第2次動物愛護管理推進計画」と同じ設定とします。
エゾシカ個体数指数（東部）	東部地域（オホーツク、十勝、釧路、根室）におけるエゾシカの個体数指数（H23を100とした場合の毎年の生息動向を相対的に示した数値）	100 (H23)	50 (R8)	目標数値は、2021年度（令和3年度）に策定した「エゾシカ管理計画（第6期）」と同じ設定としています。
エゾシカ個体数指数（北部）	西部地域（空知、上川、留萌、宗谷）におけるエゾシカの個体数指数（H23を100とした場合の数値）	100 (H23)	50 (R13)	
エゾシカ個体数指数（中部）	西部地域（石狩、胆振、日高）におけるエゾシカの個体数指数（H23を100とした場合の数値）	100 (H23)	50 (R13)	

#### 《補足データ》

名称	概要
すぐれた自然地域の面積	自然公園（国立公園・国定公園・道立自然公園）及び自然環境保全地域等の面積合計
自然保護監視員等の人数と監視延べ日数	自然保護監視員、鳥獣保護員、希少野生動植物保護監視員の人数と監視延べ日数 【「生物多様性保全計画」参考データ】
植林面積	活力ある森林づくりを行う面積 【「森林づくり基本計画」重点取組指標】
一人当たり広域公園面積	道内の都市公園のうち、広域公園に分類される公園（国営十道立）の供用面積を、一人当たりに換算したもの 【「生物多様性保全計画」関連指標】
道立公園利用者数	都市公園のうち道立都市公園の利用者数
水辺に親しめる河川空間整備数	「水辺の楽校」や「ふるさとの川整備事業」などにより、水辺に集い憩える場が整備された河川の数（累積）
景観行政団体移行市町村数	景観法に定める景観行政団体となっている道内の市町村の数
自然公園利用者数	自然公園（国立公園・国定公園・道立自然公園）の利用者数
タンチョウの生息数	タンチョウの生息状況の一斉調査（毎年度1月実施）において、観察された羽数の3年平均値
野生動植物種の目録を作成した分類群の数	植物・哺乳類・鳥類といった生物分類群ごとに道内に生息・生育する野生動植物種のリストを作成した数 【「生物多様性保全計画」参考データ】
「アライグマ防除実施計画」の策定市町村数	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）に基づき「アライグマ防除実施計画」を策定した市町村の数 【「生物多様性保全計画」関連指標】
エゾシカ捕獲数及び農林業被害額	許可捕獲と狩猟捕獲をあわせたエゾシカ捕獲数とエゾシカによる農林業被害額 【「生物多様性保全計画」参考データ】
エゾシカ個体数指数（南部）	南部地域（後志、渡島、檜山）におけるエゾシカの個体数指数（H23を100とした場合の数値）
エゾシカ推定生息数	個体数指数から推定したエゾシカ推定生息数
狩猟免許所持者数	エゾシカやヒグマ対策などの担い手となる狩猟免許所持者の数 【「生物多様性保全計画」参考データ】
ヒグマ人身被害数	ヒグマによる人身被害の数
ヒグマ捕獲数及び農業被害額	ヒグマ捕獲数とヒグマによる農業被害額

#### 4 「安全・安心な地域環境の確保」に関する指標群 《指標》

名称	概要	基準	目標	目標値設定の考え方
大気環境基準達成率	大気汚染測定局における二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質の環境基準の達成割合	100% (H30)	100% (R12)	環境基準は、人の健康等を維持するための最低限度としてではなく、より積極的に維持されることが望ましい目標として、その確保を図っていかうとするものであるため、すべての測定地点での環境基準達成(又はその維持)を目標としています。
水質環境基準達成率	環境基準の類型当てはめをしている公共用水域(河川、湖沼、海域)の環境基準(BOD又はCOD)の達成割合	91.2% (H30)	100% (R12)	
騒音に関する環境基準達成率(一般地域、自動車、航空機)	一般地域の騒音、自動車騒音、航空機騒音に関する環境基準の達成割合	一般地域 89.4% (H30) ----- 自動車 97.1% (H30) ----- 航空機 75.0% (H30)	100% (R12)	

#### 《個別指標》

名称	概要	基準	目標	目標値設定の考え方
化学物質(ダイオキシン類)環境基準達成率	ダイオキシン類による汚染状況(大気、水質、土壌)に関する環境基準の達成割合	100% (H30)	100% (R12)	環境基準は、人の健康等を維持するための最低限度としてではなく、より積極的に維持されることが望ましい目標として、その確保を図っていかうとするものであるため、すべての測定地点での環境基準達成(又はその維持)を目標としています。

#### 《補足データ》

名称	概要
地下水環境基準の達成率	地下水水質常時監視の「概況調査(地域全体の地下水水質を把握するための調査)」及び「継続監視調査(汚染を継続的に監視するための調査)」における調査地点数及び環境基準達成率
汚水処理人口普及率	道内人口のうち、下水道、農業集落排水、漁業集落排水、合併処理浄化槽が整備されている区域の人口の割合 【「全道みな下水道構想Ⅳアクションプログラム」整備目標】
健全な水循環確保のための流域環境保全計画策定数	健全な水循環の確保に向けて、「流域環境保全計画」を策定した流域の数
PRTR法に基づく届出排出量及び移動量	PRTR法に基づき届出された、462種類の化学物質の環境への排出量及び事業所外への移動量(合計)
公害苦情件数	地域住民から市町村や道の窓口に寄せられた公害苦情件数

## 5 「共通的・基盤的な施策」に関する指標群 《指標》

名称	概要	基準	目標	目標値設定の考え方
「環境配慮活動実践者」の割合	道民意識調査において、「日常生活において環境に配慮した行動をしていますか」という問いに対して、「十分行動している」または「やや行動している」と回答した人の割合	76.8% (H25)	70%以上	目標数値は2013年度（平成25年度）に策定した「環境教育等行動計画」と同じ設定とし、目標達成年度については目標値の達成年度（H29）を過ぎているため上記計画の終期（R5）とします。
道の事務・事業における温室効果ガスの排出量	道の事務・事業において排出される温室効果ガスの排出量（二酸化炭素重量換算）	312,136 t-CO <sub>2</sub> (H25)	156,000 t-CO <sub>2</sub> (R12)	目標数値は2020年度（令和2年度）に策定した「第5期 道の事務・事業に関する実行計画」と同じ設定としています。

### 《個別指標》

名称	概要	基準	目標	目標値設定の考え方
YES!clean 表示制度作付面積	化学肥料・化学合成農薬の使用の削減など一定の基準を満たして生産・出荷される「YES!clean」農産物の作付面積	17,734 ha (H30)	20,000 ha (R6)	目標数値は、2019年度（令和元年度）に策定した「クリーン農業推進計画（第7期）」と同じ設定としています。
省エネ基準を満たす住宅ストックの割合	新築及び既存の住宅のうち、国が定める省エネ基準を満たす住宅の割合	19% (H30)	40% (R12)	令和7（2025）年度に予定されている新築住宅の省エネ基準への適合義務化を踏まえ、省エネ性能の向上を図る取組を促進することから、目標値を40%に設定します。

### 《補足データ》

名称	概要
環境管理システムの認証取得事業所数	3種類の環境管理システム（国際規格のISO14001、中小企業向けのエコアクション21）、北海道独自のHES（北海道環境マネジメントシステム・スタンダード）の認証を取得している道内事業所数の合計（累積）
グリーン・ビズ認定制度による登録・認定事業所数	環境に配慮した取組を自主的に行う「グリーン・ビズ認定制度」に基づく登録・認定事業所数
道におけるグリーン購入調達率	道が策定する「環境物品等調達方針」に定める全ての品目について、品目ごとの環境物品等調達率（総調達量に占める環境物品等調達量の割合）を単純平均したもの
有機農業取組面積	有機農業に取り組む面積 【「クリーン農業推進計画（第7期）」目標指標】
環境関連ビジネスを実施する企業の割合	道内企業の環境関連ビジネスへの参入企業の割合 【「省エネルギー・新エネルギー促進行動計画」指標】
長期優良住宅の認定戸数	長期優良住宅の普及の促進に関する法律が定める、長期にわたり良好な状態で使用するための措置がその構造及び設備について講じられた優良な住宅として認定を受けた住宅の戸数
環境分野における海外からの研修受入人数	環境分野において、JICAの研修などにより海外から道が受け入れた研修人数